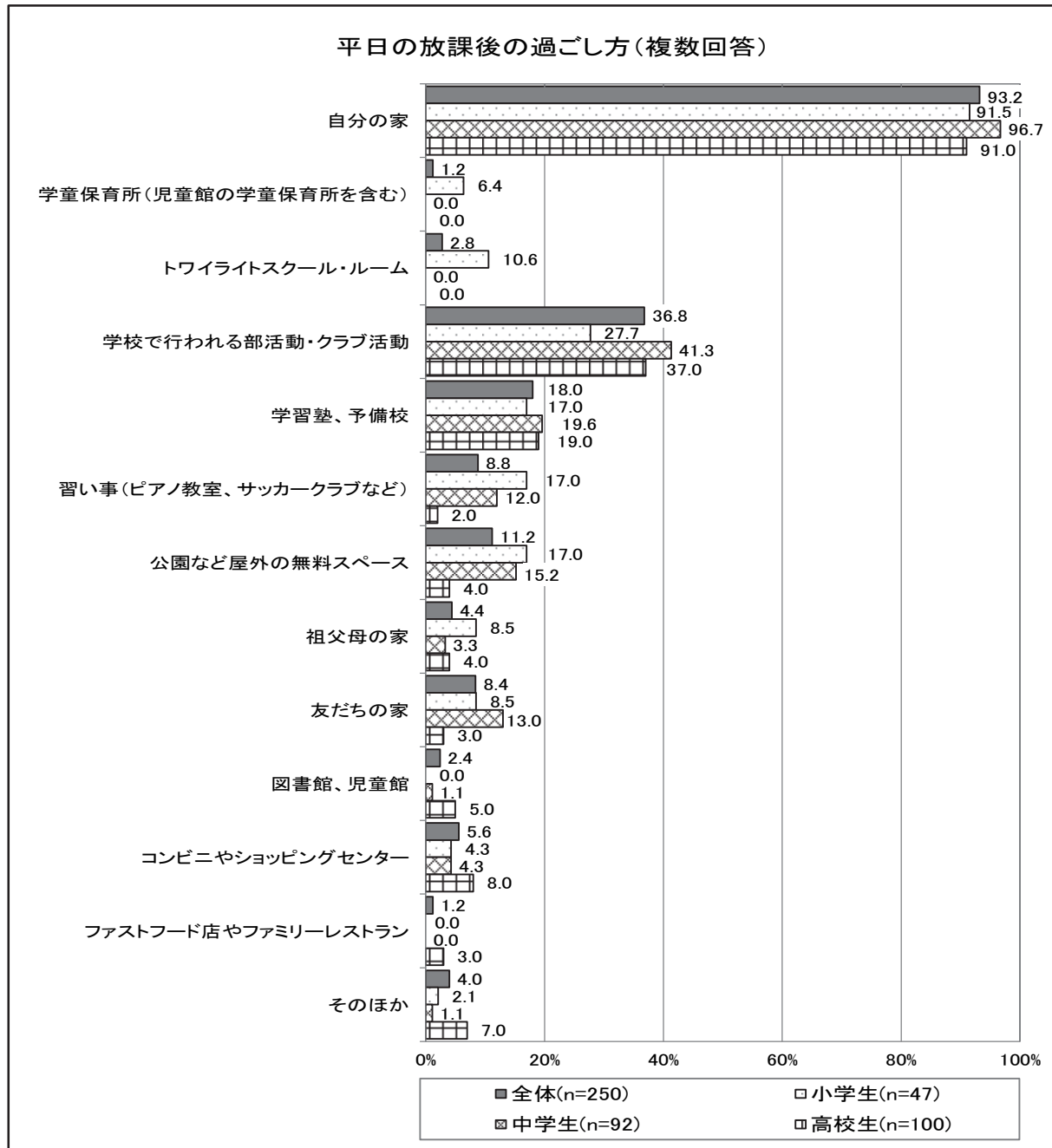


1 日常の生活や過ごし方について

(1) 平日の放課後の過ごし方について

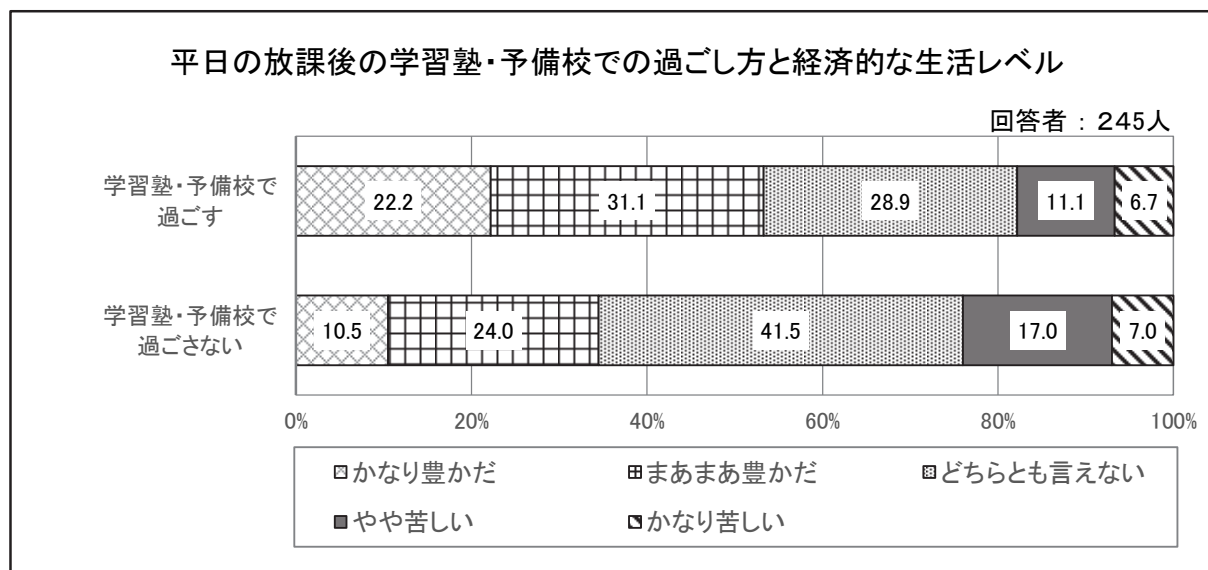


平日の放課後の過ごし方は自分の家が約9割

全体では「自分の家」が 93.2%で最も多く、次いで「学校で行われる部活動・クラブ活動」(36.8%)、「学習塾、予備校」(18.0%)、「公園など屋外の無料スペース」(11.2%) の順となっている。

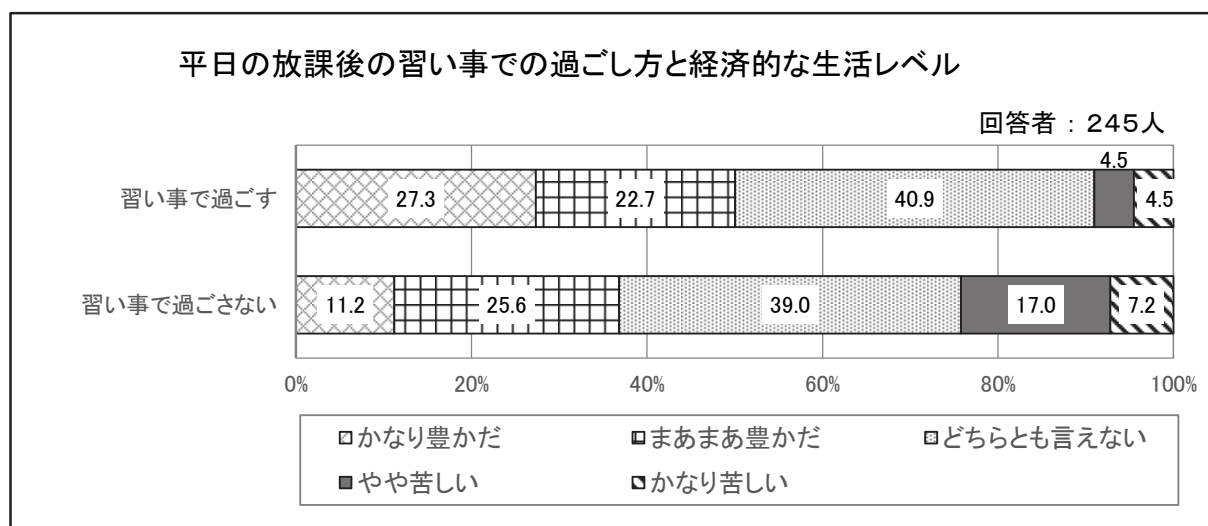
小学生、中学生、高校生を比較すると、小学生は他に比べて「習い事(ピアノ教室、サッカークラブなど)」、「公園など屋外の無料スペース」で過ごす割合が高く、中学生は「学校で行われる部活動・クラブ活動」、「友だちの家」、高校生は「コンビニやショッピングセンター」が高くなっている。

◆「学習塾・予備校で過ごす子・過ごさない子」と「経済的な生活レベル」



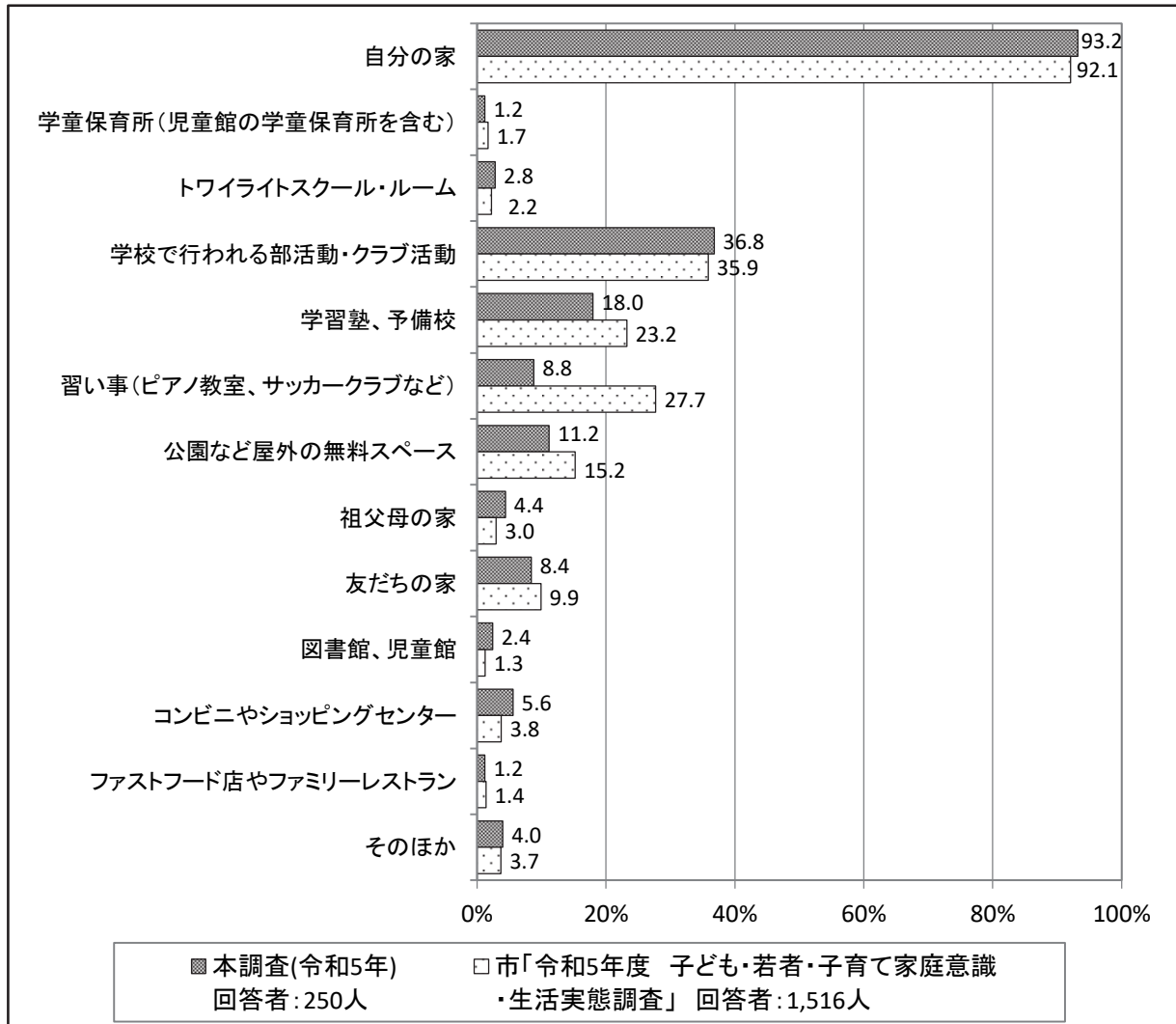
平日の放課後に「学習塾・予備校で過ごす」子は、生活レベルが「かなり豊かだ」「まあまあ豊かだ」を合わせて約5割（53.1%）となっている。また、平日の放課後に「学習塾・予備校で過ごさない」子は、「かなり豊かだ」「まあまあ豊かだ」を合わせて約3割（34.5%）となっており、平日の放課後に「学習塾・予備校で過ごす」子は、平日の放課後に「学習塾・予備校で過ごさない」子に比べて生活レベルが豊かな子が多くなっている。

◆「習い事に行き過ごす子・過ごさない子」と「経済的な生活レベル」



「かなり豊かだ」「まあまあ豊かだ」を合わせて5割（50.0%）となっている。また、平日の放課後に「習い事（ピアノ教室、サッカークラブなど）で過ごさない」子は、「かなり豊かだ」「まあまあ豊かだ」を合わせて約4割（36.8%）となっており、平日の放課後に「習い事（ピアノ教室、サッカークラブなど）で過ごす」子は平日の放課後に「習い事（ピアノ教室、サッカークラブなど）で過ごさない子」に比べて生活レベルが豊かな子が多くなっている。

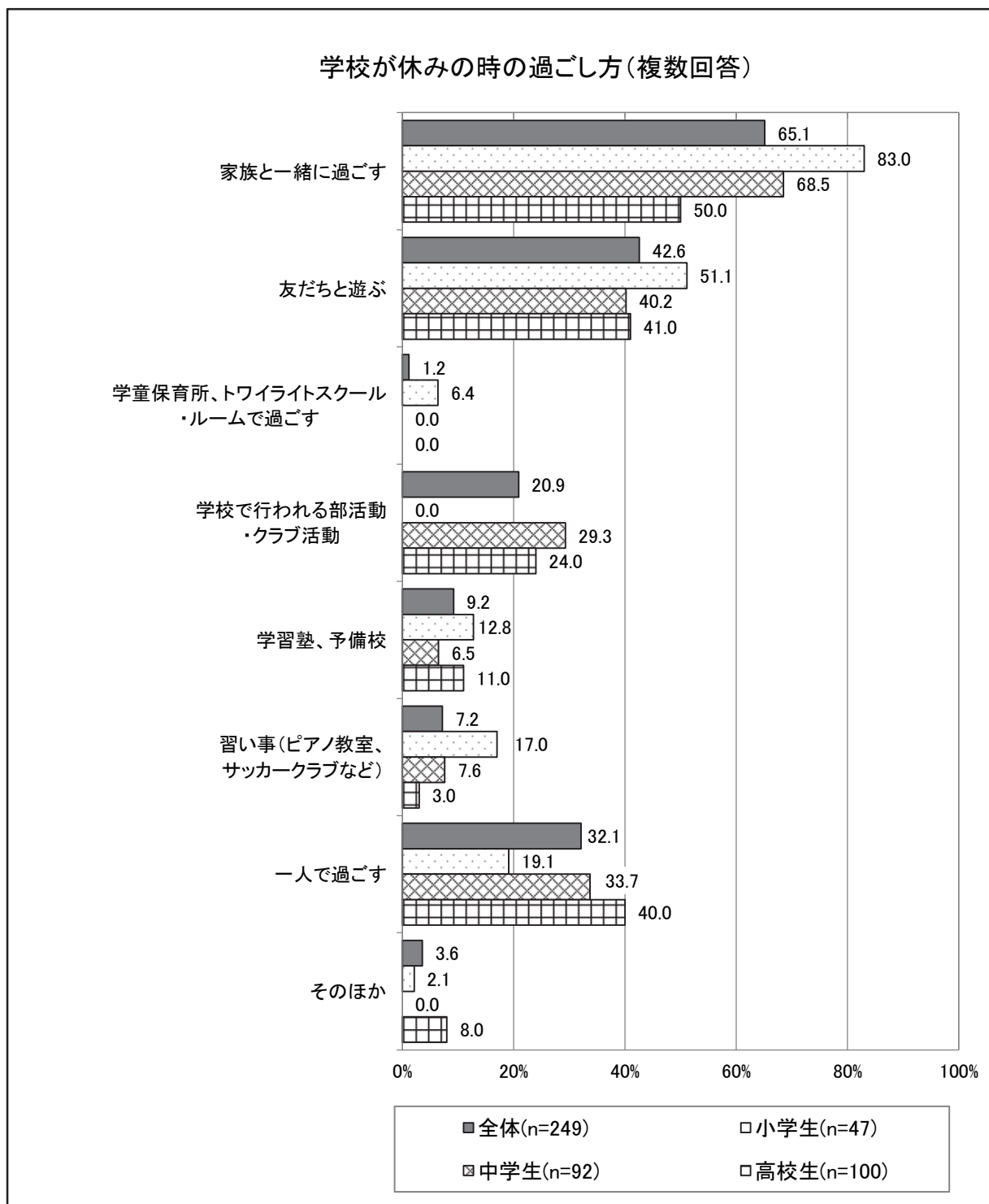
◆ 市「令和5年度 子ども・若者・子育て家庭意識・生活実態調査」との比較



※市「令和5年度子ども・若者・子育て家庭意識・生活実態調査」の「無回答」の項目は掲載を省略

本市で行っている「令和5年度子ども・若者・子育て家庭意識・生活実態調査」と比べると、「学習塾、予備校」は5.2ポイント、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブなど）」は、18.9ポイント低くなっている。

(2) 学校が休みの時の過ごし方について

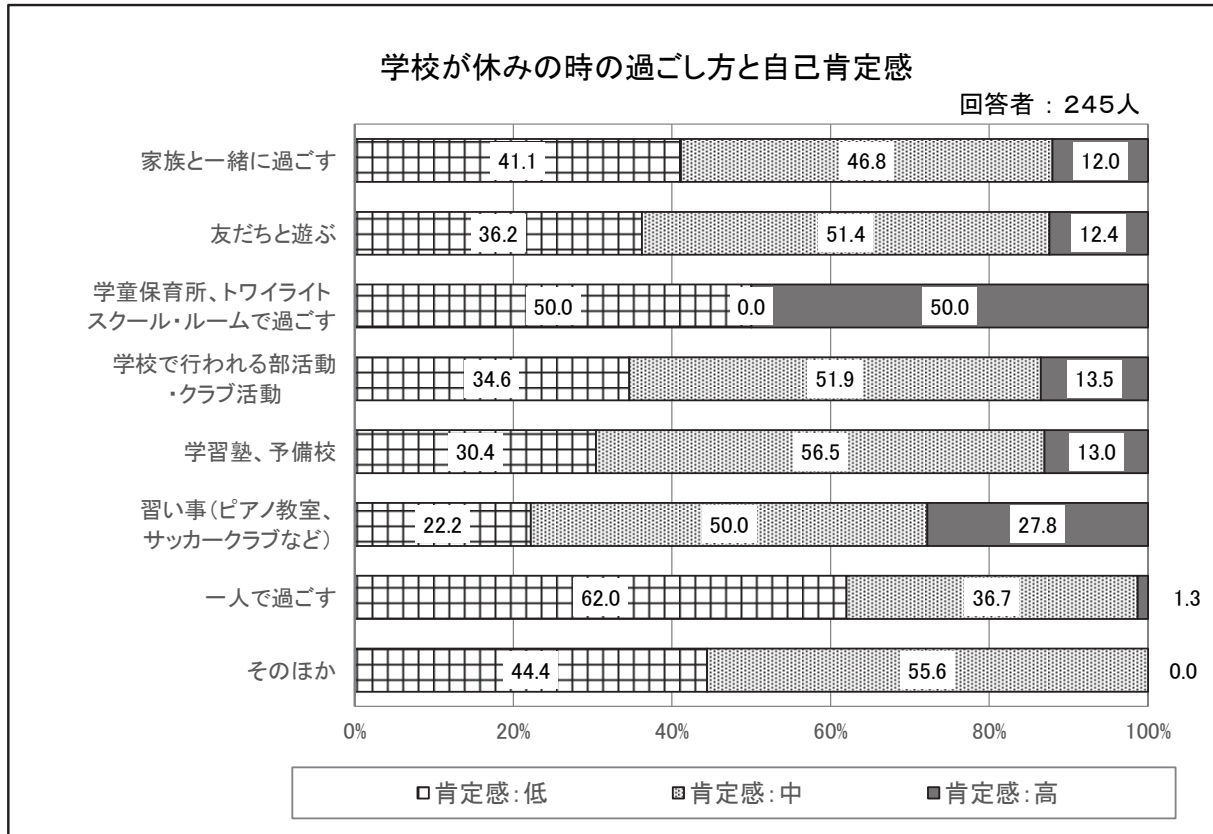


学校が休みの時は家族と一緒に過ごす約7割

全体では「家族と一緒に過ごす」が 65.1%と最も多く、次いで「友だちと遊ぶ」(42.6%)、「一人で過ごす」(32.1%)の順となっている。

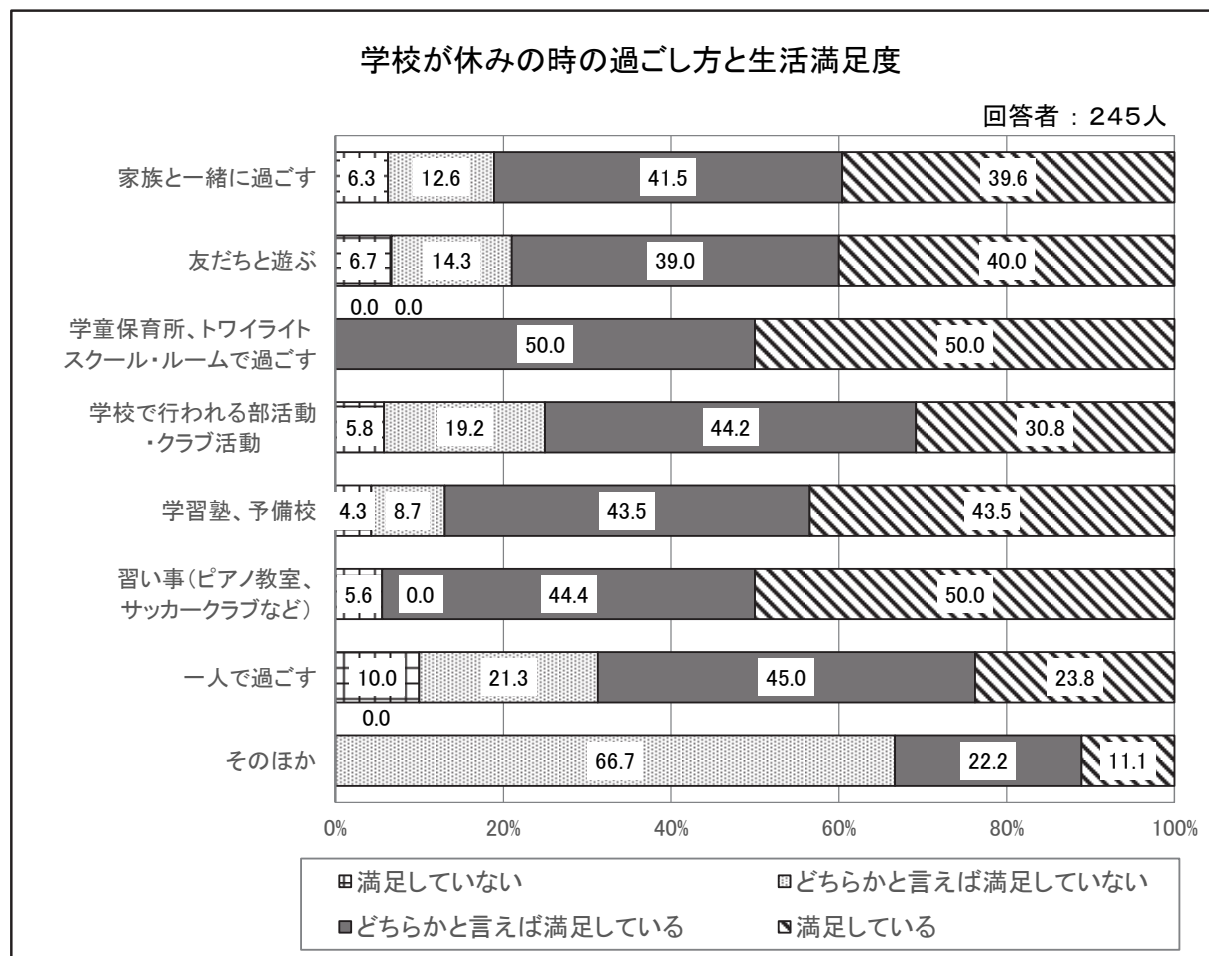
小学生、中学生、高校生を比較すると、小学生は他に比べて「家族と一緒に過ごす」、「友だちと遊ぶ」、「習い事(ピアノ教室、サッカークラブなど)」で過ごす割合が高く、中学生は「学校で行われる部活動・クラブ活動」、高校生は「一人で過ごす」が高くなっている。

◆「学校が休みの時の過ごし方」と「自己肯定感」



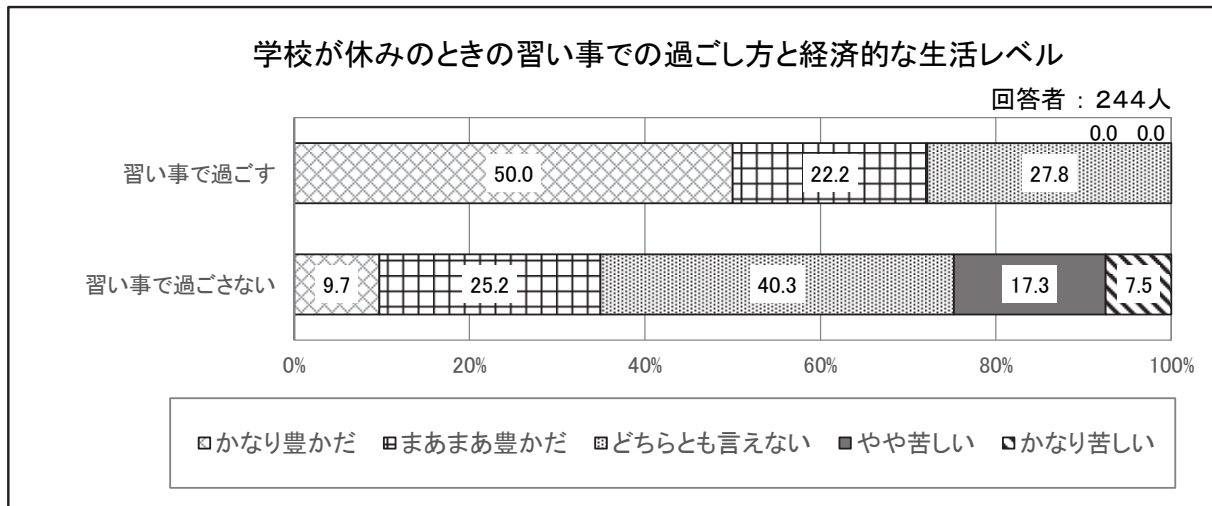
学校が休みの時に「一人で過ごす」子は、他に比べて「肯定感：低」が62.0%と最も高くなっている。

◆「学校が休みの時の過ごし方」と「生活満足度」



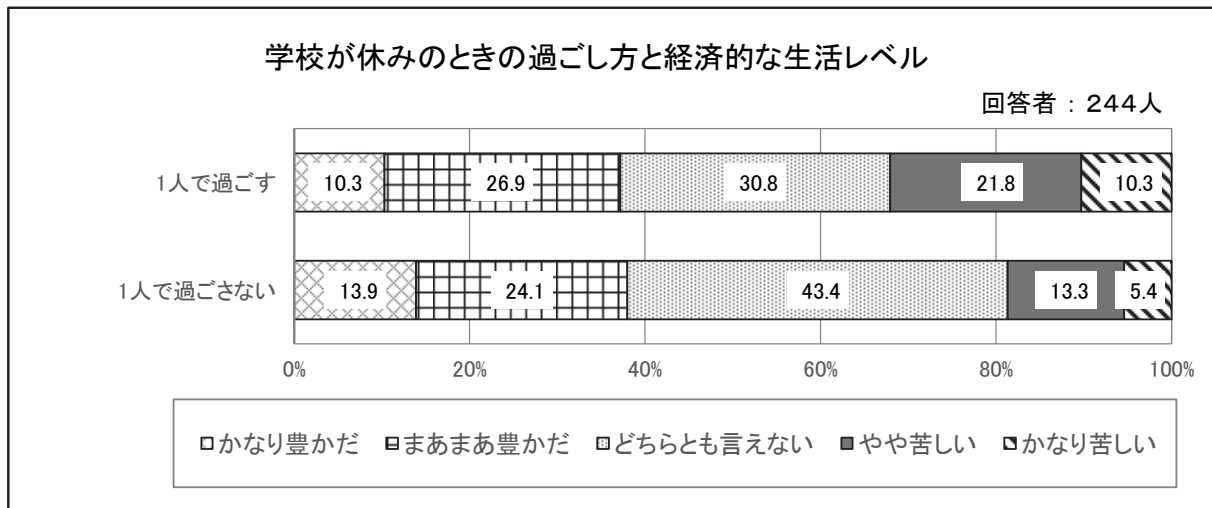
学校が休みの時に「一人で過ごす」子は、他に比べて生活に「満足していない」が 10.0%、「どちらかと言えば満足していない」が 21.3%と最も高くなっている。

◆「習い事に行きって過ごす子・過ごさない子」と「経済的な生活レベル」



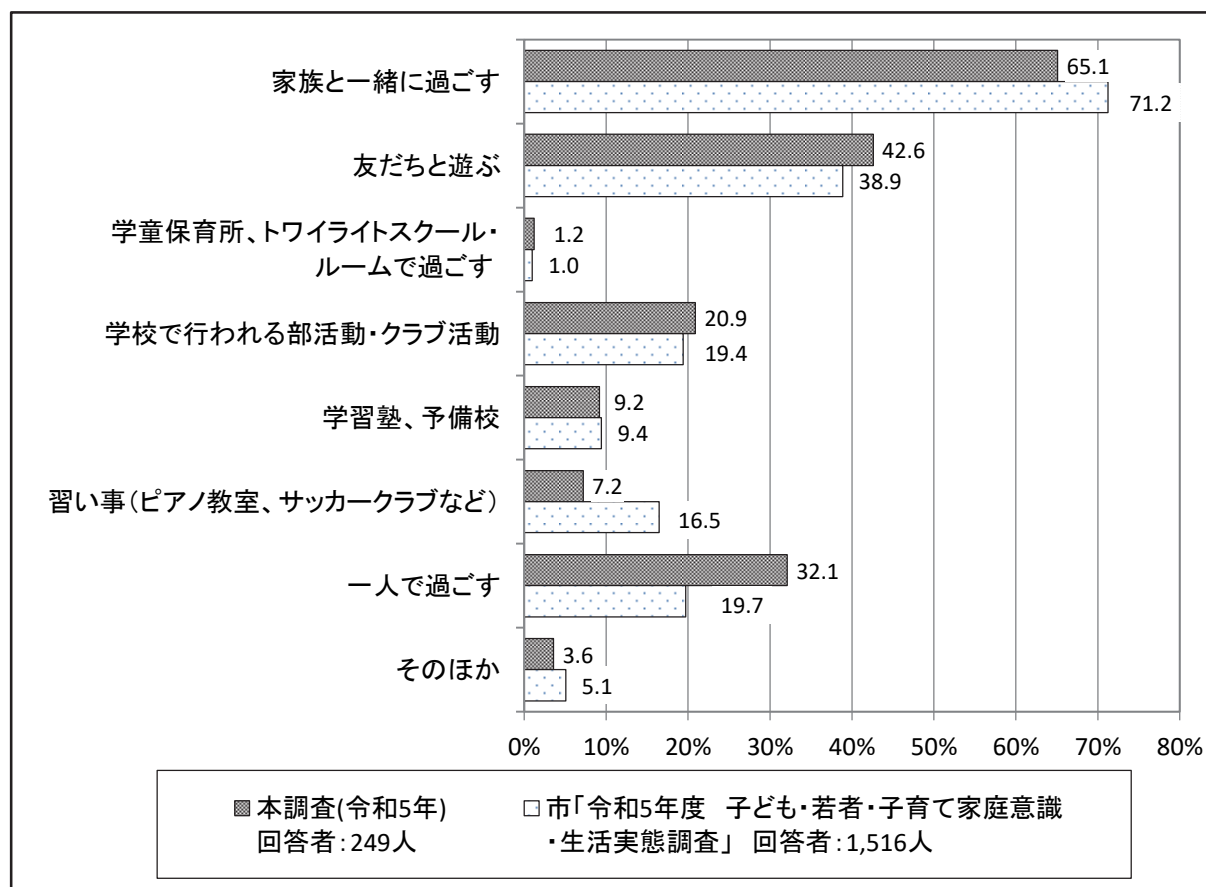
学校が休みの時に「習い事に行きって過ごす」子は、生活レベルが「かなり豊かだ」「まあまあ豊かだ」を合わせて約7割（72.2%）となっている。また、学校が休みの時に「習い事に行きって過ごさない」子は、「かなり豊かだ」「まあまあ豊かだ」を合わせて約3割（34.9%）になっており、学校が休みの時に「習い事に行きって過ごす」子は、学校が休みの時に「習い事に行きって過ごさない」子に比べて生活レベルが豊かな子が多くなっている。

◆「一人で過ごす子・過ごさない子」と「経済的な生活レベル」



学校が休みの時に「一人で過ごす」子は、生活レベルが「やや苦しい」と「かなり苦しい」を合わせて約3割（32.1%）となっている。また、学校が休みの時に「一人で過ごさない」子は、「やや苦しい」と「かなり苦しい」を合わせて約2割（18.7%）になっており、学校が休みの時に「一人で過ごす」子は、学校が休みの時に「一人で過ごさない」子に比べて生活レベルが苦しい子が多くなっている。

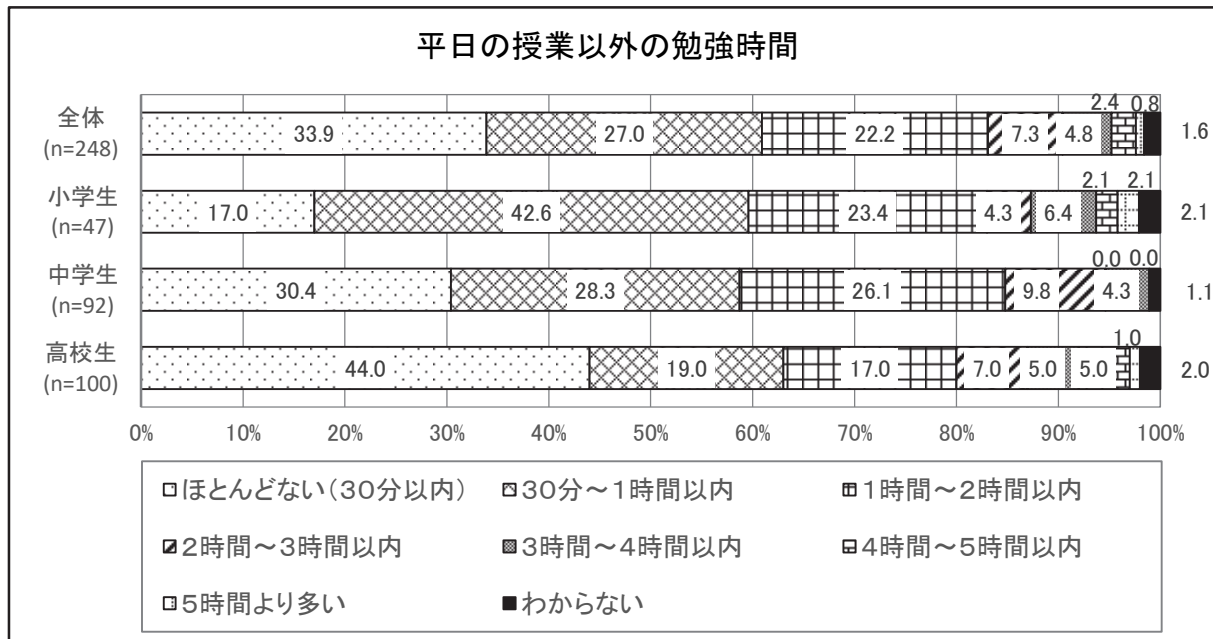
◆ 市「令和5年度 子ども・若者・子育て家庭意識・生活実態調査」との比較



※市「令和5年度子ども・若者・子育て家庭意識・生活実態調査」の「無回答」の項目は掲載を省略

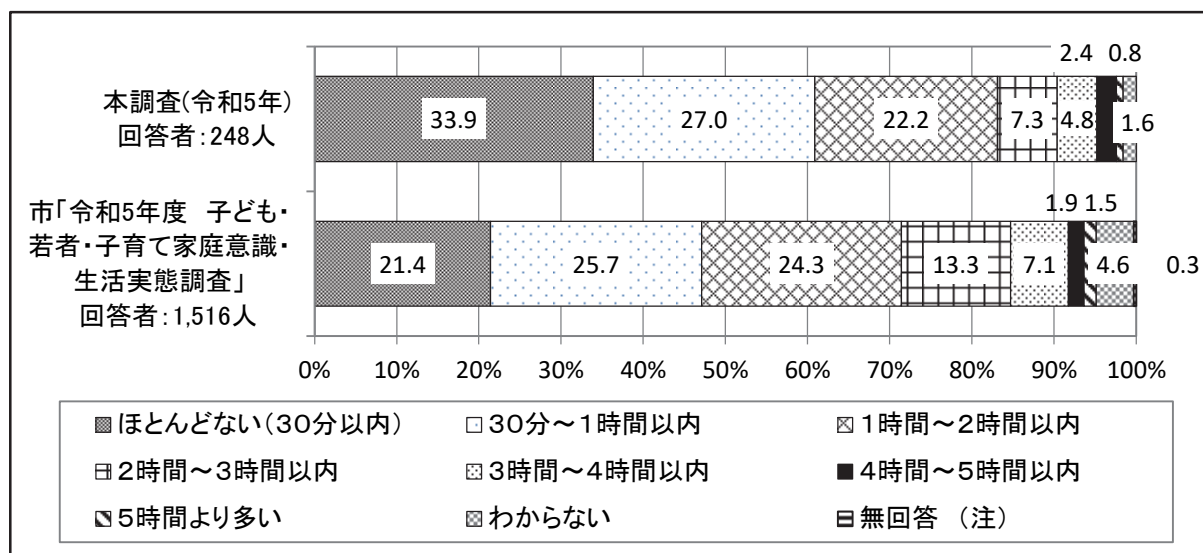
本市で行っている「令和5年度子ども・若者・子育て家庭意識・生活実態調査」と比べると、「家族と一緒に過ごす」は6.1ポイント、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブなど）過ごす子」は9.3ポイント低く、「一人で過ごす」は12.4ポイント高くなっている。

(3) 平日の授業以外の勉強時間について

**時間はほとんどない(30分以内)が約3割**

全体では「ほとんどない(30分以内)」が33.9%と最も多く、次いで「30分～1時間以内」(27.0%)、「1時間～2時間以内」(22.2%)の順となっている。

小学生、中学生、高校生を別に見ると、小学生は「30分～1時間以内」が最も多く、中学生、高校生は「ほとんどない(30分以内)」が最も多くなっている。

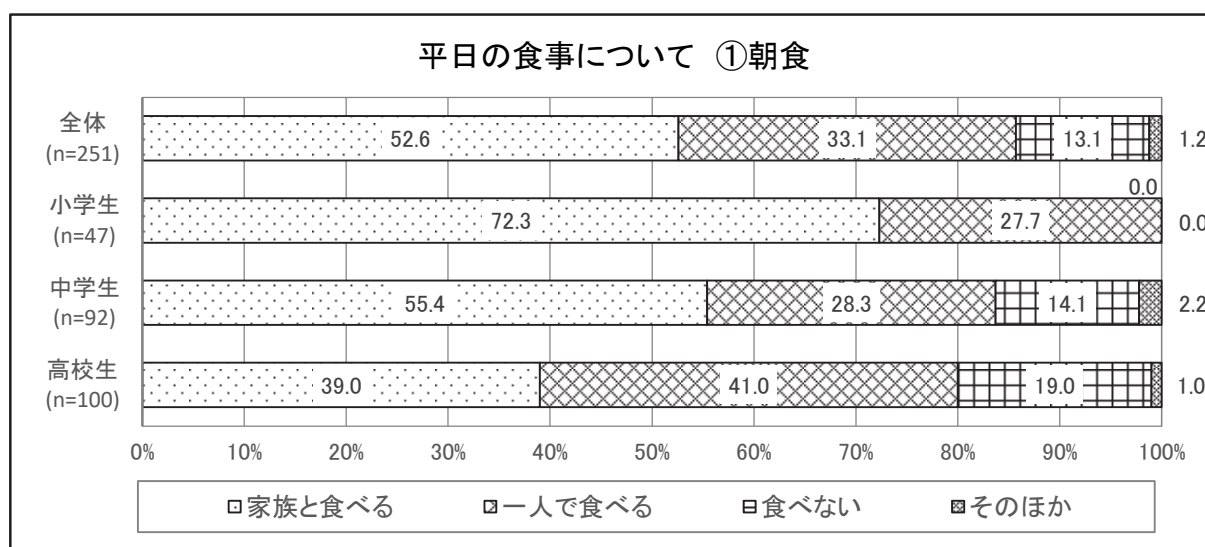
◆ 市「令和5年度 子ども・若者・子育て家庭意識・生活実態調査」との比較

(注) 「無回答」は市「令和5年度子ども・若者・子育て家庭意識・生活実態調査」のみ

本市で行っている「令和5年度子ども・若者・子育て家庭意識・生活実態調査」と比べると、「ほとんどない(30分以内)」は12.5ポイント高く、「2時間～3時間以内」は、6.0ポイント低くなっている。

(4) 平日の食事について

①朝食



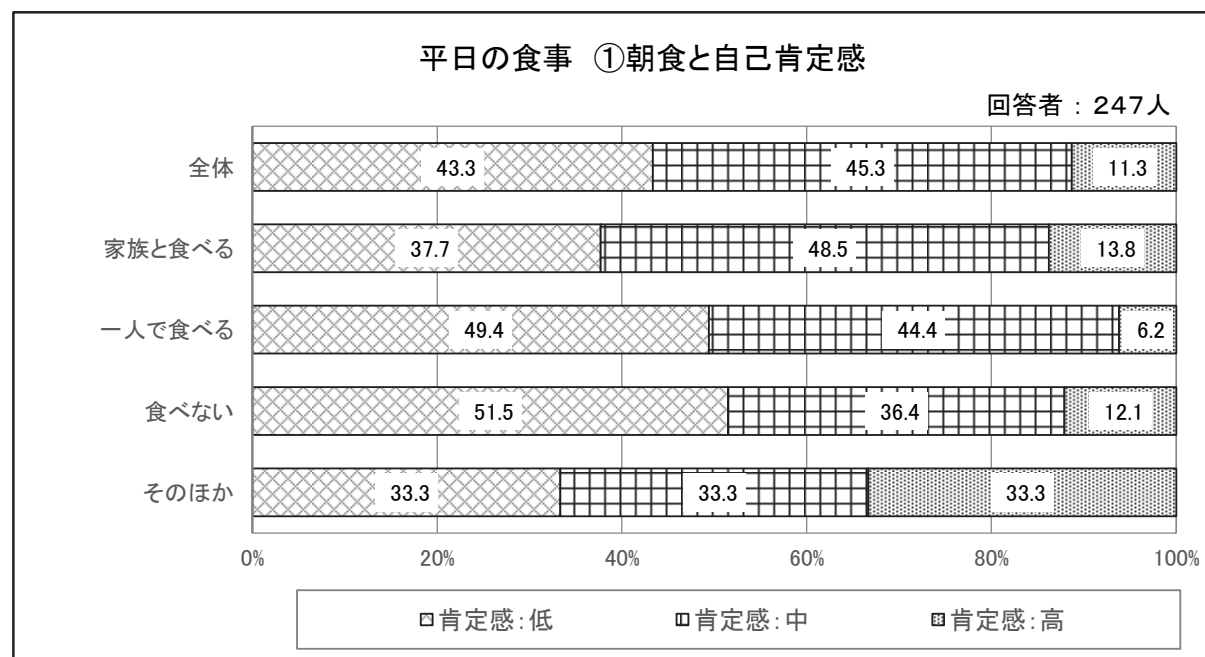
平日の食事は朝食では家族と食べるが約5割

全体では「家族と食べる」が52.6%と最も多く、次いで「一人で食べる」が33.1%となっている。

また、朝食を食べない子が13.1%である。

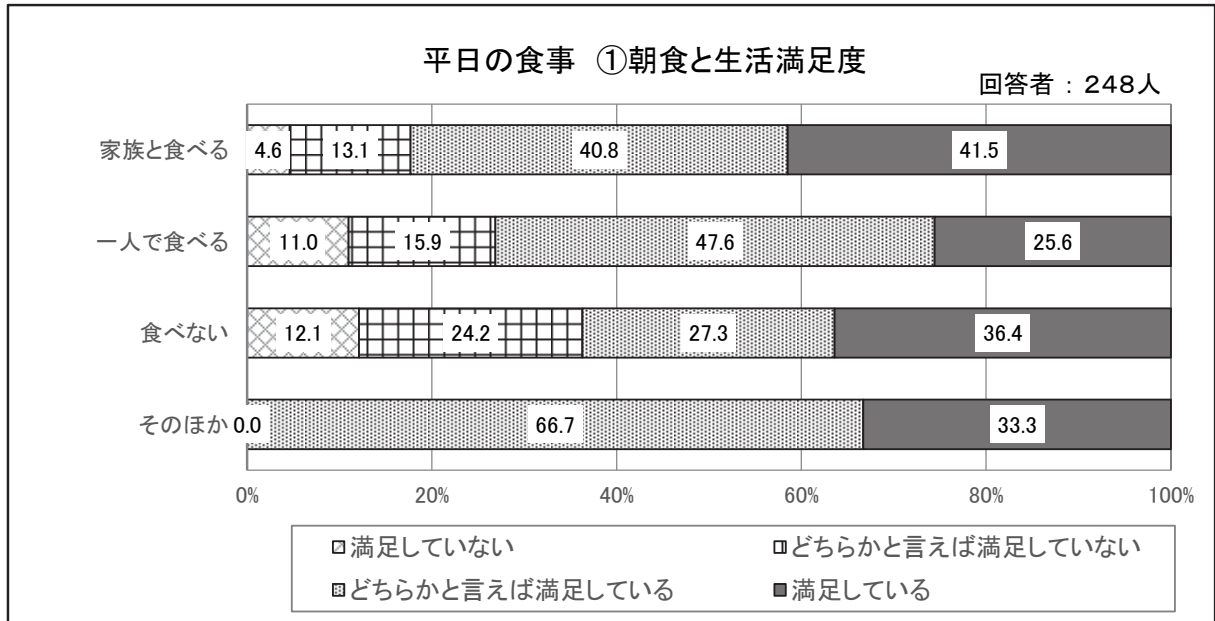
小学生、中学生、高校生を比較すると、高校生になるにつれ「一人で食べる」、「食べない」の割合が高くなっている。

◆「平日の食事(朝食)」と「自己肯定感」



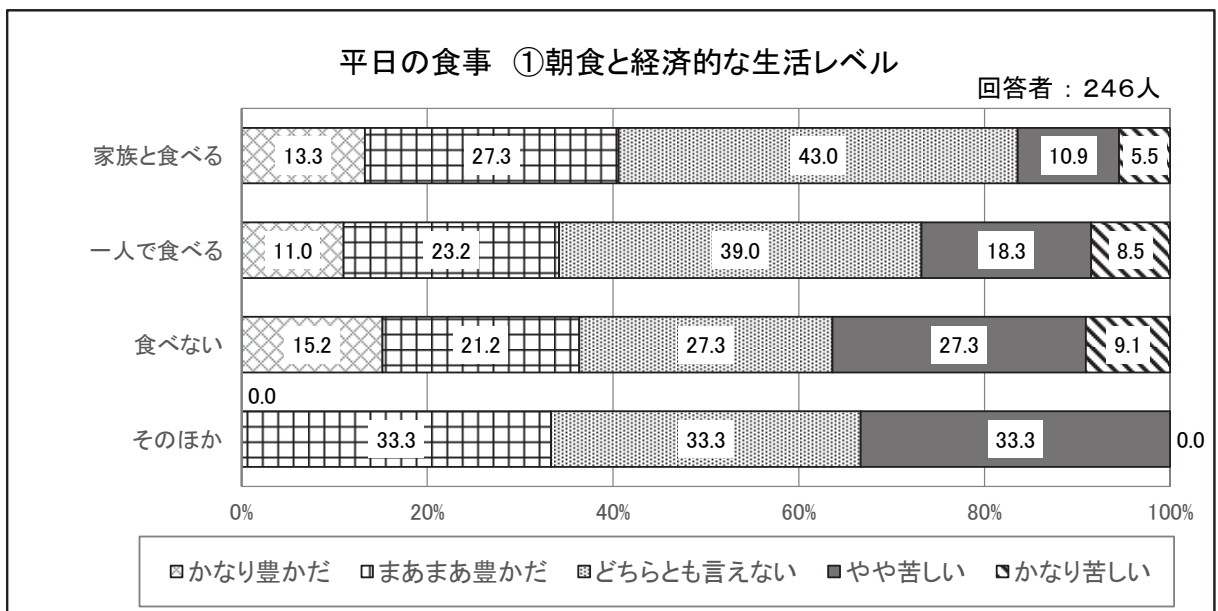
平日の朝食を「家族と食べる」子は、他に比べて「肯定感：高」が13.8%と最も高くなっている。

◆「平日の食事(朝食)」と「生活満足度」



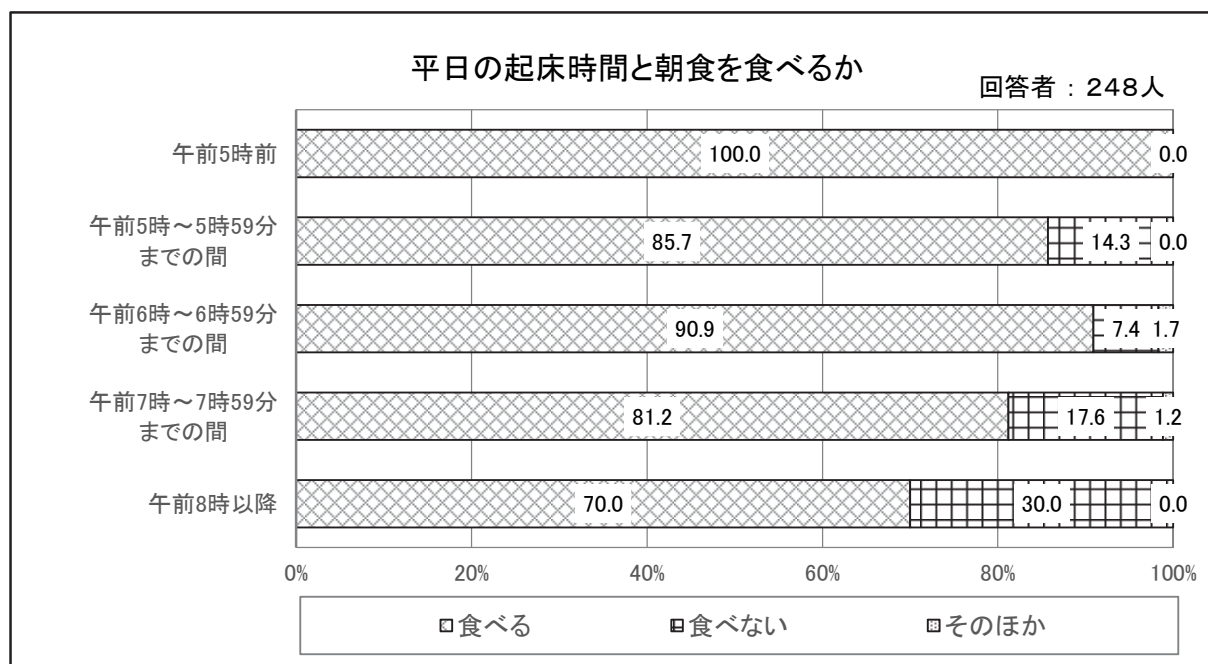
平日の朝食を「家族と食べる」子は、他に比べて生活に「満足している」子が41.5%と最も高くなっている。

◆「平日の食事(朝食)」と「経済的な生活レベル」



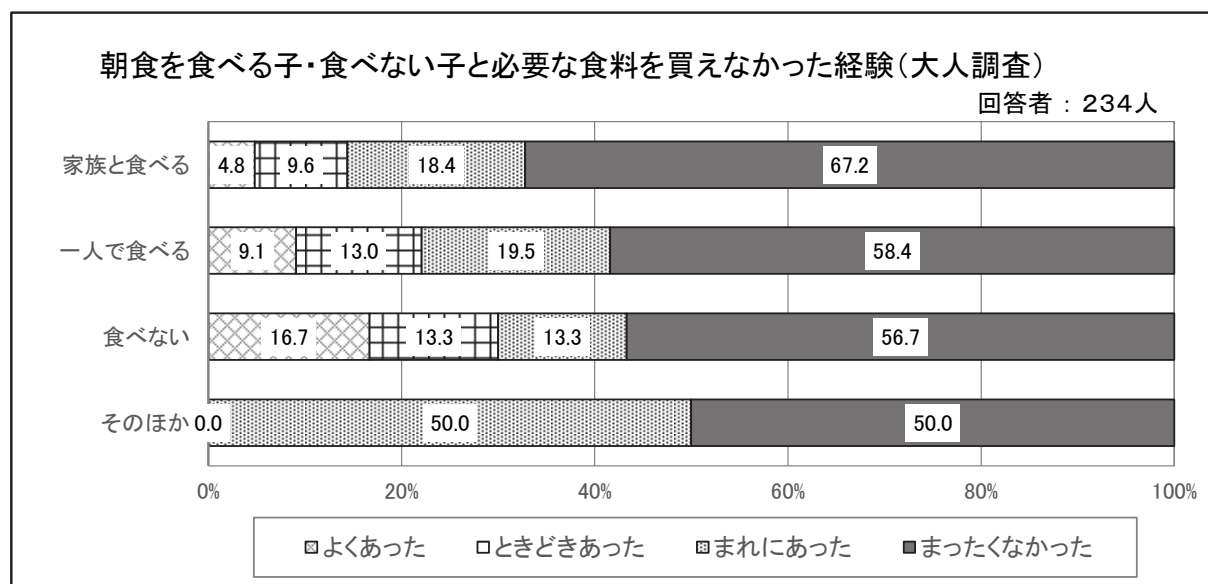
平日の朝食を「食べない」子は、他に比べて生活レベルが「やや苦しい」が27.3%、「かなり苦しい」が9.1%と最も高くなっている。

◆「朝食を食べる子・食べない子」と「平日の起床時間」



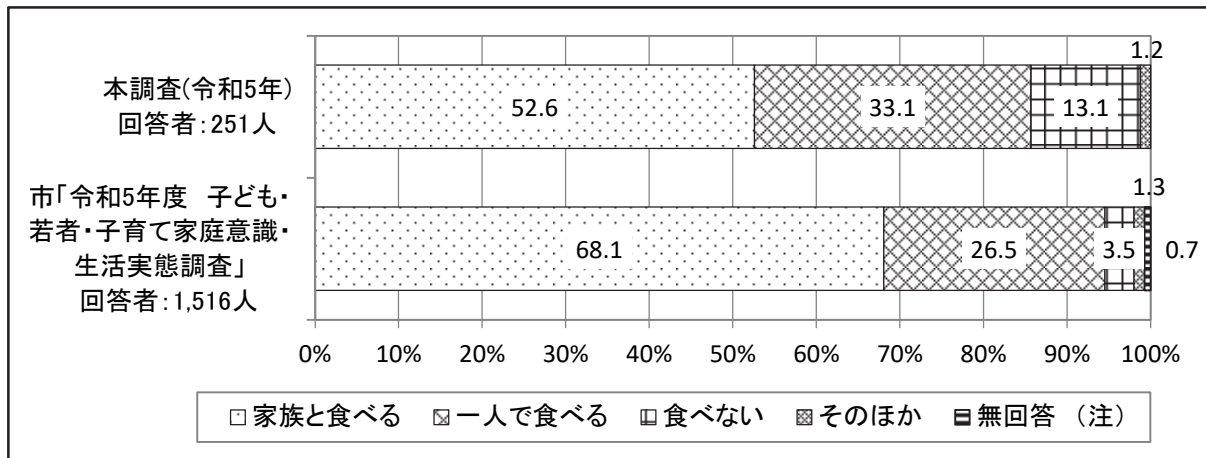
「午前5時～5時59分までの間」に起床する子を除き、起床時間が遅くなるにつれ、朝食を「食べない」子が多くなっている。

◆「朝食を食べる子・食べない子」と「必要な食料が買えなかった経験」



平日の朝食を「食べない」子は、他に比べて親が必要な食料を買えなかった経験が「よくあった」、「ときどきあった」が多くなっている。

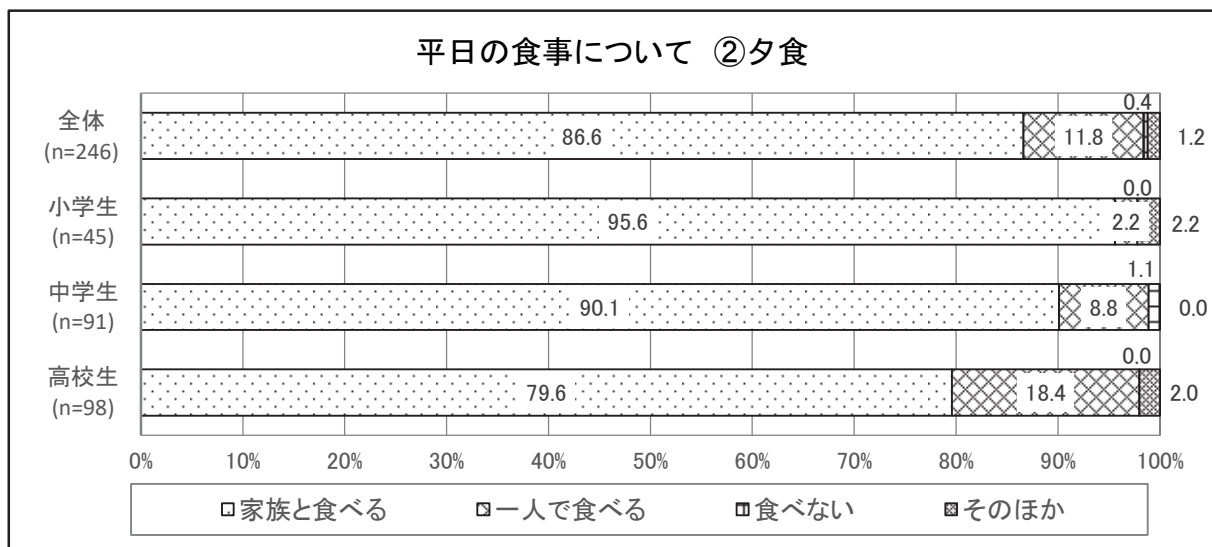
◆ 市「令和5年度 子ども・若者・子育て家庭意識・生活実態調査」との比較



(注) 「無回答」は市「令和5年度子ども・若者・子育て家庭意識・生活実態調査」のみ

本市で行っている「令和5年度子ども・若者・子育て家庭意識・生活実態調査」と比べると、「家族と食べる」は15.5ポイント低く、「一人で食べる」は6.6ポイント、「食べない」は9.6ポイント高くなっている。

②夕食

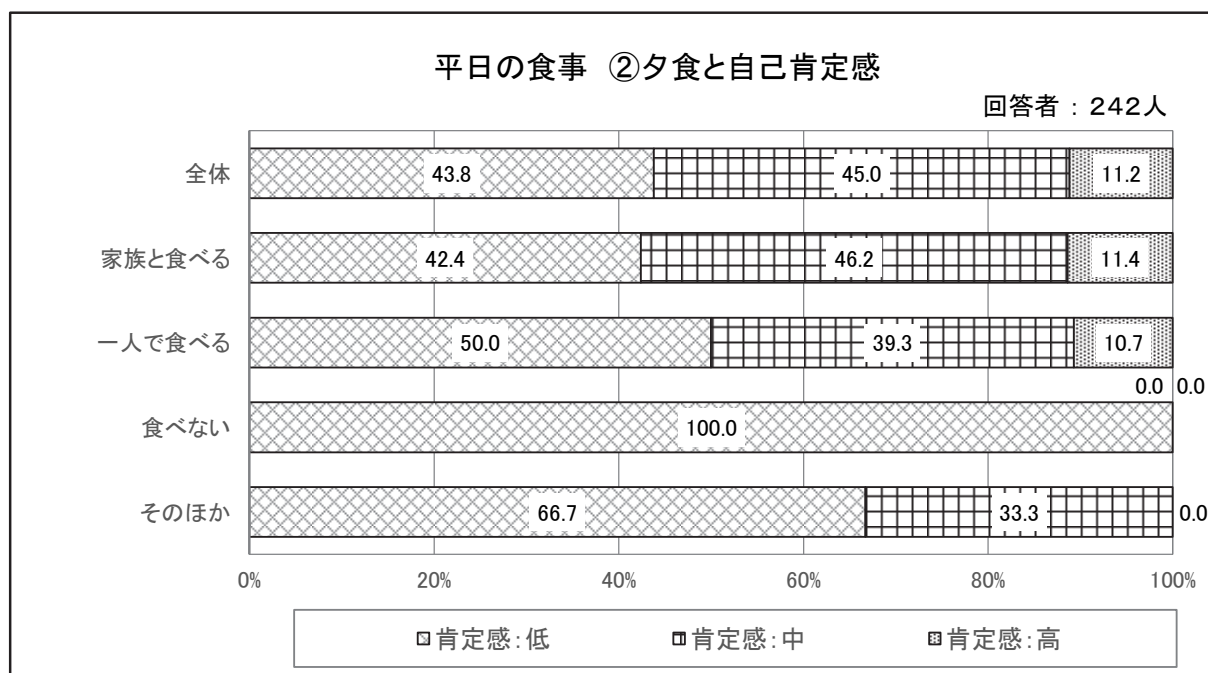


平日の食事は夕食では家族と食べるが約9割

全体では「家族と食べる」が86.6%と最も多く、次いで「ひとりで食べる」が11.8%となっている。

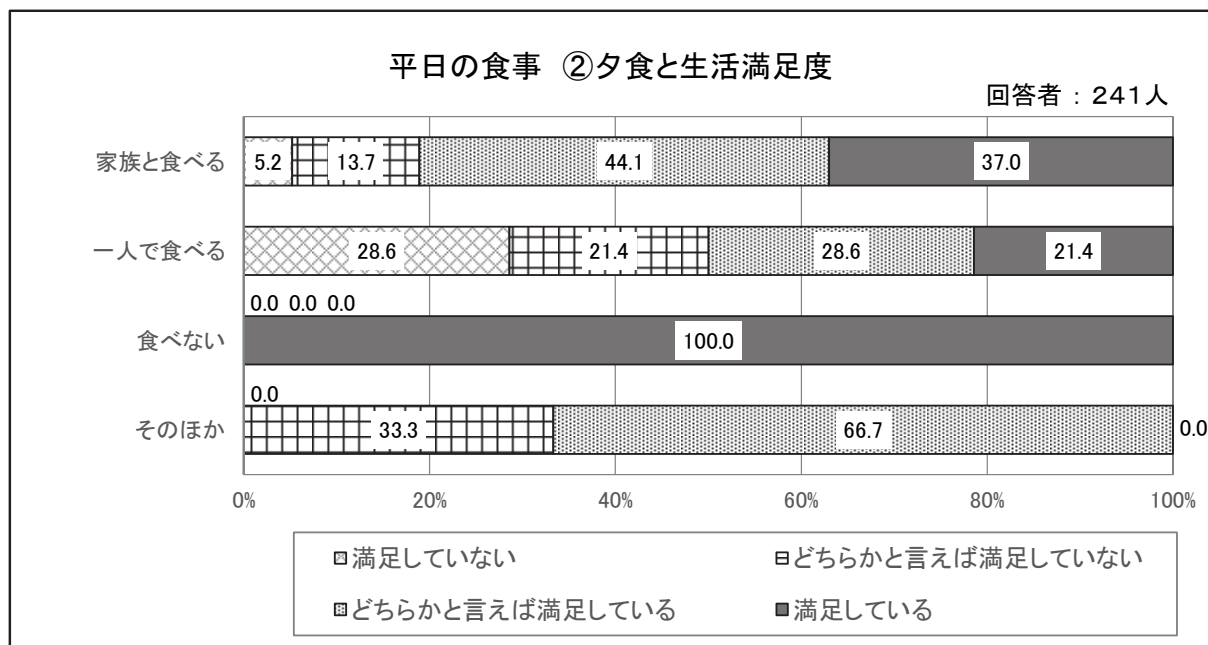
小学生、中学生、高校生を比較すると、高校生になるにつれ、「一人で食べる」割合が高くなっている。

◆「平日の食事(夕食)」と「自己肯定感」



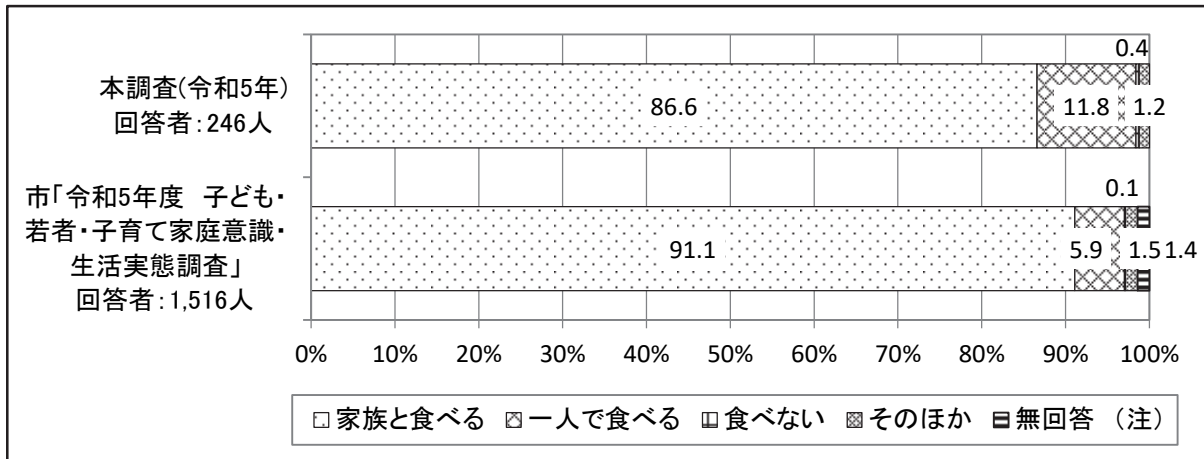
平日の夕食を「家族と食べる」子は、他に比べて「肯定感：高」が11.4%と最も高くなっており、「食べない」子は他に比べて「肯定感：低」が100%と最も高くなっている。

◆「平日の食事(夕食)」と「生活満足度」



平日の夕食を「家族と食べない」子は、他に比べて生活に「満足している」子が100.0%と最も高くなっている。

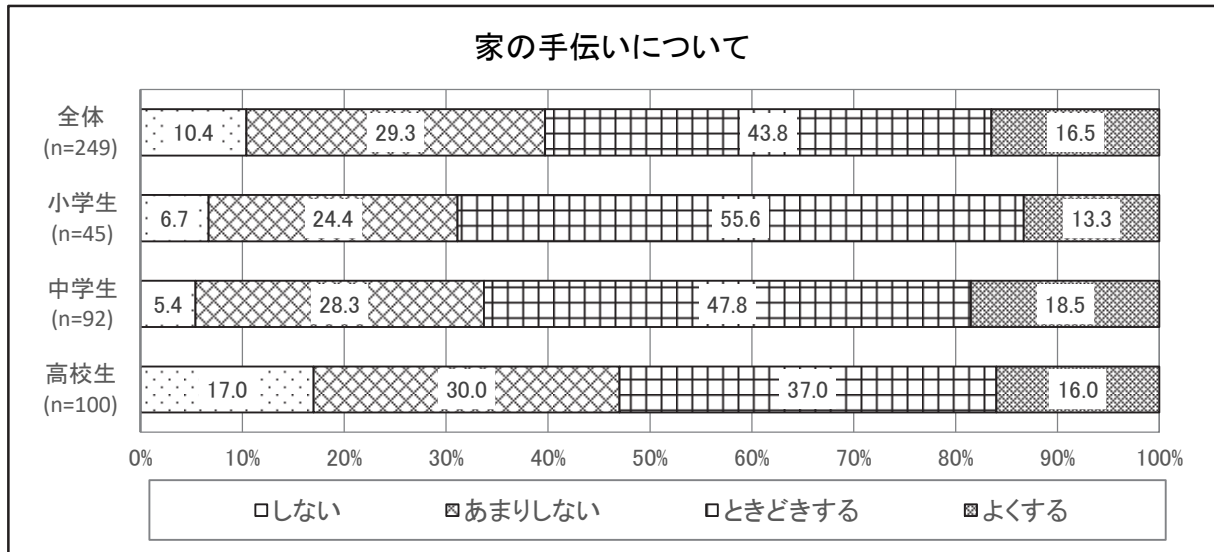
◆ 市「令和5年度 子ども・若者・子育て家庭意識・生活実態調査」との比較



(注) 「無回答」は市「令和5年度子ども・若者・子育て家庭意識・生活実態調査」のみ

本市で行っている「令和5年度子ども・若者・子育て家庭意識・生活実態調査」と比べると、「家族と食べる」は4.5ポイント低く、「一人で食べる」は5.9ポイント高くなっている。

(5) 家の手伝いについて

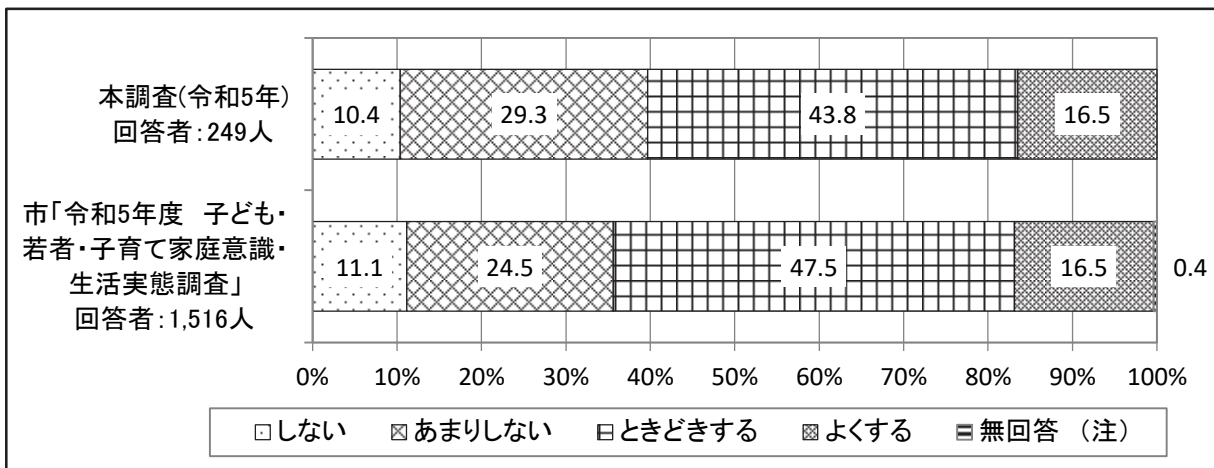


家の手伝いはときどきするが約4割

全体では「ときどきする」が43.8%と最も多く、次いで「あまりしない」(29.3%)、「よくする」(16.5%)の順となっている。

小学生、中学生、高校生を比較すると、高校生になるにつれ、「しない」と「あまりしない」を合わせた割合が高くなる。

◆ 市「令和5年度 子ども・若者・子育て家庭意識・生活実態調査」との比較

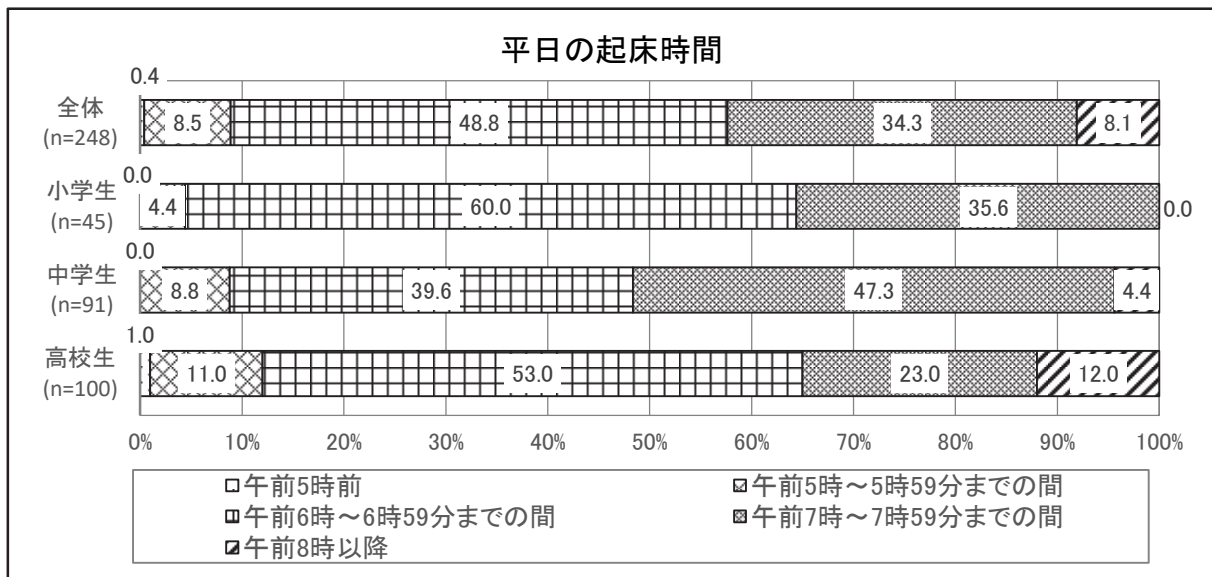


(注) 「無回答」は市「令和5年度子ども・若者・子育て家庭意識・生活実態調査」のみ

本市で行っている「令和5年度子ども・若者・子育て家庭意識・生活実態調査」と比べると、大きな差は見られない。

(6) 平日の起床時間と就寝時間について

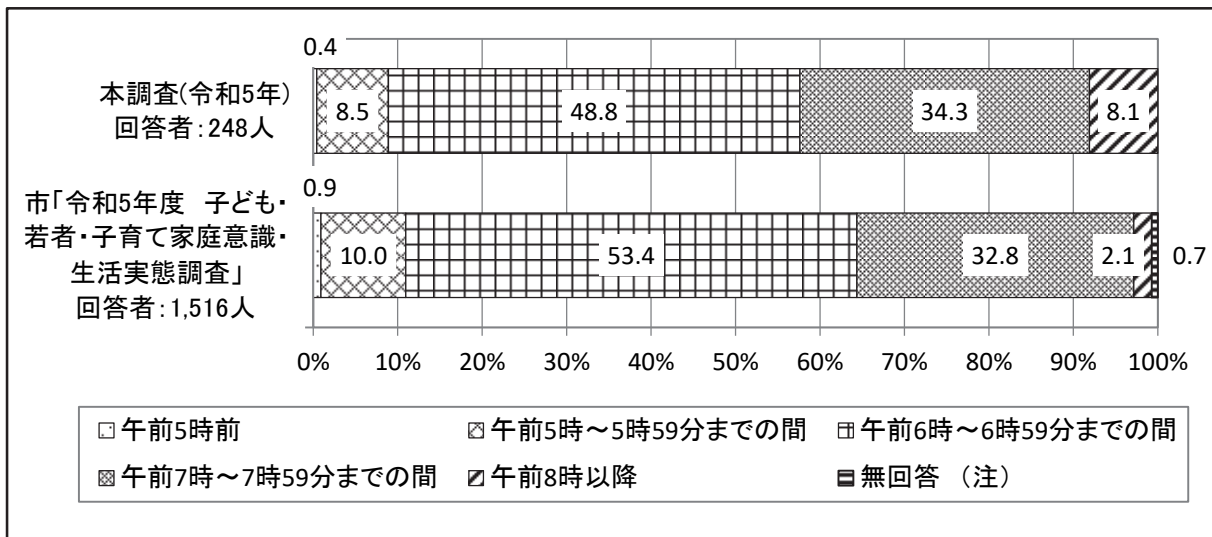
① 起きる時間

**起床時間は午前6時台が約5割**

全体では「午前6時～6時59分の間」が48.8%と最も多く、次いで「午前7時～7時59分の間」(34.3%)、「午前5時～5時59分の間」(8.5%)の順となっている。

小学生、中学生、高校生を別に見ると、小学生は「午前6時～6時59分」、中学生は「午前7時～7時59分」、高校生は「午前6時～6時59分」が最も高くなっている。

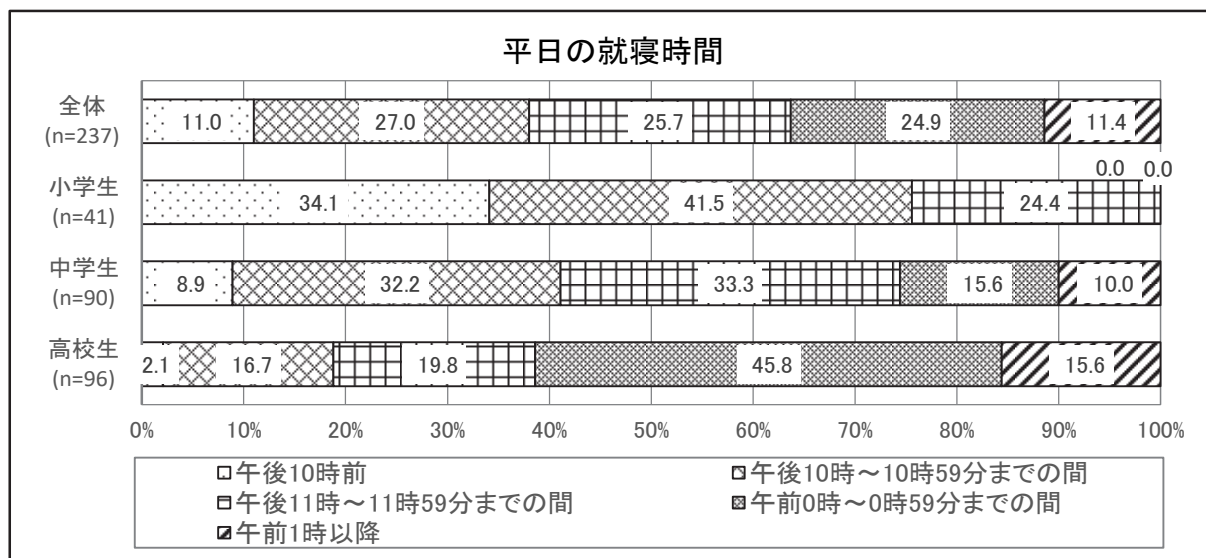
◆ 市「令和5年度 子ども・若者・子育て家庭意識・生活実態調査」との比較



(注) 「無回答」は市「令和5年度子ども・若者・子育て家庭意識・生活実態調査」のみ

本市で行っている「令和5年度子ども・若者・子育て家庭意識・生活実態調査」と比べると、「午前8時以降」は6.0ポイント高くなっている。

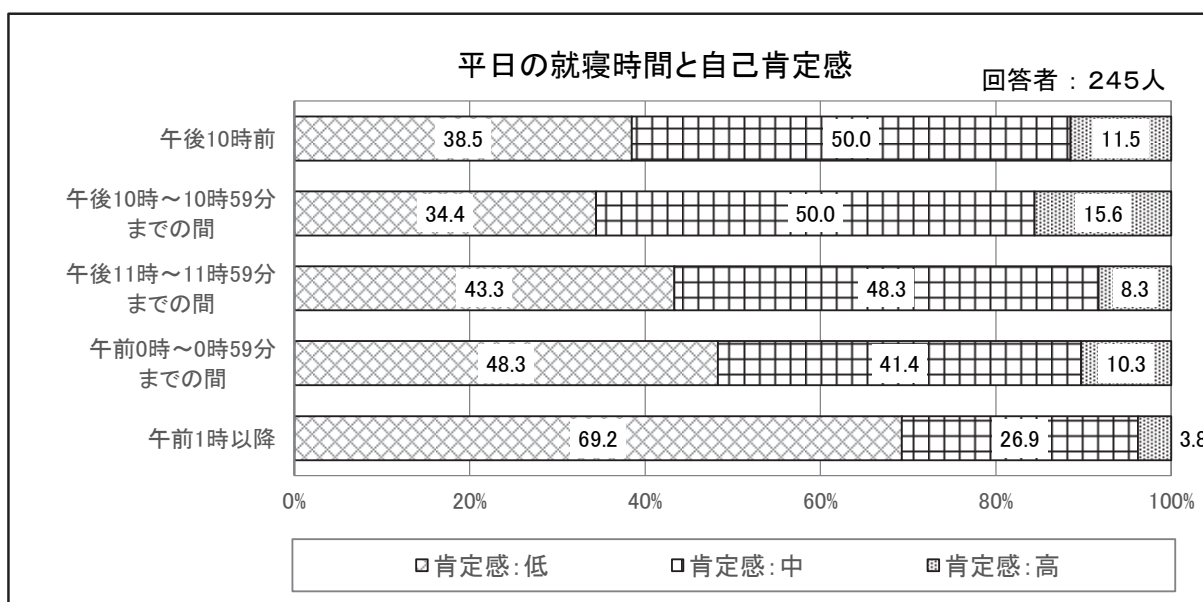
②寝る時間

**就寝時間は午後10時台が約3割**

全体では「午後10時～10時59分の間」が27.0%と最も多く、次いで「午後11時～11時59分の間」(25.7%)、「午前0時～0時59分の間」(24.9%)となっている。

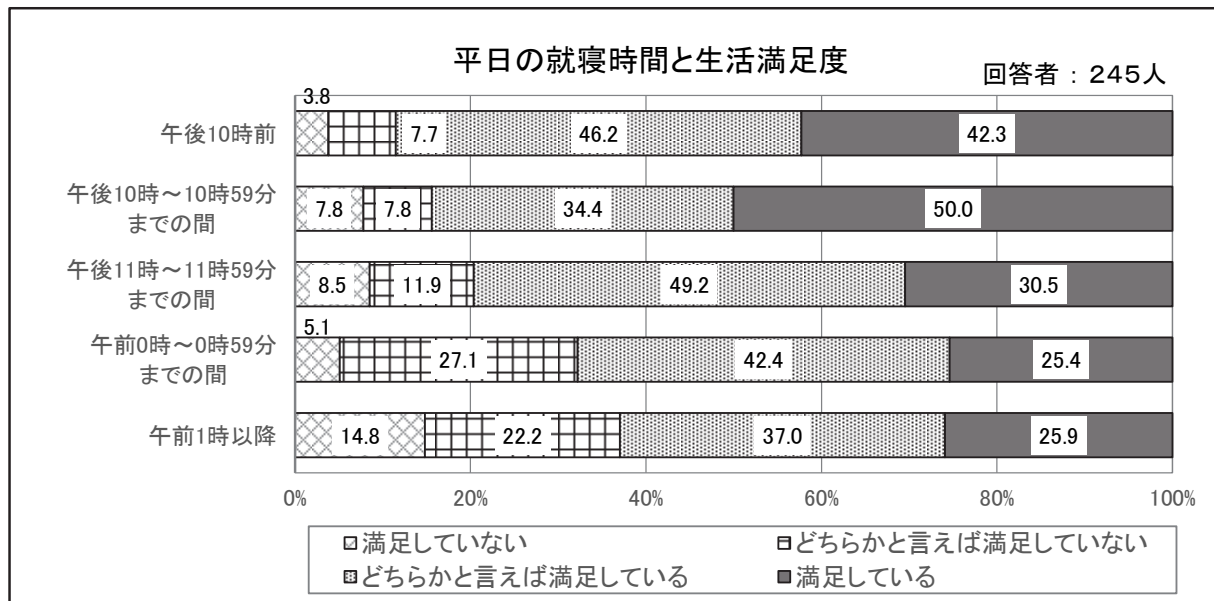
小学生、中学生、高校生を別に見ると、小学生は「午後10時～10時59分」、中学生は「午後11時～11時59分」、高校生は「午前0時～0時59分」が最も高くなっている。

◆「平日の就寝時間」と「自己肯定感」



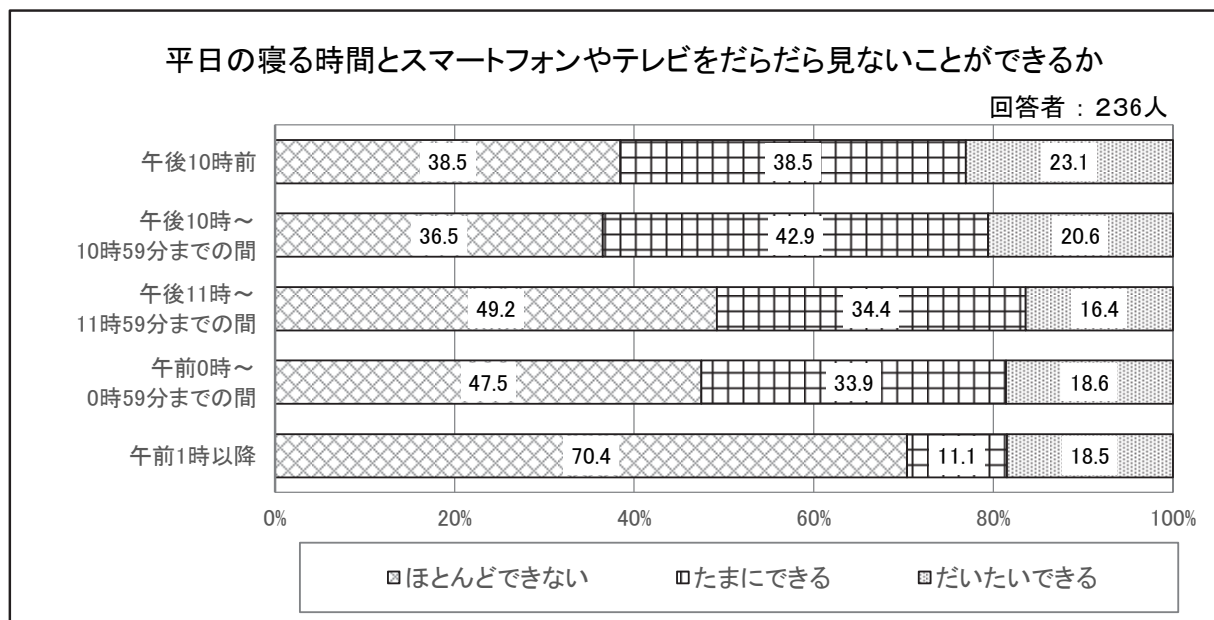
「午後10時前」に就寝する子を除き、就寝時間が遅くなるにつれ、「肯定感：低」の子が多くなっている。

◆「平日の就寝時間」と「生活満足度」



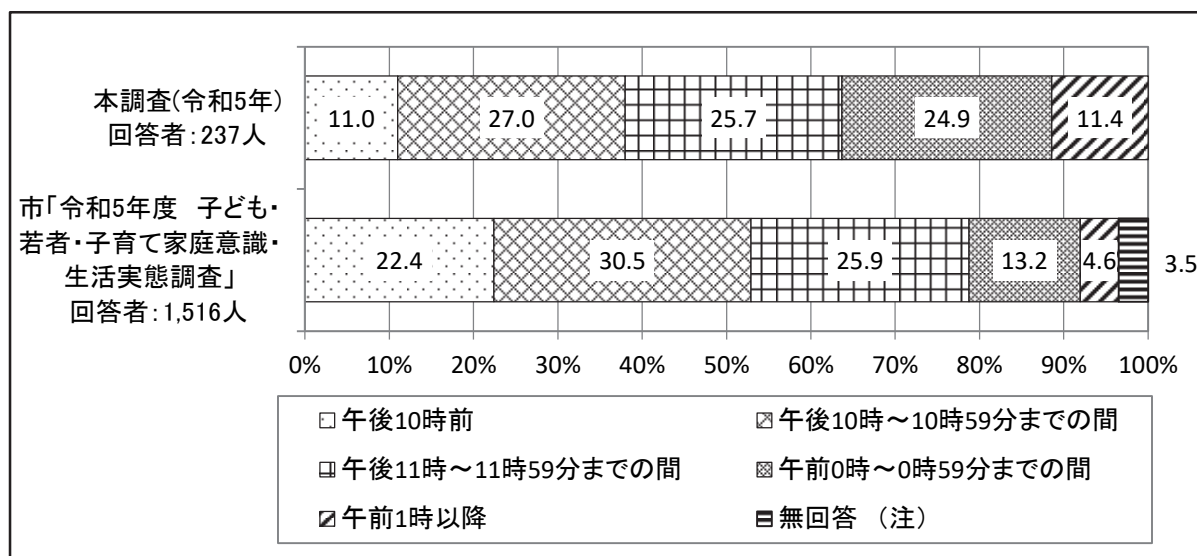
就寝時間が遅くなるにつれ、生活に「満足していない」と「どちらかと言えば満足していない」を合わせた割合が高くなる。

◆「平日の就寝時間」と「スマートフォンやテレビをだらだら見ないことができる子・できない子」



平日の就寝時間が「午前1時以降」の子は、他に比べて、スマートフォンやテレビをだらだら見ないことが「ほとんどできない」子が70.4%と最も高くなっている。

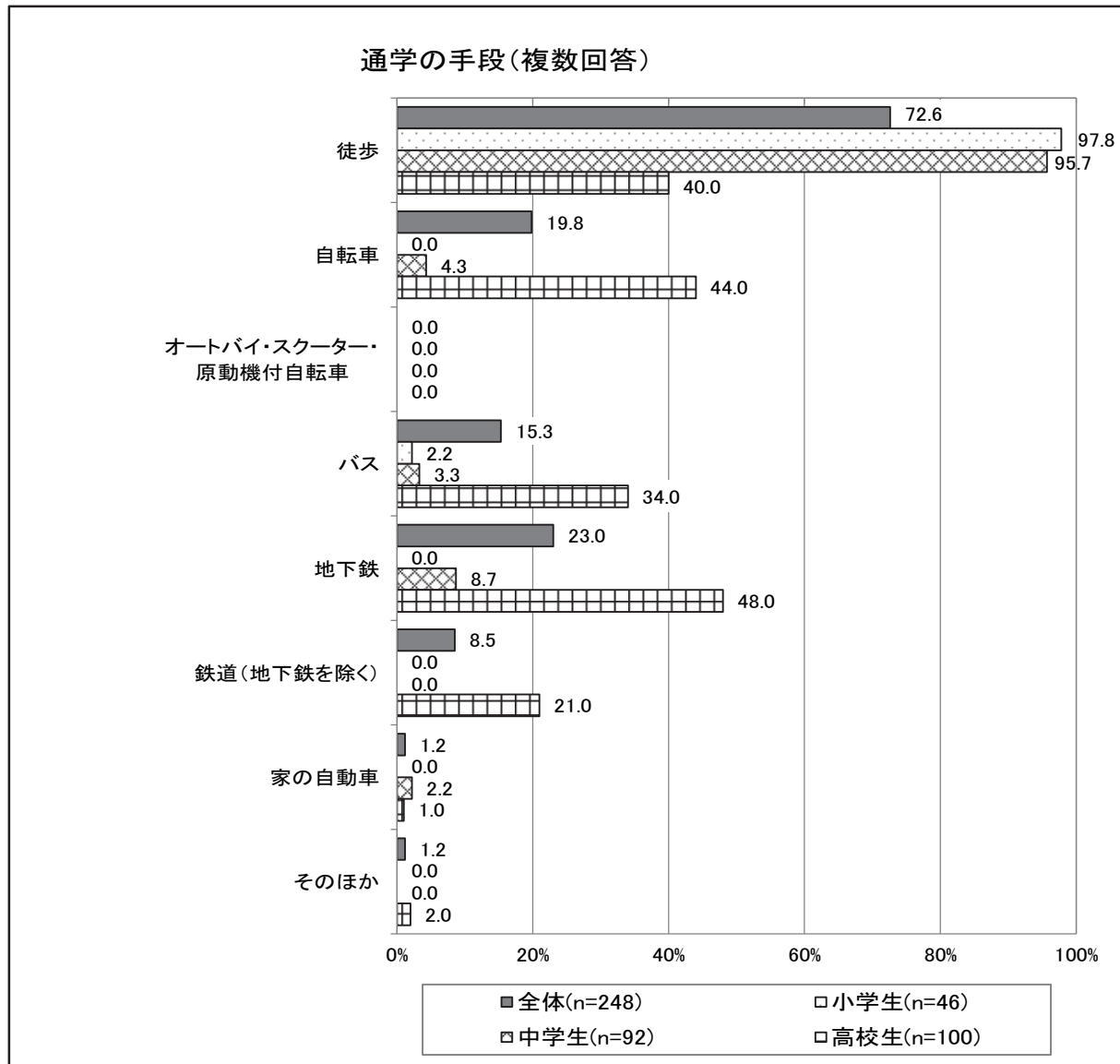
◆ 市「令和5年度 子ども・若者・子育て家庭意識・生活実態調査」との比較



（注）「無回答」は市「令和5年度子ども・若者・子育て家庭意識・生活実態調査」のみ

本市で行っている「令和5年度子ども・若者・子育て家庭意識・生活実態調査」と比べると、「午後10時前」は11.4ポイント低く、「午前0時～0時59分までの間」は11.7ポイント、「午前1時以降」は6.8ポイント高くなっている。

(7) 通学の手段について

**通学の手段は徒歩が約7割**

全体では「徒歩」が72.6%と最も多く、次いで「地下鉄」(23.0%)、「自転車」(19.8%)、「バス」(15.3%)の順となっている。

小学生、中学生、高校生を比較すると、小学生と中学生は「徒歩」での通学の割合が高く、高校生は「地下鉄」、「自転車」、「バス」、「鉄道(地下鉄を除く)」が高くなっている。

◆ 駐輪場推計利用率

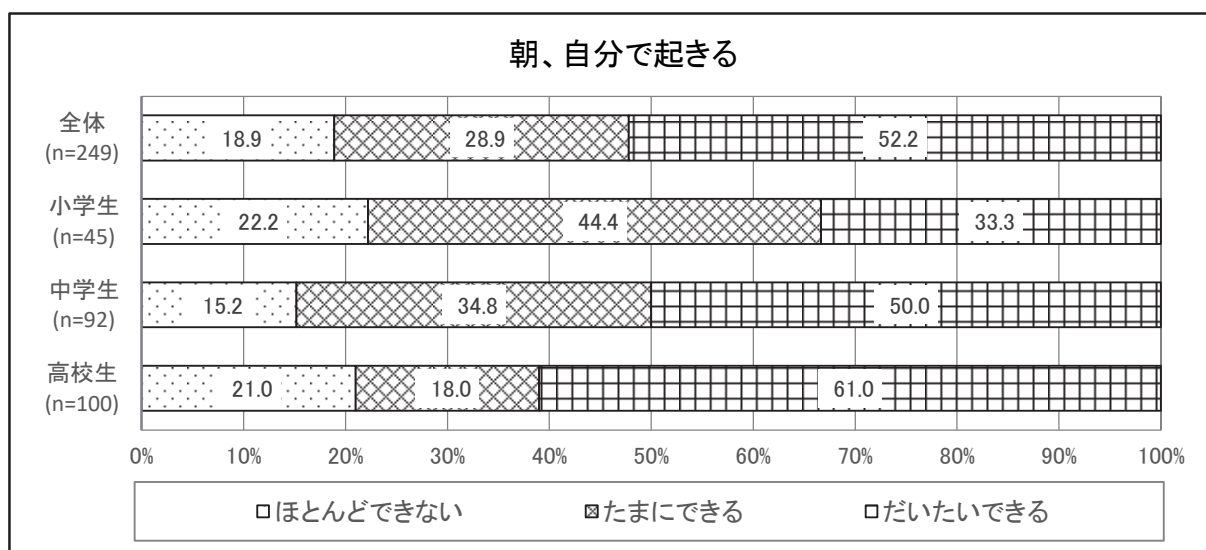
単位: %

全体	内訳	
	自転車	原動機付自転車
7.3	7.3	—

※通学手段が自転車かつ地下鉄、原動機付自転車かつ地下鉄の人の割合

(8) 自分でできることについて

① 朝、自分で起きる

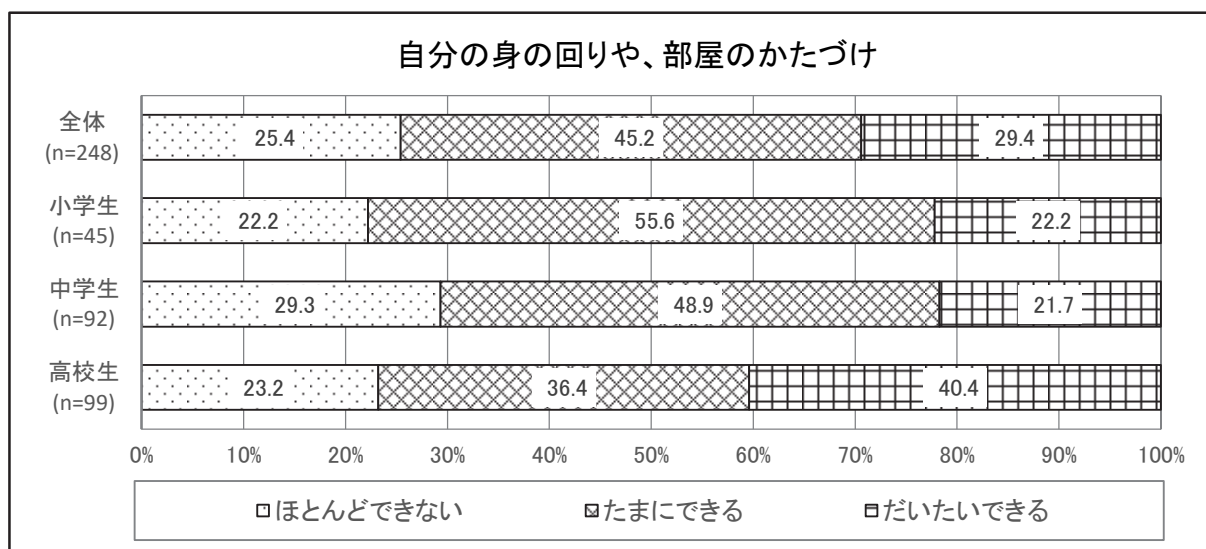


朝、自分で起きることは、だいたいできるが約5割

全体では「だいたいできる」が 52.2%と最も多く、次いで「たまにできる」が 28.9%、「ほとんどできない」が 18.9%となっている。

小学生、中学生、高校生を比較すると、高校生になるにつれ、「だいたいできる」の割合が高くなる。

② 自分の身の回りや、部屋のかたづけ

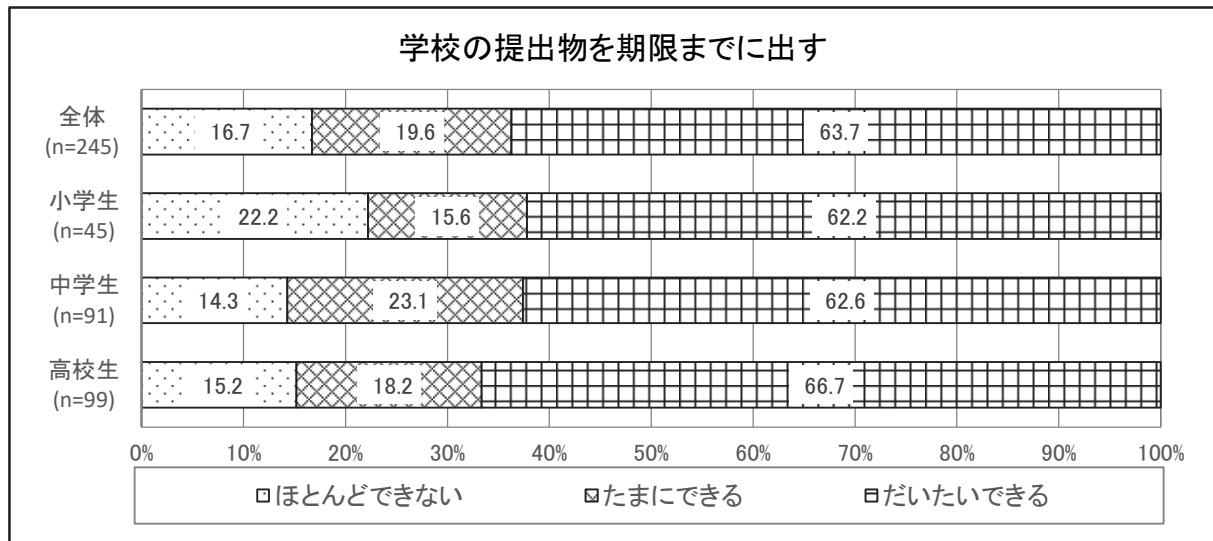


自分の身の回りや、部屋のかたづけは、たまにできるが約5割

全体では「たまにできる」が 45.2%と最も多く、次いで「だいたいできる」が 29.4%、「ほとんどできない」が 25.4%となっている。

小学生、中学生、高校生を別に見ると、小学生、中学生は「たまにできる」が最も多く、高校生は「だいたいできる」が最も多い。

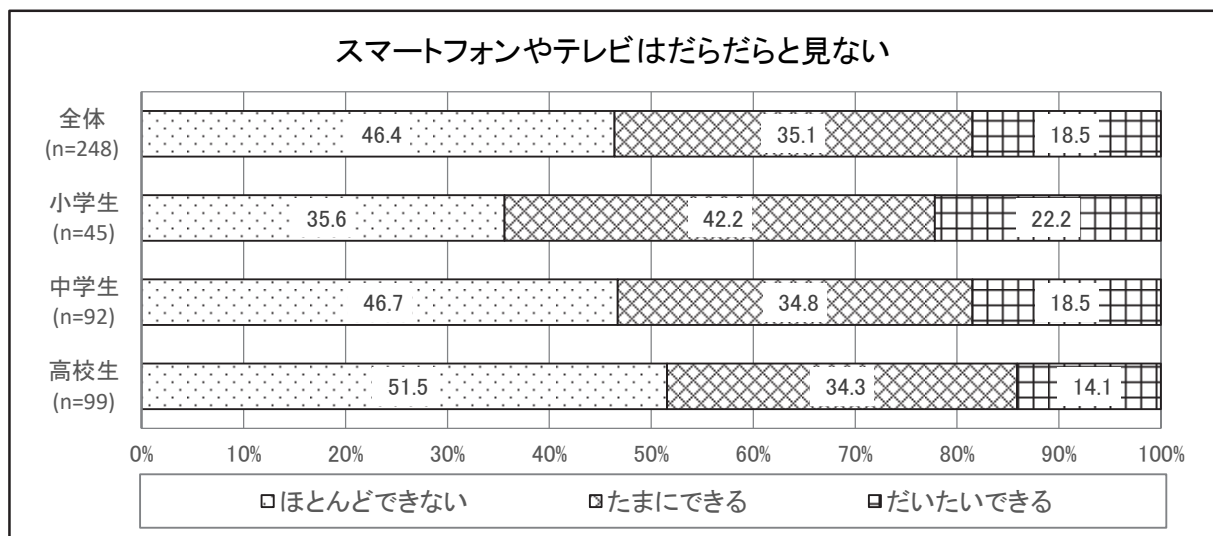
③学校の提出物を期限までに出す

**提出物を期限までに出すことは、だいたいできるが約6割**

全体では「だいたいできる」が 63.7%と最も多く、次いで「たまにできる」が 19.6%、「ほとんどできない」が 16.7%となっている。

小学生、中学生、高校生を比較すると、小学生は他に比べて「ほとんどできない」割合が高い。

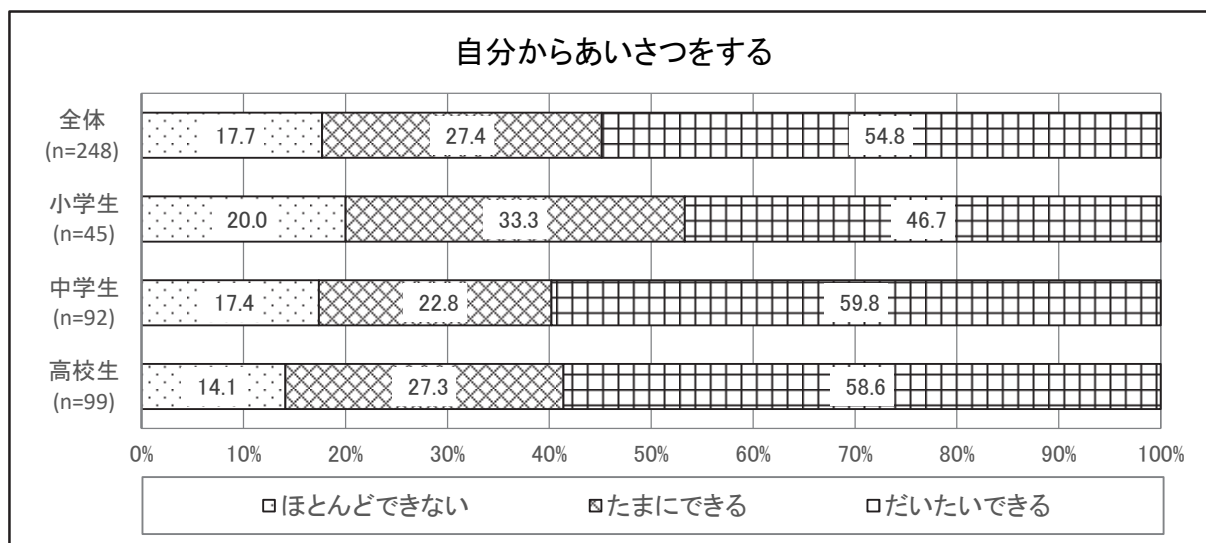
④スマートフォンやテレビはだらだらと見ない

**スマートフォンやテレビはだらだらと見ないことは、ほとんどできないが約5割**

全体では「ほとんどできない」が 46.4%と最も多く、次いで「たまにできる」が 35.1%、「だいたいできる」が 18.5%となっている。

小学生、中学生、高校生を別に見ると、高校生になるにつれ、「ほとんどできない」割合が高くなる。

⑤自分からあいさつをする

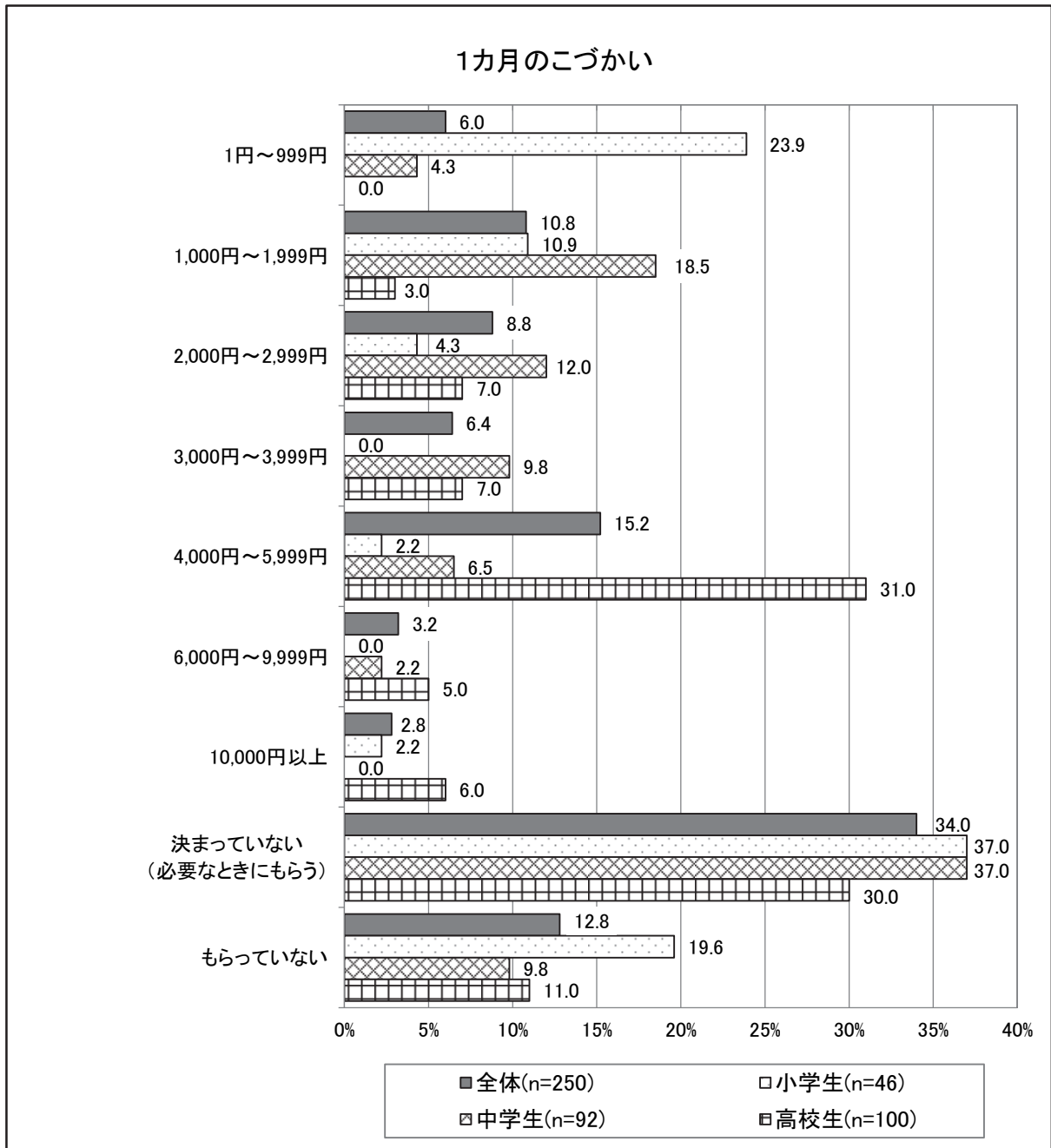


自分からあいさつをすることは、だいたいできるが約5割

全体では「だいたいできる」が 54.8%と最も多く、次いで「たまにできる」が 27.4%、「ほとんどできない」が 17.7%となっている。

小学生、中学生、高校生別に見ると、高校生になるにつれ、「ほとんどできない」割合が低くなる。

(9) 1カ月のこづかいについて

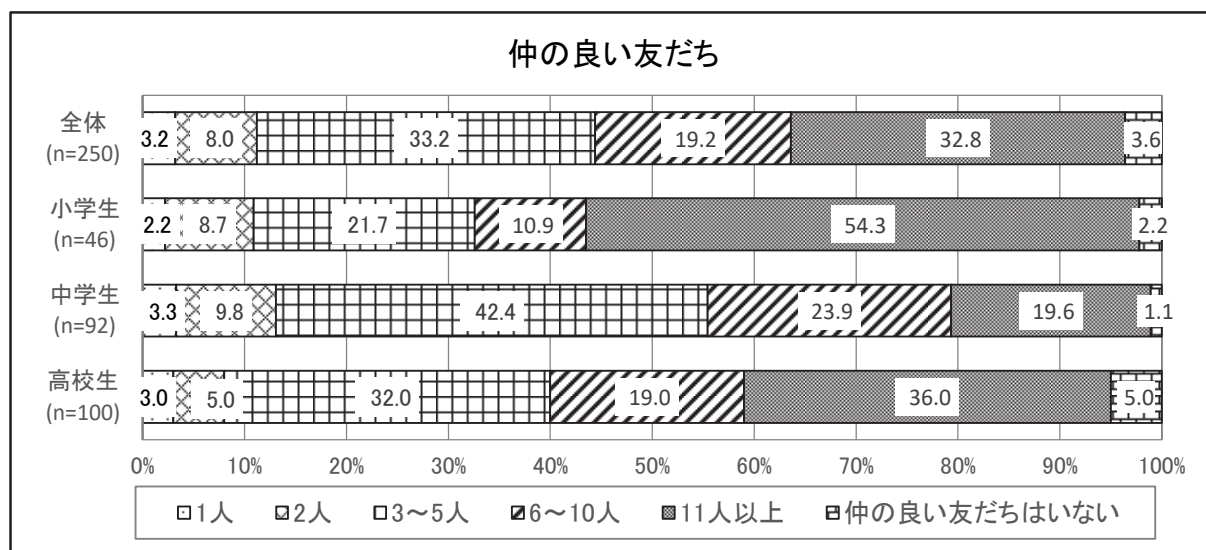
**毎月のこづかいの金額は、決まっていない(必要なときにもらう)が約3割**

全体では「決まっていない(必要なときにもらう)」が34.0%と最も多く、次いで「4,000円～5,999円」(15.2%)、「1,000円～1,999円」(10.8%)、「2,000円～2,999円」(8.8%)の順になっている。

また、「もらっていない」が12.8%となっている。

小学生、中学生、高校生を別に見ると、小学生、中学生は「決まっていない(必要なときにもらう)」、高校生は「4,000円～5,999円」が最も多くなっている。

(10) 仲の良い友だちについて

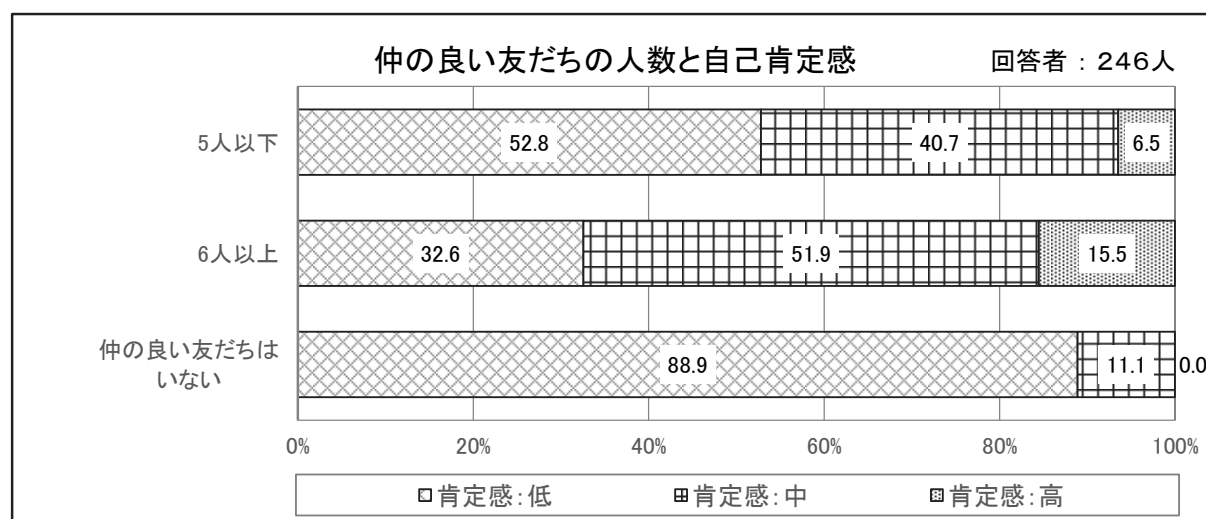


仲の良い友だちは、3～5人が約3割

全体では「3～5人」が33.2%と最も多く、次いで「11人以上」(32.8%)、「6～10人」(19.2%)の順となっている。

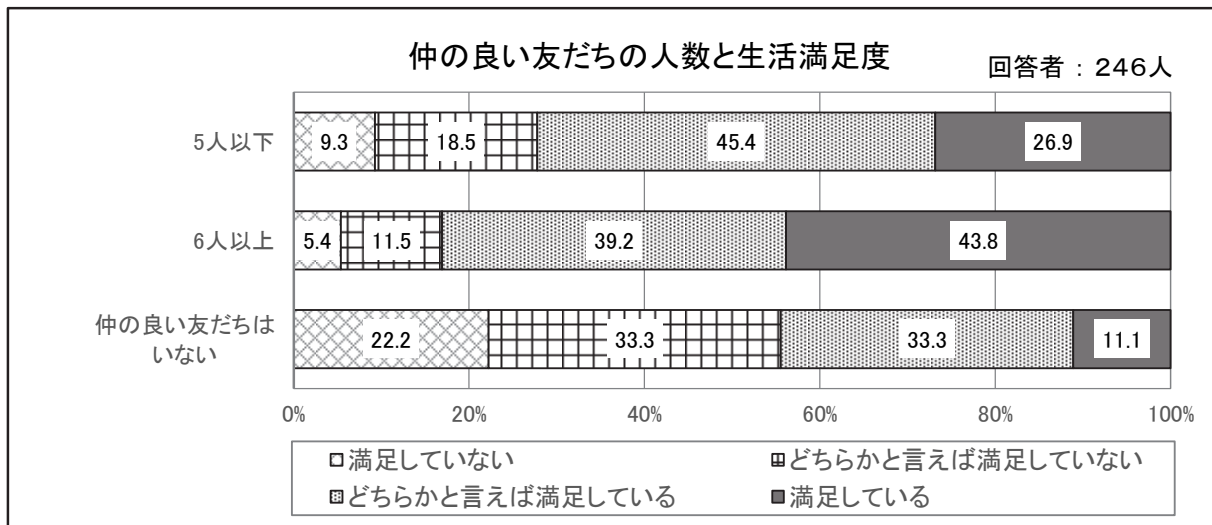
小学生、中学生、高校生を別に見ると、小学生、高校生は「11人以上」、中学生は「3～5人」が最も多くなっている。

◆「仲の良い友だちの人数」と「自己肯定感」



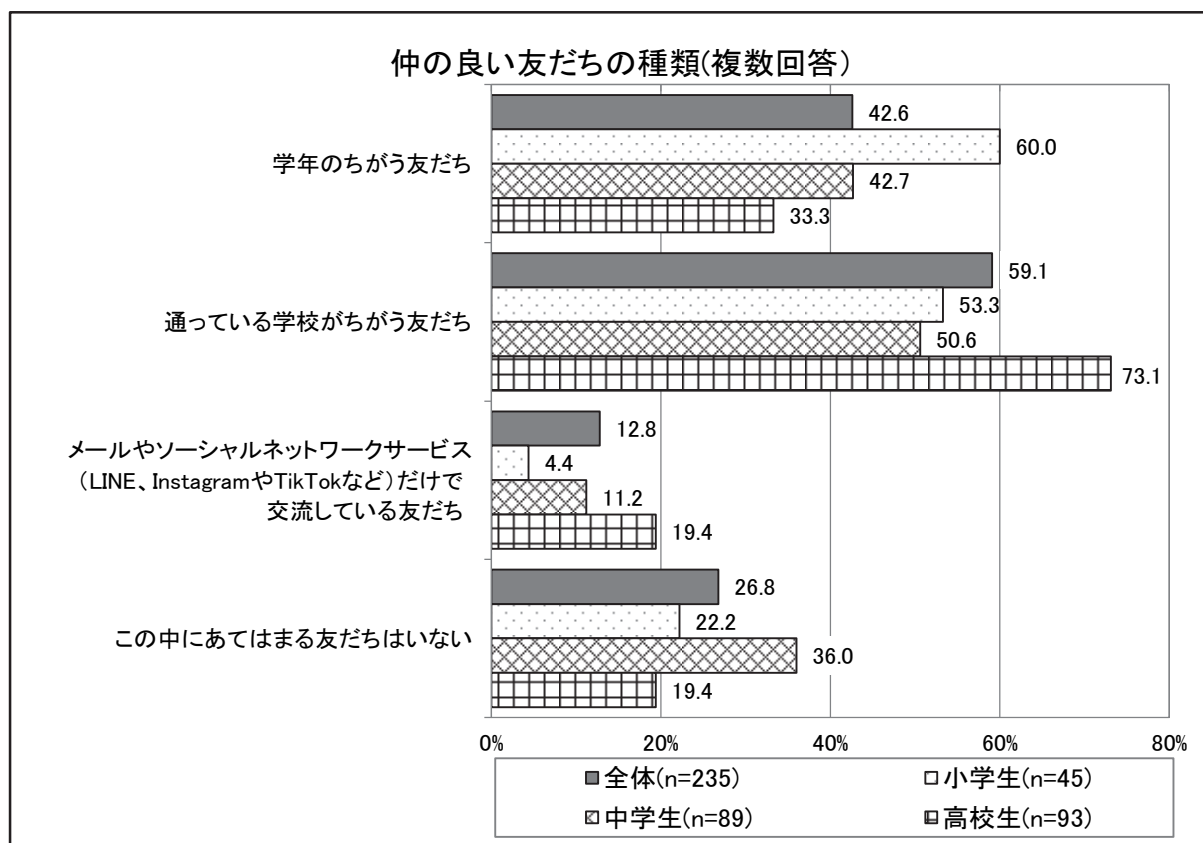
仲の良い友だちが「6人以上」の子は他に比べて、「肯定感：高」が15.5%と最も高くなっている。

◆「仲の良い友だちの人数」と「生活満足度」



仲の良い友だちが「6人以上」の子は他に比べて、生活に「満足している」子が43.8%と最も高くなっている。

(11) 仲の良い友だちの種類について



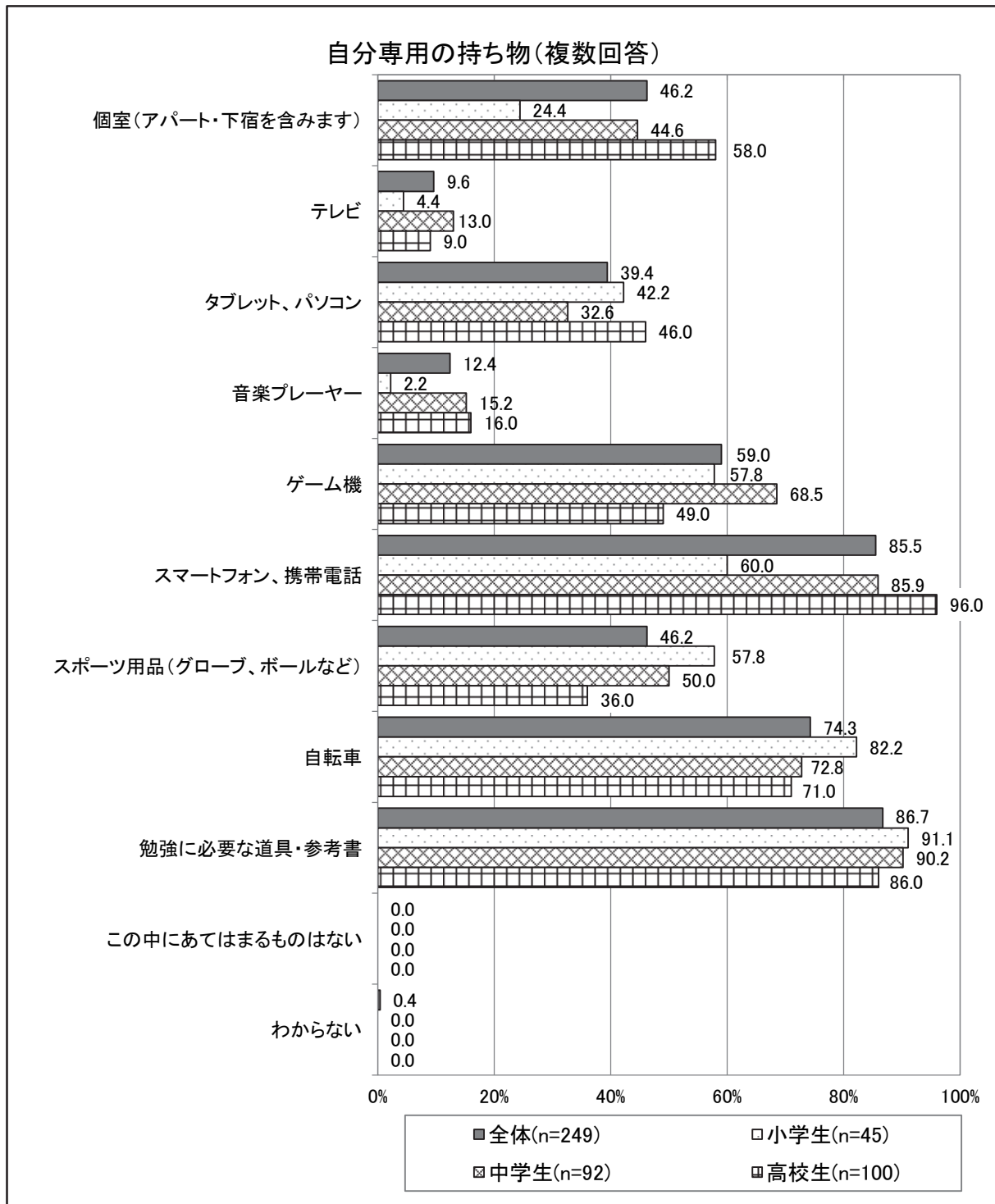
仲の良い友だちは、通っている学校がちがう友だちが約6割

全体では「通っている学校がちがう友だち」が 59.1%と最も多く、次いで「学年がちがう友だち」が 42.6%となっている。

また、「メールやソーシャルネットワークサービス (LINE、Instagram や TikTok など) だけで交流している友だち」が 12.8%となっている。

小学生、中学生、高校生を比較すると、小学生は他に比べて「学年のちがう友だち」の割合が高く、中学生は「この中にあてはまる友だちはいない」、高校生は「通っている学校がちがう友だち」、「メールやソーシャルネットワークサービス (LINE、Instagram や TikTok など) だけで交流している友だち」が高くなっている。

(12) 自分専用の持ち物について

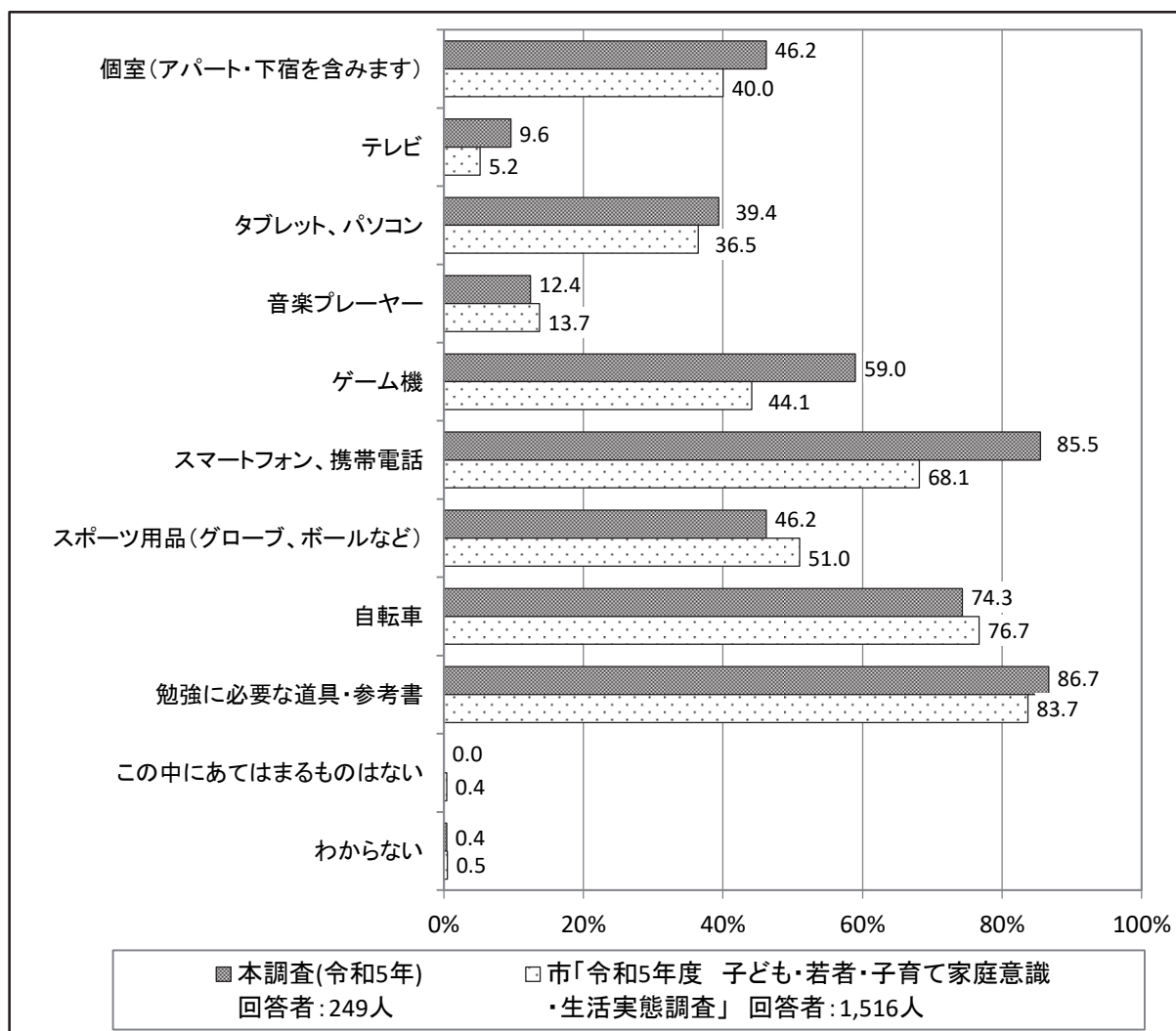


**自分専用の持ち物は、勉強に必要な道具・参考書が約9割、
「スマートフォン・携帯電話」が約9割**

全体では「勉強に必要な道具・参考書」が86.7%と最も多く、次いで「スマートフォン・携帯電話」(85.5%)、「自転車」(74.3%)、「ゲーム機」(59.0%)となっている。

小学生、中学生、高校生を比較すると、小学生は他に比べて「自転車」、「スポーツ用品(グローブ、ボールなど)」、中学生は「ゲーム機」、高校生は「スマートフォン・携帯電話」、「個室(アパート・下宿を含みます)」の割合が高くなっている。

◆ 市「令和5年度 子ども・若者・子育て家庭意識・生活実態調査」との比較

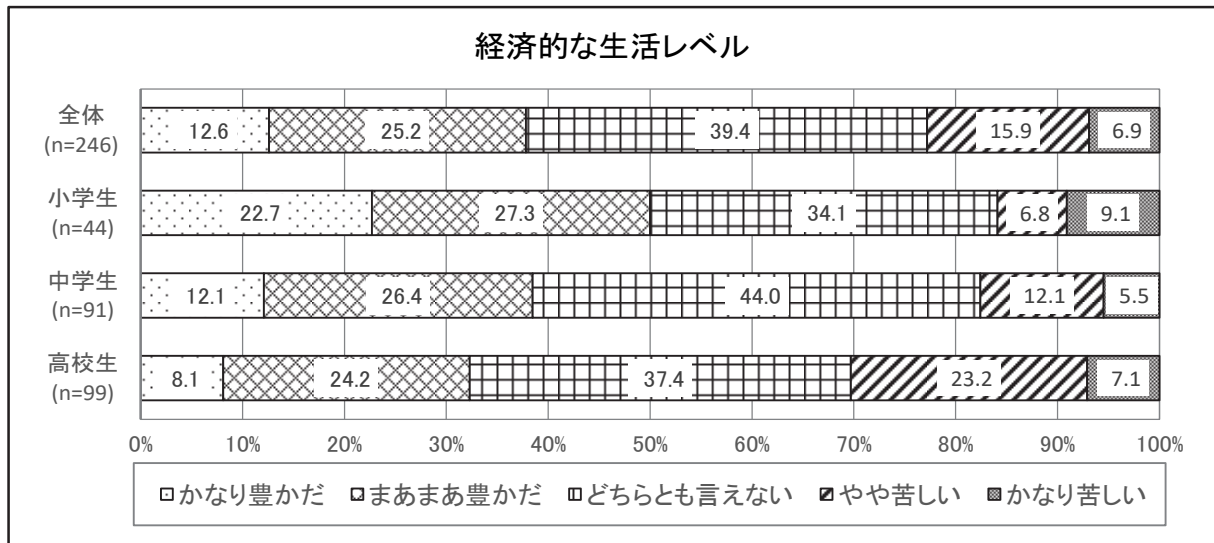


※市「令和5年度子ども・若者・子育て家庭意識・生活実態調査」の「無回答」の項目は掲載を省略

本市で行っている「令和5年度子ども・若者・子育て家庭意識・生活実態調査」と比べると、「個室（アパート・下宿を含みます）」は 6.2 ポイント、「ゲーム機」は 14.9 ポイント、「スマートフォン、携帯電話」は 17.4 ポイント高くなっている。

2 家計について

(1) 経済的な生活レベルについて

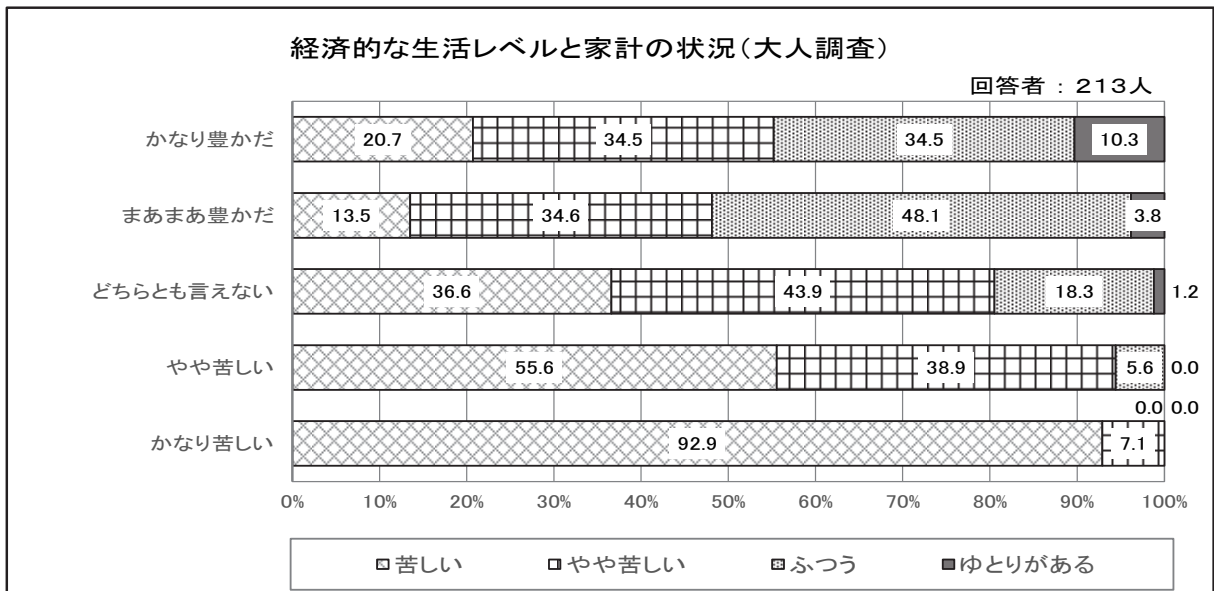


経済的な生活レベルについては、どちらともいえないが約4割

全体では「どちらとも言えない」が39.4%で最も多く、次いで「まあまあ豊かだ」(25.2%)、「やや苦しい」(15.9%)となっている。

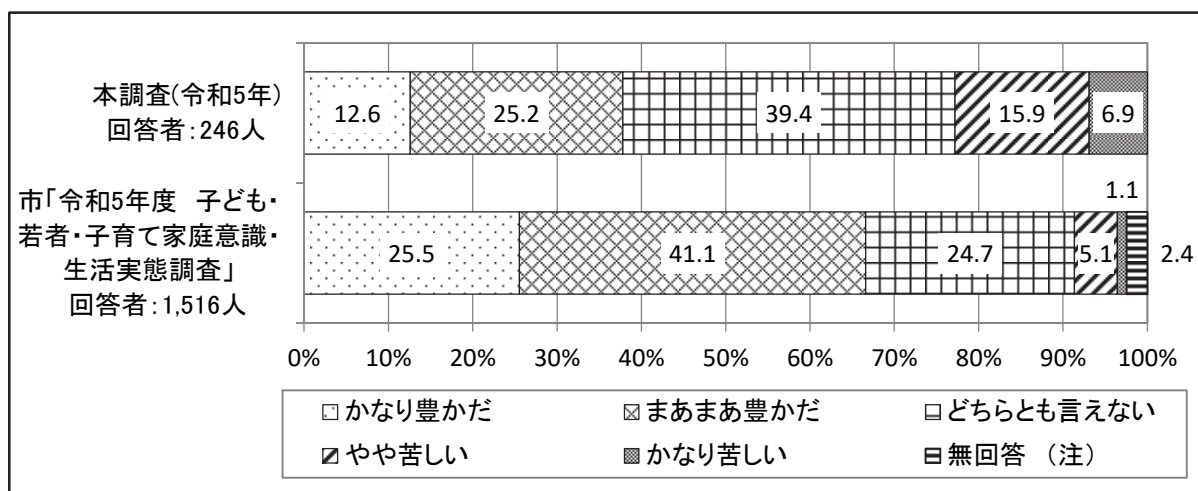
小学生、中学生、高校生を比較すると、小学生は「かなり豊かだ」と「まあまあ豊かだ」を合わせた割合は50.0%であるが、高校生になるにつれてその割合が低下し、32.3%となっている。

◆「経済的な生活レベル」と「大人調査：家計の状況」



生活レベルが「かなり豊かだ」と回答した子の親は生活レベルが「やや苦しい」、「ふつう」が34.5%、「まあまあ豊かだ」と回答した子の親は「ふつう」が48.1%、「どちらとも言えない」と回答した子の親は、「やや苦しい」が43.9%、「やや苦しい」「かなり苦しい」と回答した子の親は「苦しい」がそれぞれ55.6%、92.9%と最も多くなっている。

◆ 市「令和5年度 子ども・若者・子育て家庭意識・生活実態調査」との比較



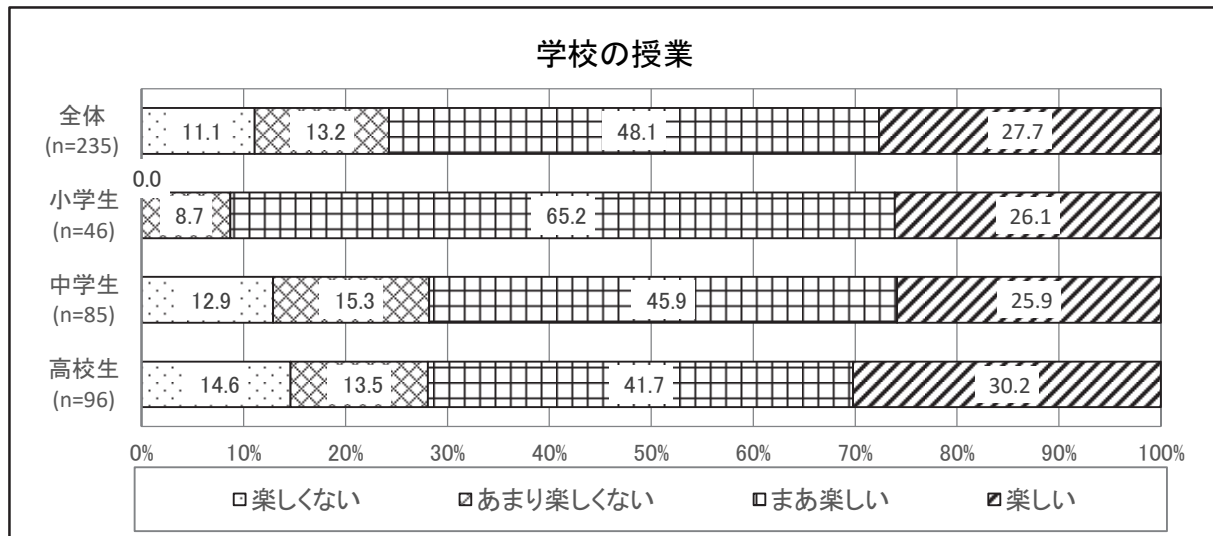
(注) 「無回答」は市「令和5年度子ども・若者・子育て家庭意識・生活実態調査」のみ

本市で行っている「令和5年度子ども・若者・子育て家庭意識・生活実態調査」と比べると、「かなり豊かだ」は12.9ポイント、「まあまあ豊かだ」は15.9ポイント低く、「どちらとも言えない」は14.7ポイント、「やや苦しい」は10.8ポイント、「かなり苦しい」は5.8ポイント高くなっている。

3 学校生活について

(1) 通っている学校について

① 学校の授業

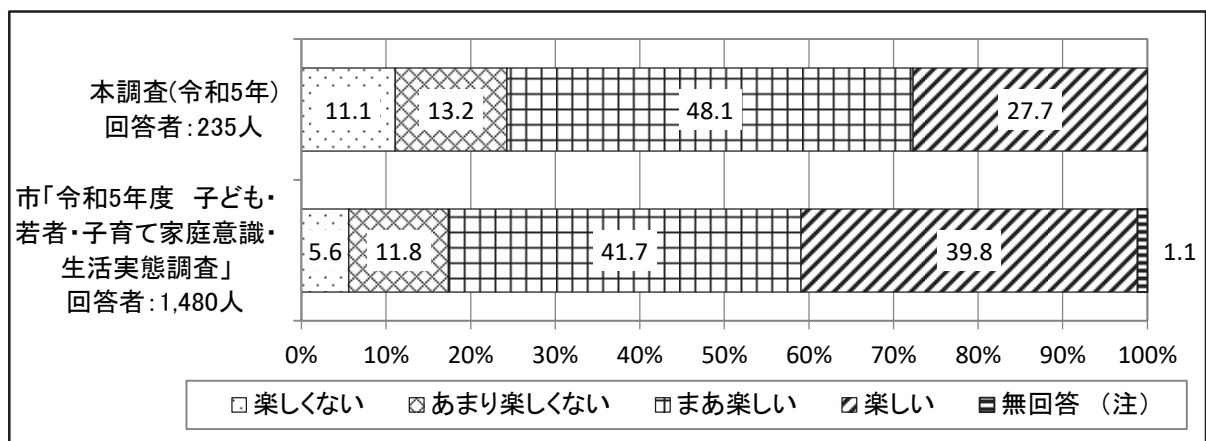


学校の授業は、まあ楽しいが約 5 割

全体では「まあ楽しい」が48.1%で最も多く、次いで「楽しい」(27.7%)、「あまり楽しくない」(13.2%)となっている。

小学生、中学生、高校生を比較すると、小学生は他に比べて「まあ楽しい」の割合が高くなっている。

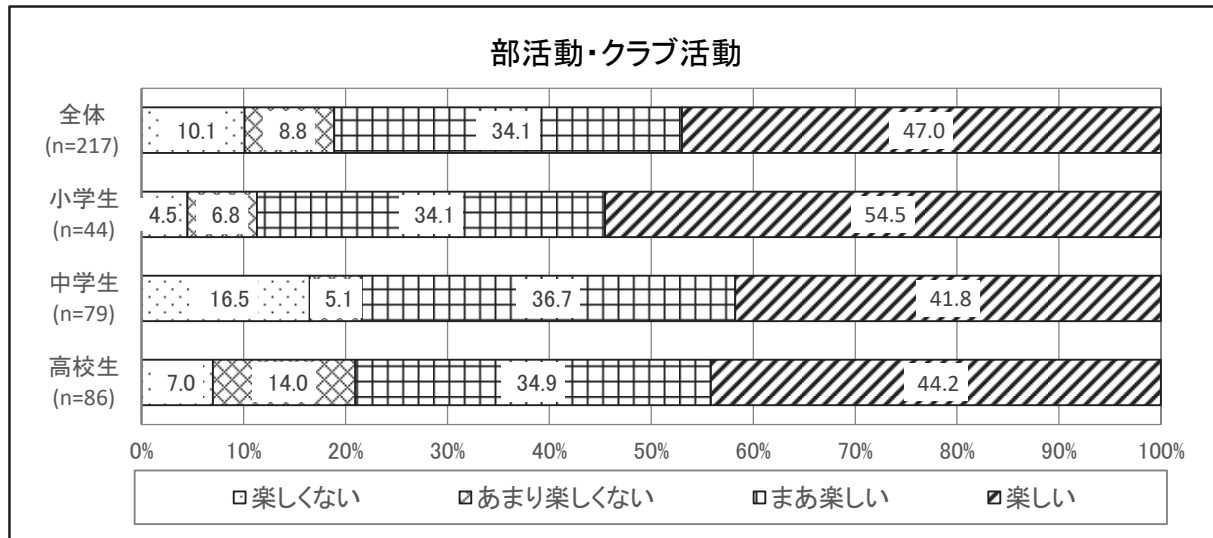
◆ 市「令和5年度 子ども・若者・子育て家庭意識・生活実態調査」との比較



(注) 「無回答」は市「令和5年度子ども・若者・子育て家庭意識・生活実態調査」のみ

本市で行っている「令和5年度子ども・若者・子育て家庭意識・生活実態調査」と比べると、「楽しくない」は5.5ポイント、「まあ楽しい」は6.4ポイント高く、「楽しい」は12.1ポイント低くなっている。

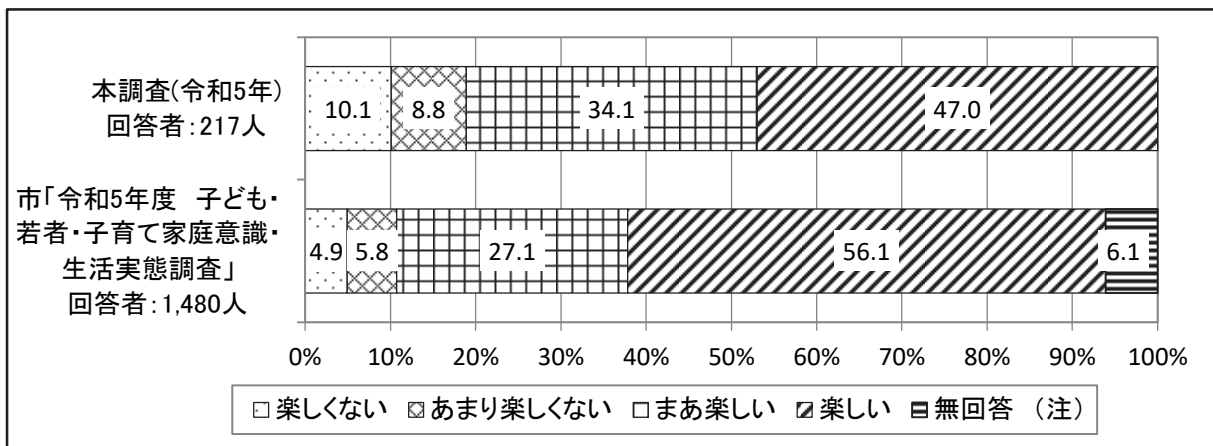
②部活動・クラブ活動

**部活動・クラブ活動は、楽しいが約5割**

全体では「楽しい」が47.0%で最も多く、次いで「まあ楽しい」(34.1%)、「楽しくない」が(10.1%)となっている。

小学生、中学生、高校生を比較すると、小学生は他に比べて「楽しい」の割合が高いが、中学生は「楽しくない」、高校生は「あまり楽しくない」が高くなっている。

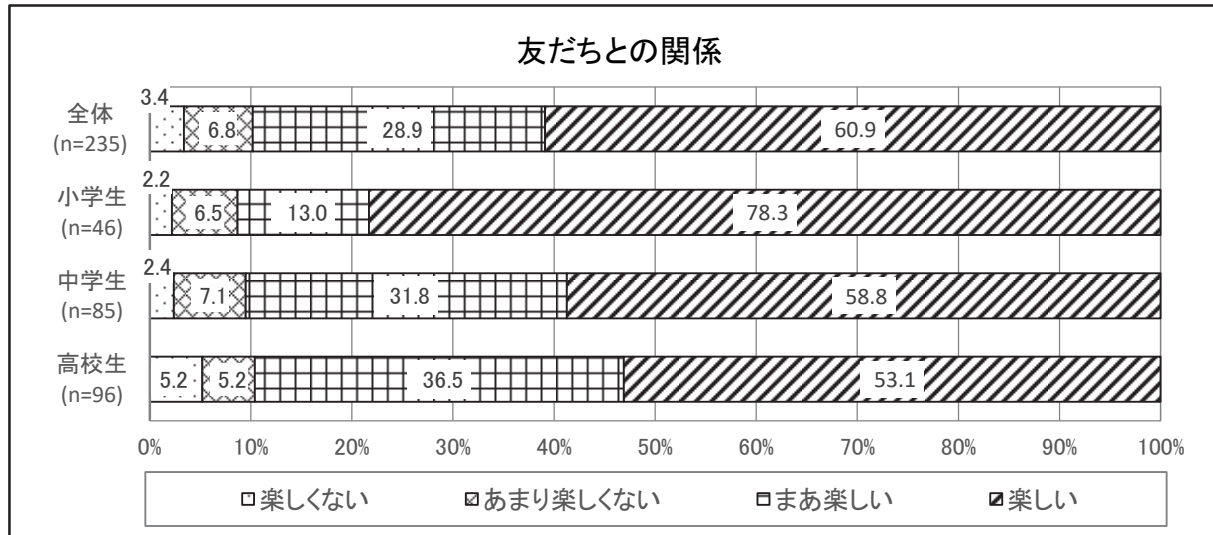
◆市「令和5年度 子ども・若者・子育て家庭意識・生活実態調査」との比較



(注) 「無回答」は市「令和5年度子ども・若者・子育て家庭意識・生活実態調査」のみ

本市で行っている「令和5年度子ども・若者・子育て家庭意識・生活実態調査」と比べると、「楽しくない」は5.2ポイント、「まあ楽しい」は7.0ポイント高く、「楽しい」は9.1ポイント低くなっている。

③ 友だちとの関係

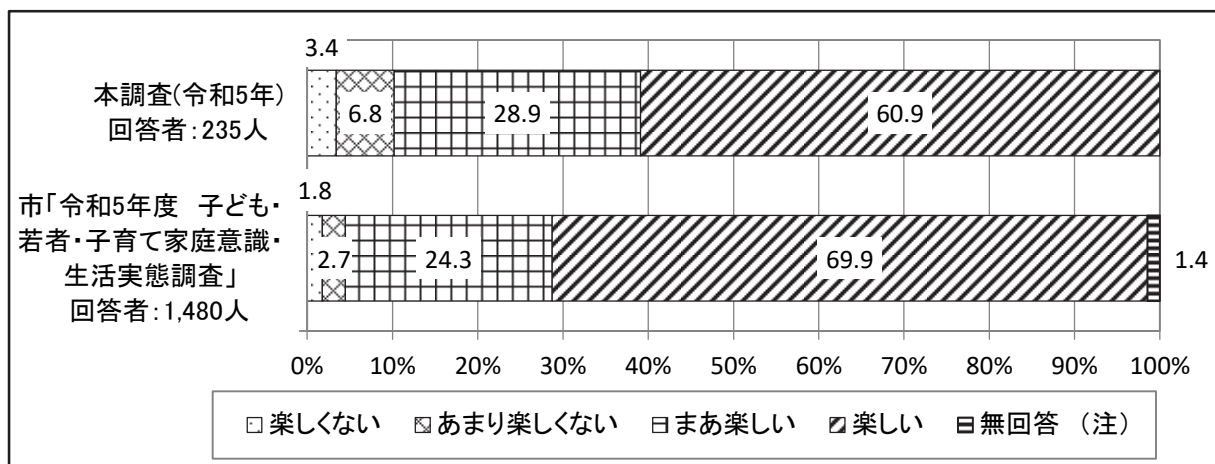
**友だちとの関係は、楽しいが約6割**

全体では「楽しい」が 60.9% で最も多く、次いで「まあ楽しい」(28.9%)、「あまり楽しくない」(6.8%) となっている。

小学生、中学生、高校生を比較すると、小学生は他に比べて「楽しい」の割合が高く、「まあ楽しい」の割合が低い。

また、高校生は「まあ楽しい」が高く、「楽しい」が低くなっている。

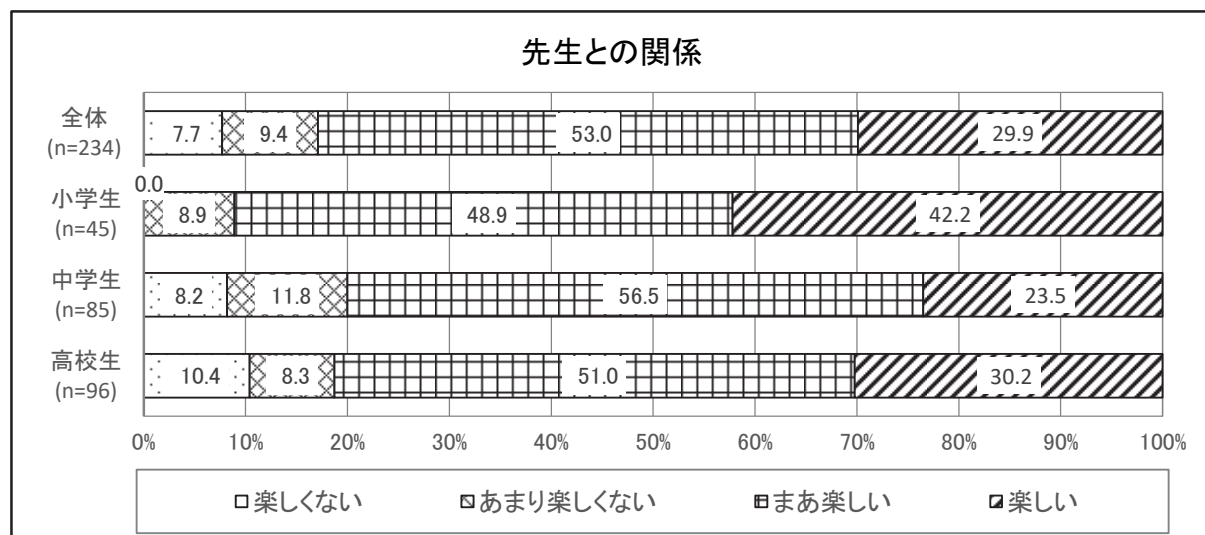
◆ 市「令和5年度 子ども・若者・子育て家庭意識・生活実態調査」との比較



(注) 「無回答」は市「令和5年度子ども・若者・子育て家庭意識・生活実態調査」のみ

本市で行っている「令和5年度子ども・若者・子育て家庭意識・生活実態調査」と比べると、「楽しい」は 9.0 ポイント低くなっている。

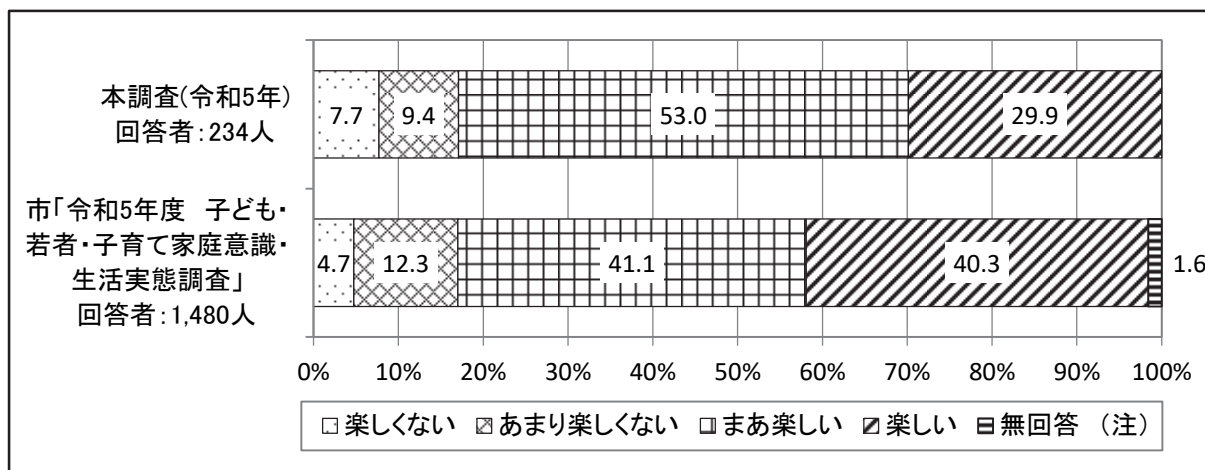
④先生との関係

**先生との関係は、まあ楽しいが約5割**

全体では「まあ楽しい」が53.0%で最も多く、次いで「楽しい」(29.9%)、「あまり楽しくない」(9.4%)となっている。

小学生、中学生、高校生を比較すると、小学生は他に比べて「楽しい」の割合が高く、中学生は「まあ楽しい」、「あまり楽しくない」、高校生は「楽しくない」が高くなっている。

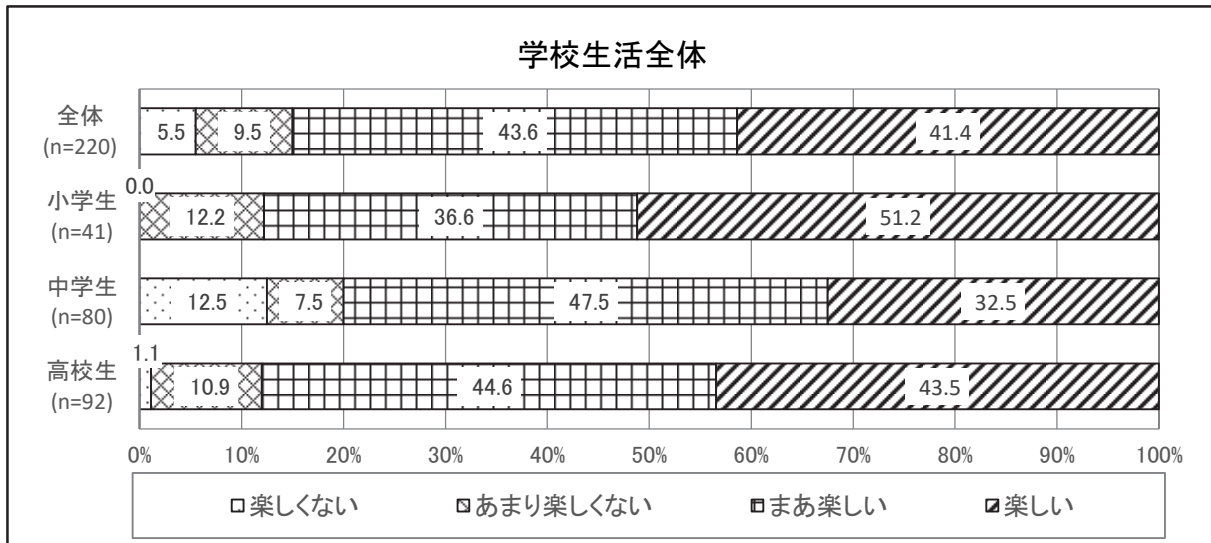
◆ 市「令和5年度 子ども・若者・子育て家庭意識・生活実態調査」との比較



(注) 「無回答」は市「令和5年度子ども・若者・子育て家庭意識・生活実態調査」のみ

本市で行っている「令和5年度子ども・若者・子育て家庭意識・生活実態調査」と比べると、「まあ楽しい」は11.9ポイント高く、「楽しい」は10.4ポイント低くなっている。

⑤ 学校生活全体

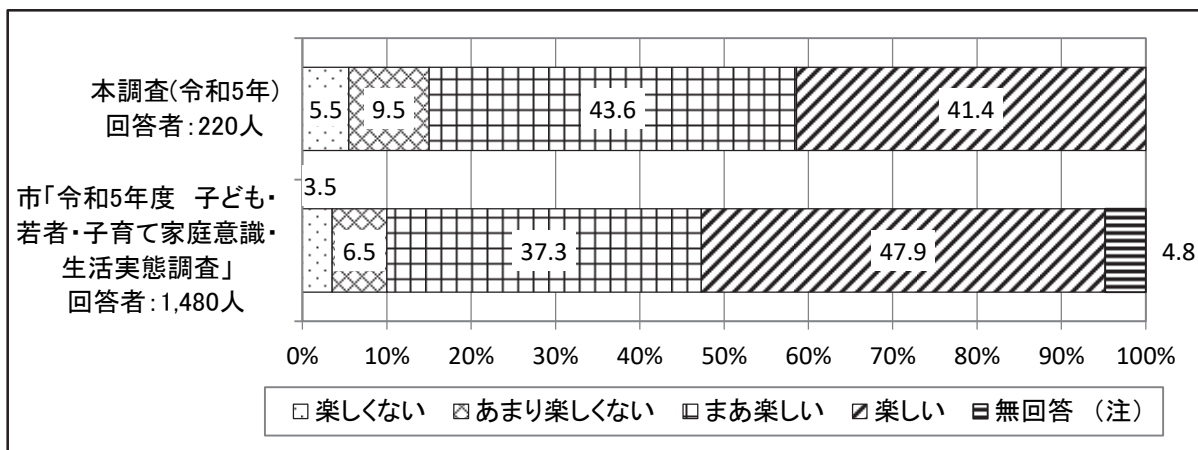
**学校生活全体は、まあ楽しいが約4割**

全体では「まあ楽しい」が43.6%で最も多く、次いで「楽しい」(41.4%)、「あまり楽しくない」(9.5%)となっている。

小学生、中学生、高校生を比較すると、小学生は他に比べて「楽しい」の割合が高い。

また、中学生は「まあ楽しい」、「楽しくない」が高くなっている。

◆ 市「令和5年度 子ども・若者・子育て家庭意識・生活実態調査」との比較

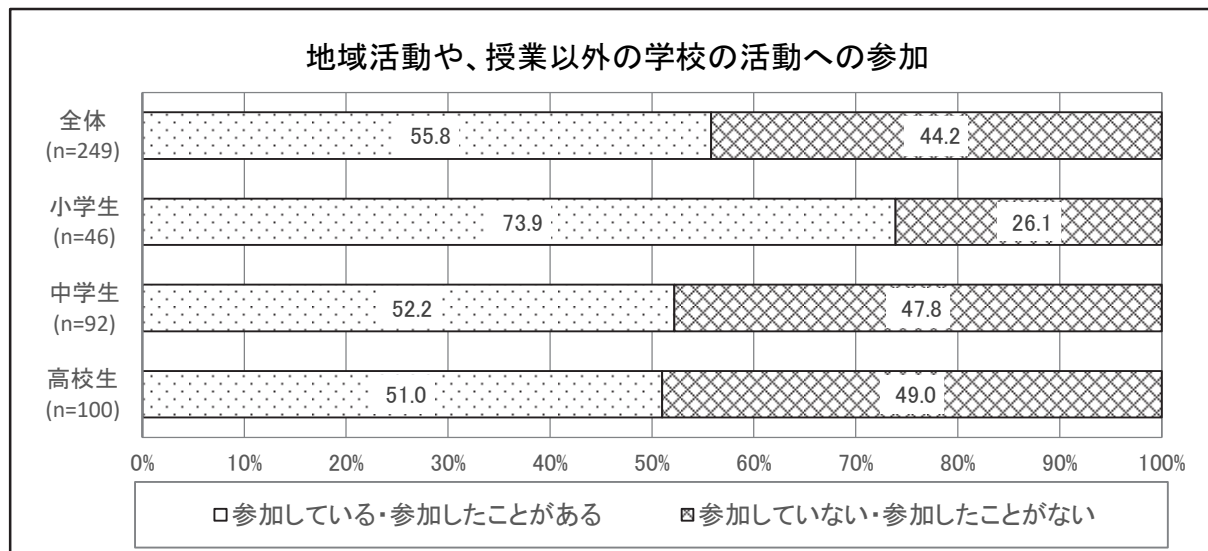


(注) 「無回答」は市「令和5年度子ども・若者・子育て家庭意識・生活実態調査」のみ

本市で行っている「令和5年度子ども・若者・子育て家庭意識・生活実態調査」と比べると、「まあ楽しい」は6.3ポイント高く、「楽しい」は6.5ポイント低くなっている。

4 地域や学校における活動について

(1) 地域活動や、授業以外の学校の活動について

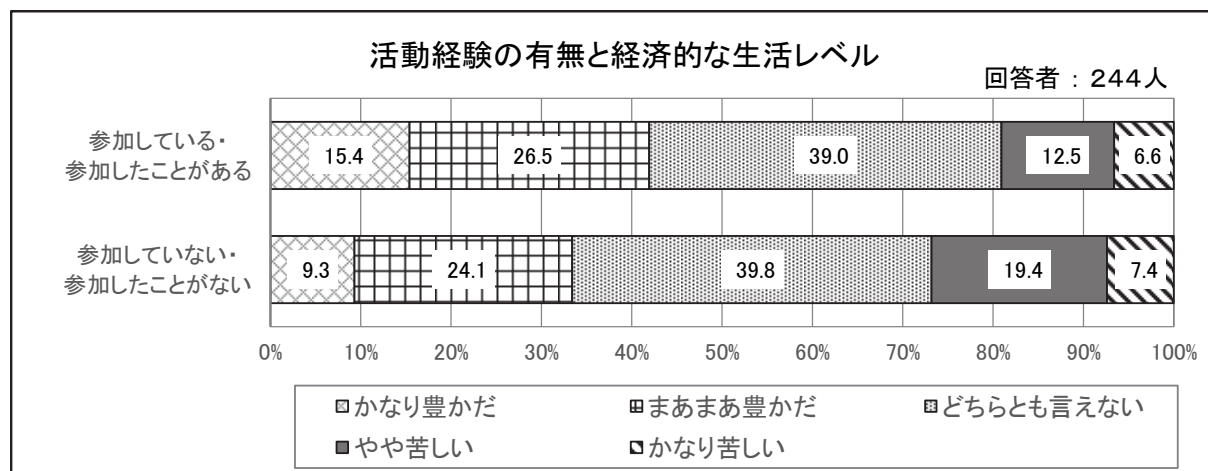


地域活動や授業以外の学校の活動は、参加している・参加したことがあるが約6割

全体では「参加している・参加したことがある」が 55.8%で、「参加していない・参加したことがない」が 44.2%となっている。

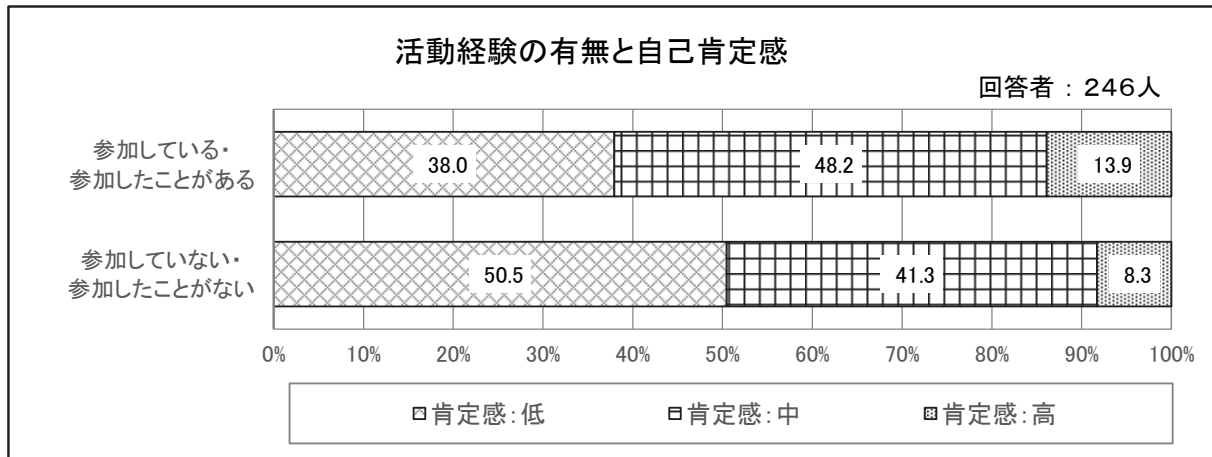
小学生、中学生、高校生を別に見ると、小学生は「参加している・参加したことがある」の割合が高いが、中学生、高校生はいずれも約5割となっている。

◆「地域活動や、授業以外の学校の活動へ参加」と「経済的な生活レベル」



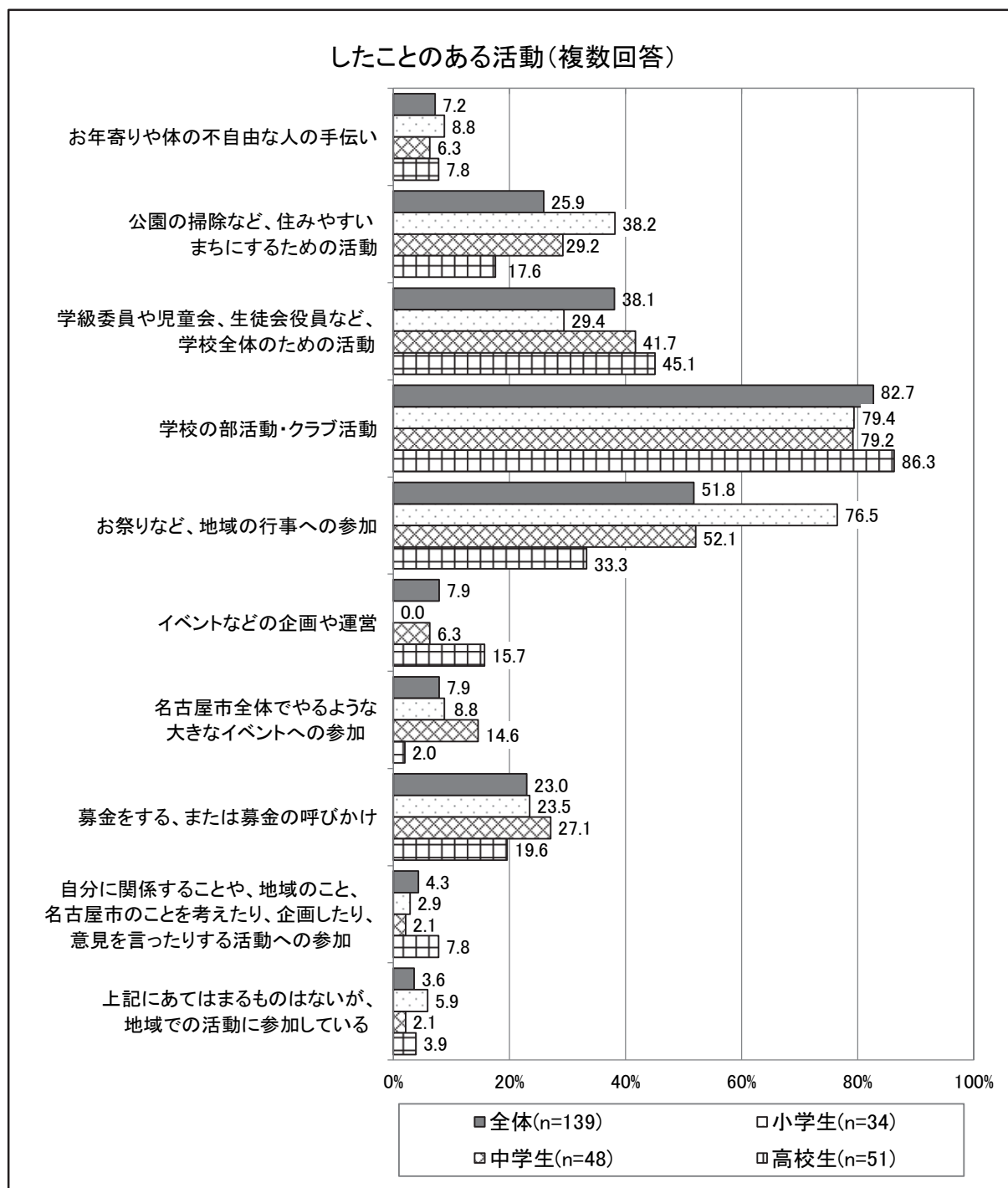
地域活動や、授業以外の学校の活動へ「参加している・参加したことがある」子は、生活レベルが「かなり豊かだ」「まあまあ豊かだ」を合わせて約4割（41.9%）となっている。また、地域活動や、授業以外の学校の活動へ「参加していない・参加したことがない」子は、「かなり豊かだ」「まあまあ豊かだ」を合わせて約3割（33.4%）になっており、地域活動や、授業以外の学校の活動へ「参加している・参加したことがある」子は、地域活動や、授業以外の学校の活動へ「参加していない・参加したことがない」子に比べて生活レベルが豊かな子が多くなっている。

◆「地域活動や、授業以外の学校の活動へ参加」と「自己肯定感」



地域活動や、授業以外の学校の活動へ「参加している・参加したことがある」子は、「肯定感：高」が13.9%となっている。また、地域活動や、授業以外の学校の活動へ「参加していない・参加したことがない」子は、「肯定感：高」が8.3%となっており、地域活動や、授業以外の学校の活動へ「参加している・参加したことがある」子は、地域活動や、授業以外の学校の活動へ「参加していない・参加したことがない」子に比べて自己肯定感が高い子が多くなっている。

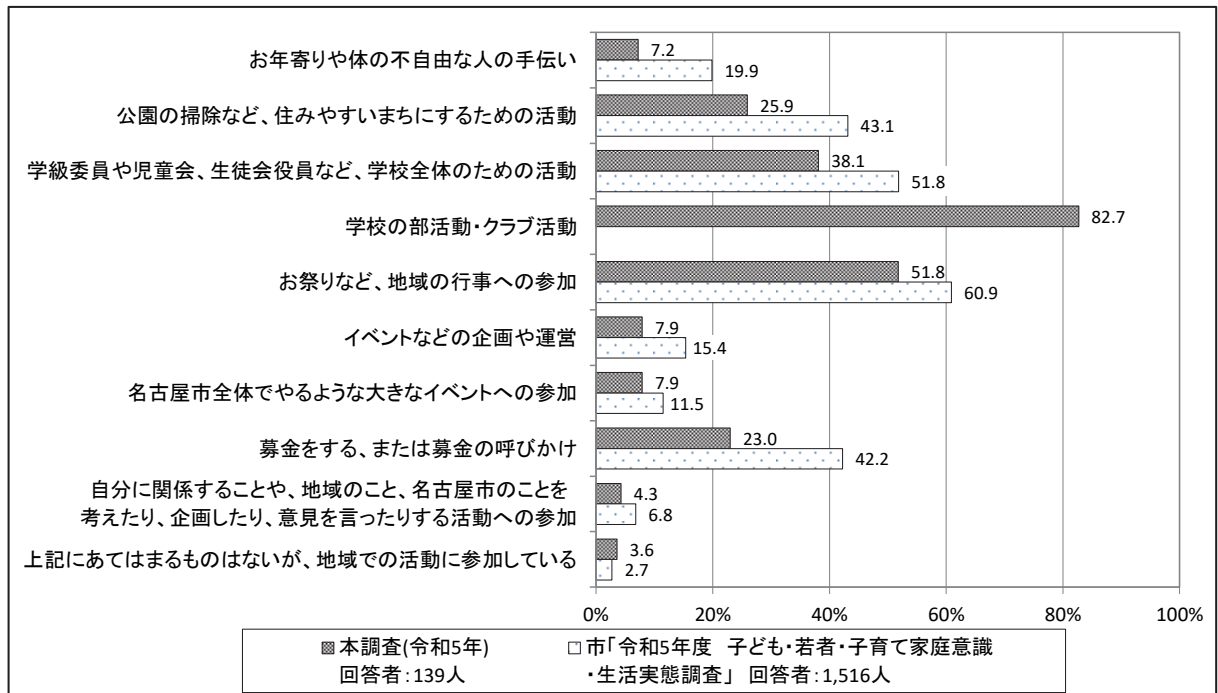
(2) したことのある活動について

**したことのある活動は、学校の部活動・クラブ活動が約8割**

全体では「学校の部活動・クラブ活動」が82.7%で最も多く、次いで「お祭りなど、地域の行事への参加」(51.8%)、「学級委員や児童会、生徒会役員など、学校全体のための活動」(38.1%)、「公園の掃除など、住みやすいまちにするための活動」(25.9%)の順となっている。

小学生、中学生、高校生を比較すると、小学生は他に比べて「お祭りなど、地域の行事への参加」、「公園の掃除など、住みやすいまちにするための活動」の割合が高く、中学生は「名古屋市全体でやるような大きなイベントへの参加」、高校生は「イベントなどの企画や運営」が高くなっている。

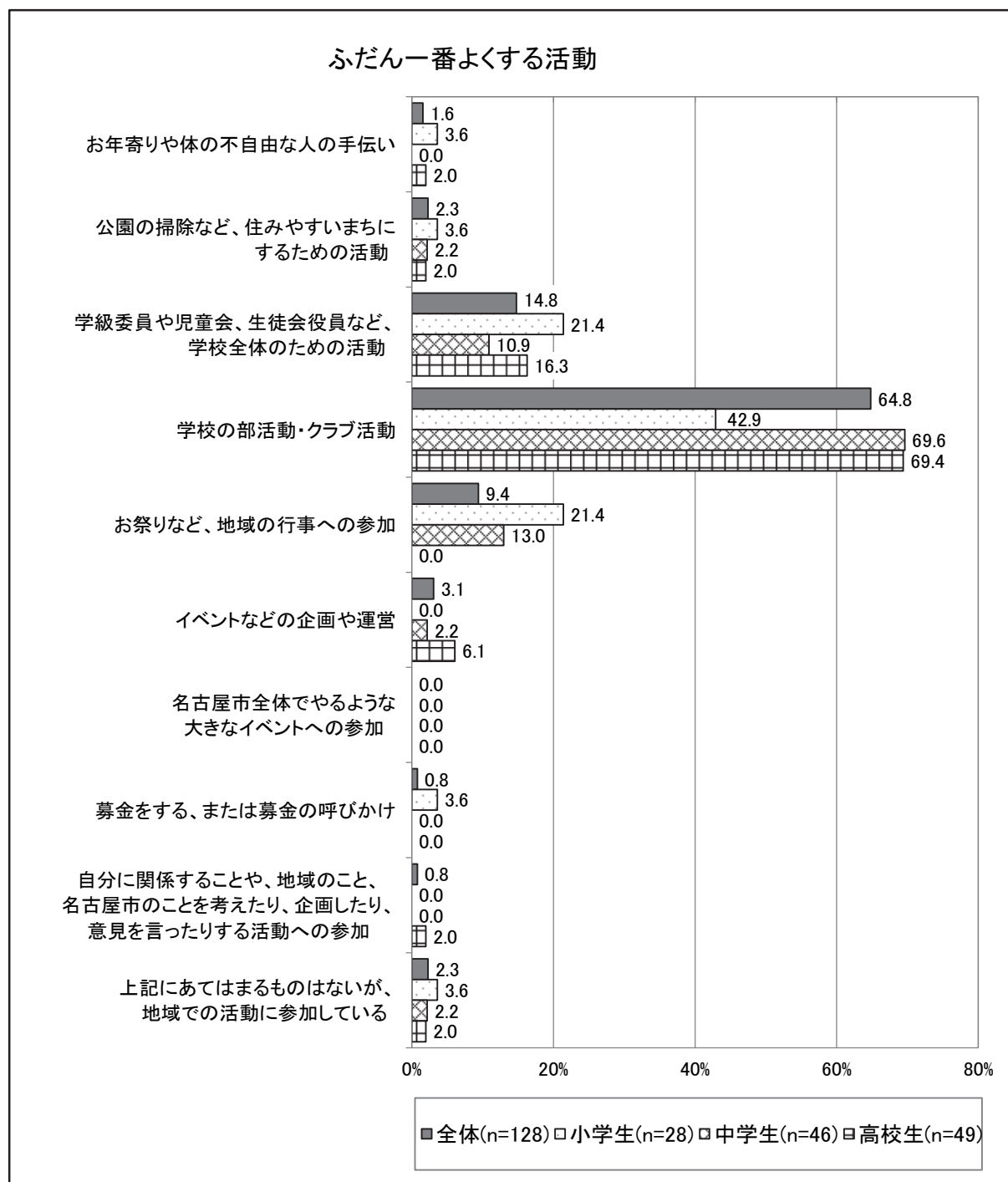
◆ 市「令和5年度 子ども・若者・子育て家庭意識・生活実態調査」との比較



※「学校の部活動・クラブ活動」は市「令和5年度子ども・若者・子育て家庭意識・生活実態調査」にはない選択項目
 ※市「令和5年度子ども・若者・子育て家庭意識・生活実態調査」の「無回答」の項目は掲載を省略

本市で行っている「令和5年度子ども・若者・子育て家庭意識・生活実態調査」と比べると、「お年寄りや体の不自由な人の手伝い」は 12.7 ポイント、「公園の掃除など、住みやすいまちにするための活動」は 17.2 ポイント、「学級委員や児童会、生徒会役員など、学校全体のための活動」は 13.7 ポイント、「お祭りなど、地域の行事への参加」は 9.1 ポイント、「イベントなどの企画や運営」は 7.5 ポイント、「募金をする、または募金の呼びかけ」は 19.2 ポイント低くなっている。

(3) ふだん一番よくする活動について



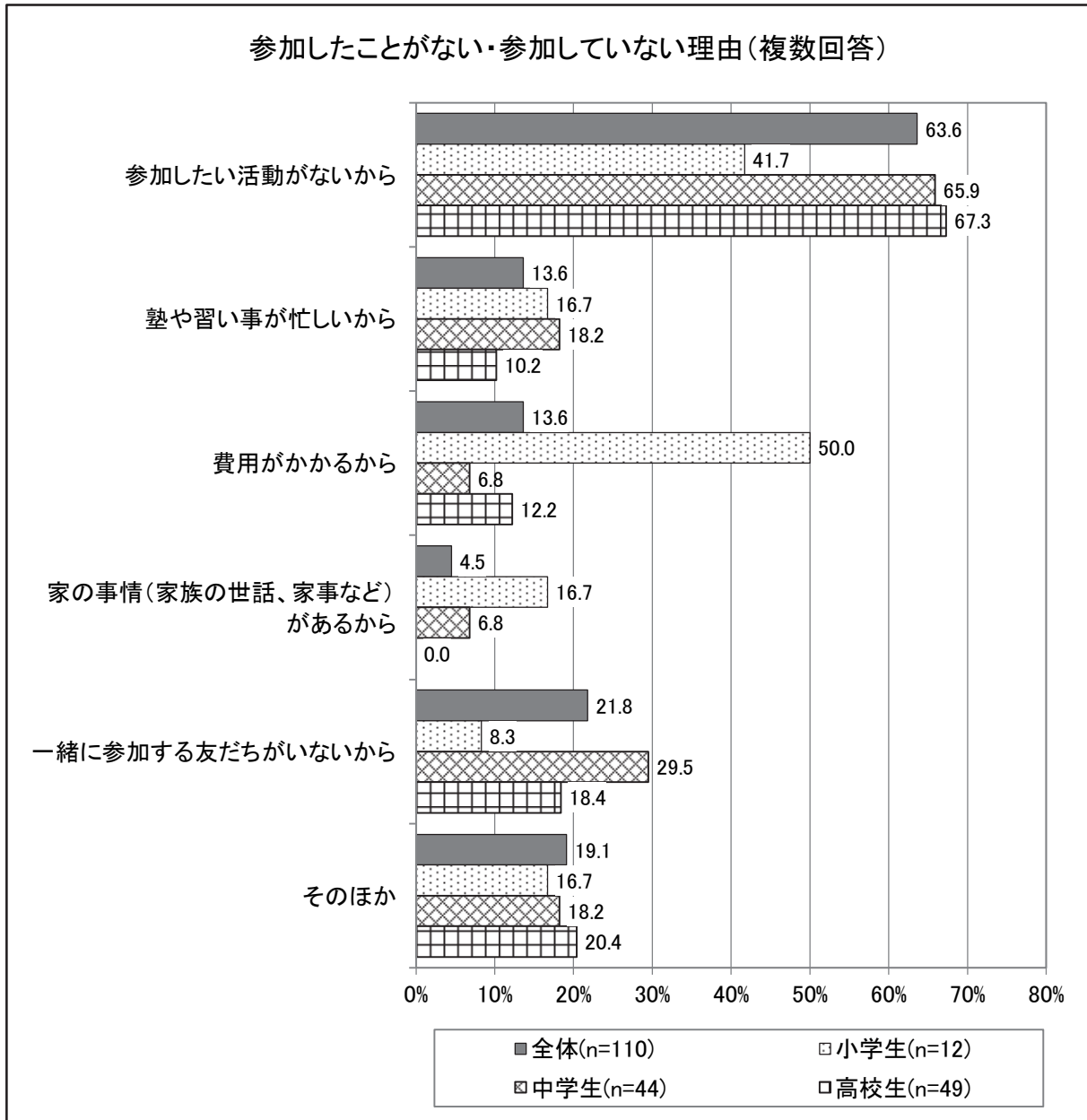
一番よくする活動は、学校の部活動・クラブ活動が約6割

全体では「学校の部活動・クラブ活動」が 64.8%で最も多く、次いで「学級委員や児童会、生徒会役員など、学校全体のための活動」(14.8%)、「お祭りなど、地域の行事への参加」(9.4%)となっている。

小学生、中学生、高校生を比較すると、小学生は他に比べて「学級委員や児童会、生徒会役員など、学校全体のための活動」、「お祭りなど、地域の行事への参加」の割合が高い。

また、高校生は「イベントなどの企画や運営」が高くなっている。

(4) 参加したことがない・参加していない理由について

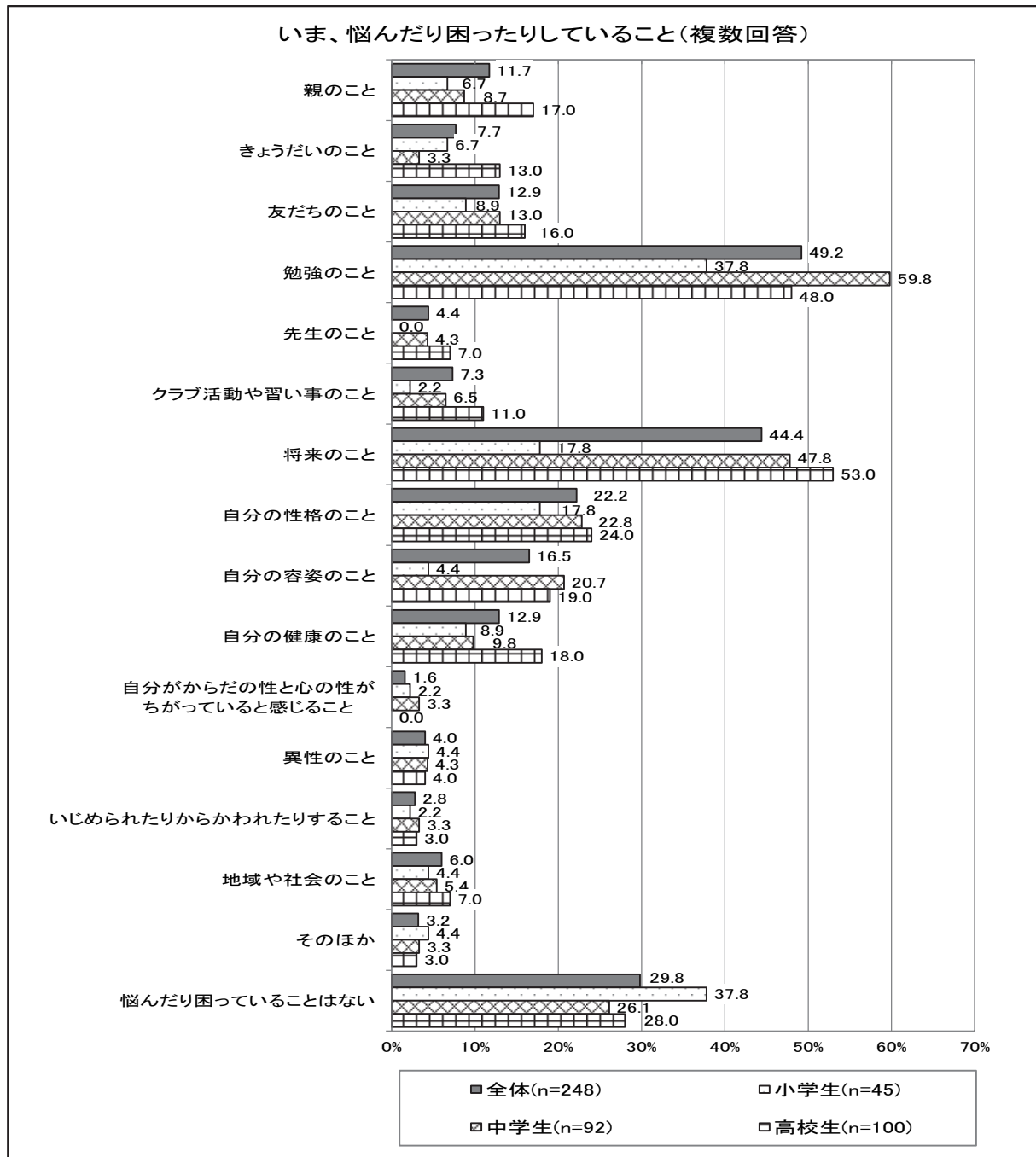
**参加したことがない・参加していない理由は、参加したい活動がないからが約6割**

全体では「参加したい活動がないから」が63.6%、次いで「一緒に参加する友だちがいないから」が21.8%となっている。

小学生、中学生、高校生を別に見ると、小学生は「費用がかかるから」が最も多く、中学生、高校生は「参加したい活動がないから」が最も多くなっている。

5 悩みごと、困りごとについて

(1) いま、悩んだり困ったりしていることについて

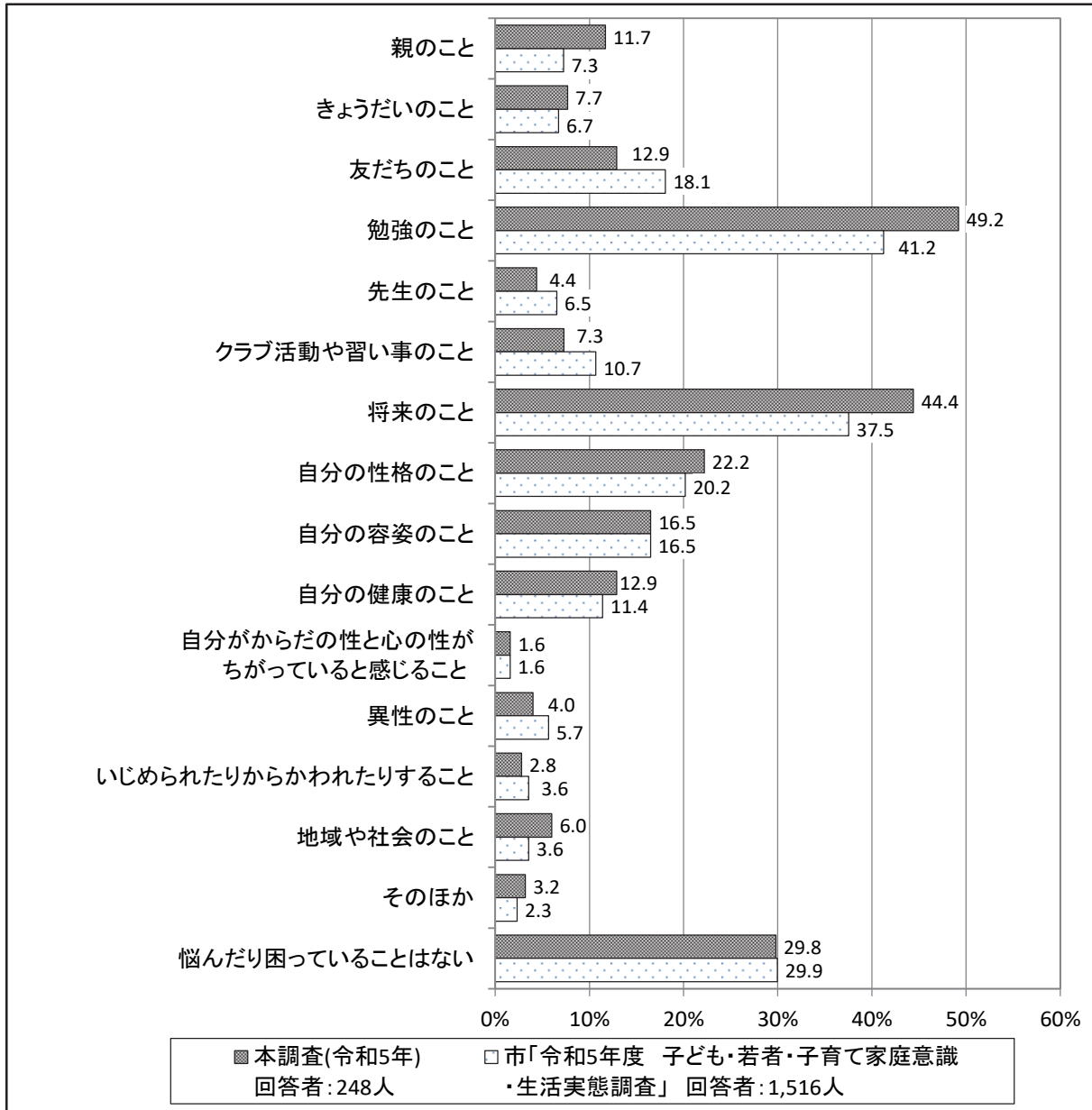


いま、悩んだり困ったりしていることは、勉強のことが約 5 割

全体では「勉強のこと」が 49.2%と最も多く、次いで「将来のこと」(44.4%)、「自分の性格のこと」(22.2%)、「自分の容姿のこと」(16.5%)、「自分の健康のこと」(12.9%)、「友だちのこと」(12.9%)の順となっている。

小学生、中学生、高校生を比較すると、小学生は他に比べて「悩んだり困っていることはない」の割合が高く、中学生は「勉強のこと」、「自分の容姿のこと」、高校生では「親のこと」、「きょうだいのこと」、「将来のこと」、「自分の健康のこと」が高くなっている。

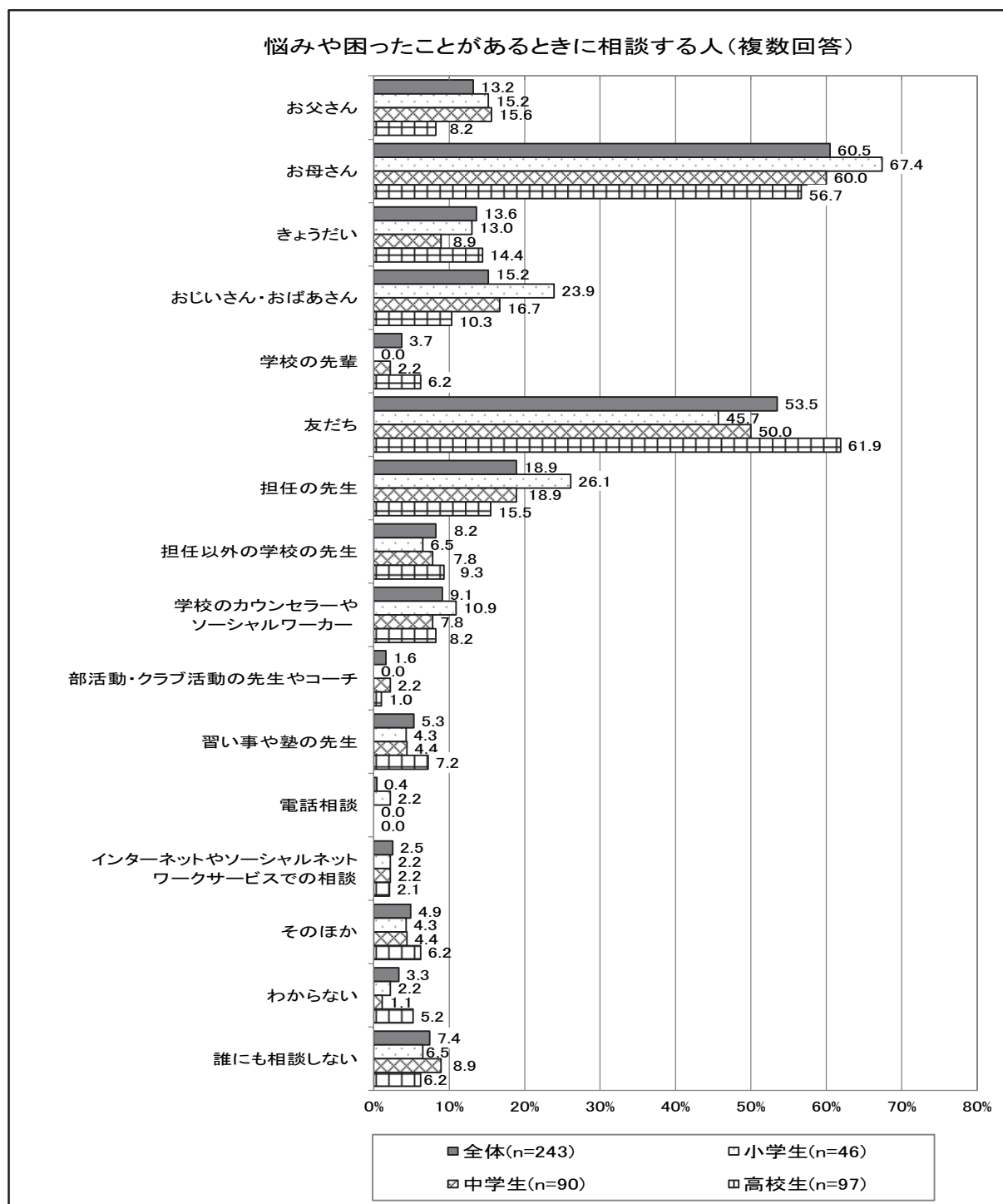
◆ 市「令和5年度 子ども・若者・子育て家庭意識・生活実態調査」との比較



※市「令和5年度子ども・若者・子育て家庭意識・生活実態調査」の「無回答」の項目は掲載を省略

本市で行っている「令和5年度子ども・若者・子育て家庭意識・生活実態調査」と比べると、「友だちこと」は5.2ポイント低く、「勉強のこと」は8.0ポイント、「将来のこと」は6.9ポイント高くなっている。

(2) 悩みや困ったことがあるときの相談相手について



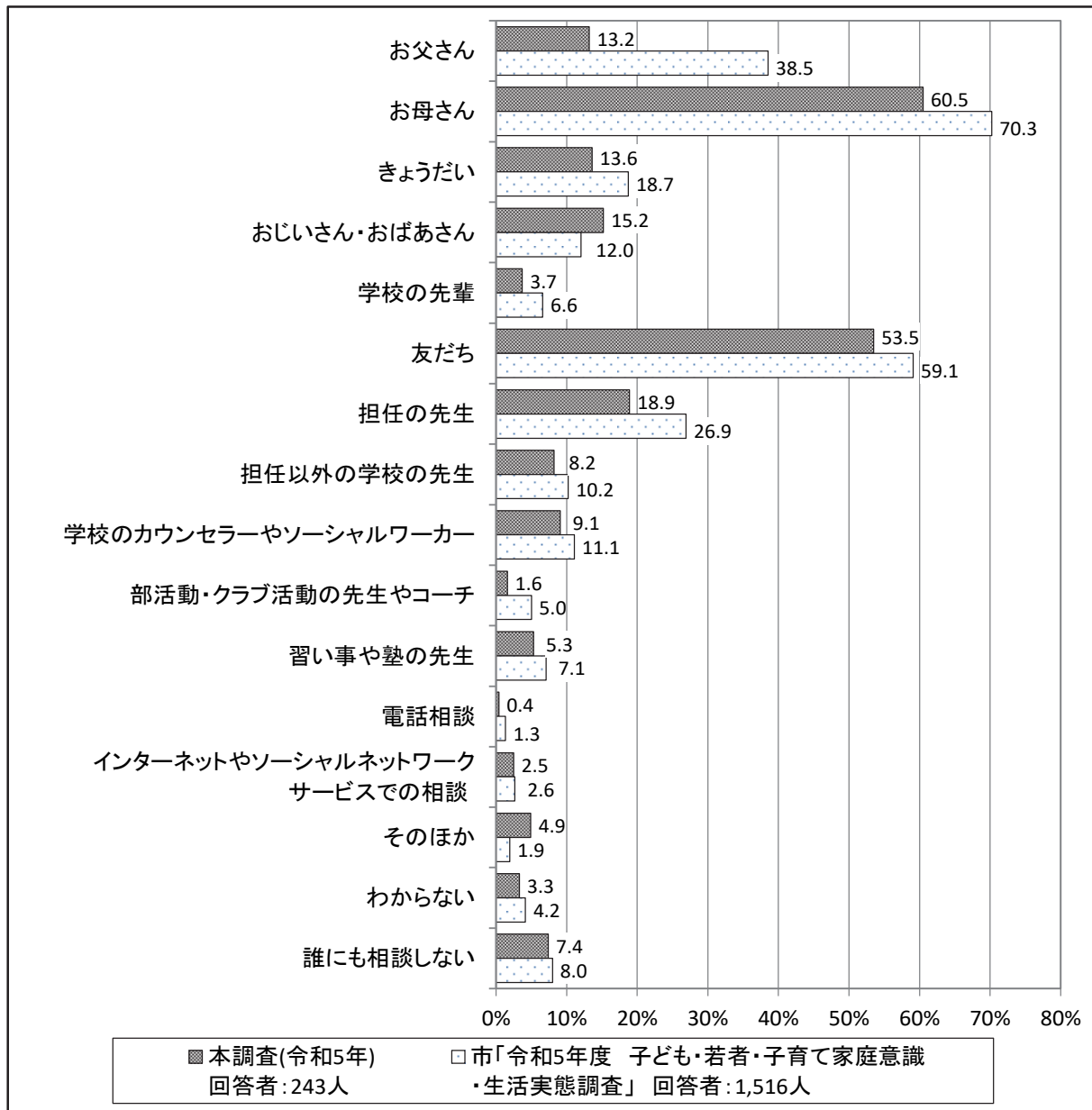
困っていたことの相談先は、お母さんが約 6 割

全体では「お母さん」が 60.5%と最も多く、次いで「友だち」(53.5%)、「担任の先生」(18.9%)、「おじいさん・おばあさん」(15.2%)の順となっている。

また、「誰にも相談しない」が 7.4%となっている。

小学生、中学生、高校生を比較すると、小学生は他に比べて「お母さん」、「おじいさん・おばあさん」、「担任の先生」の割合が高く、中学生は「部活動・クラブ活動の先生やコーチ」、「誰にも相談しない」、高校生は「友だち」、「学校の先輩」が高くなっている。

◆ 市「令和5年度 子ども・若者・子育て家庭意識・生活実態調査」との比較

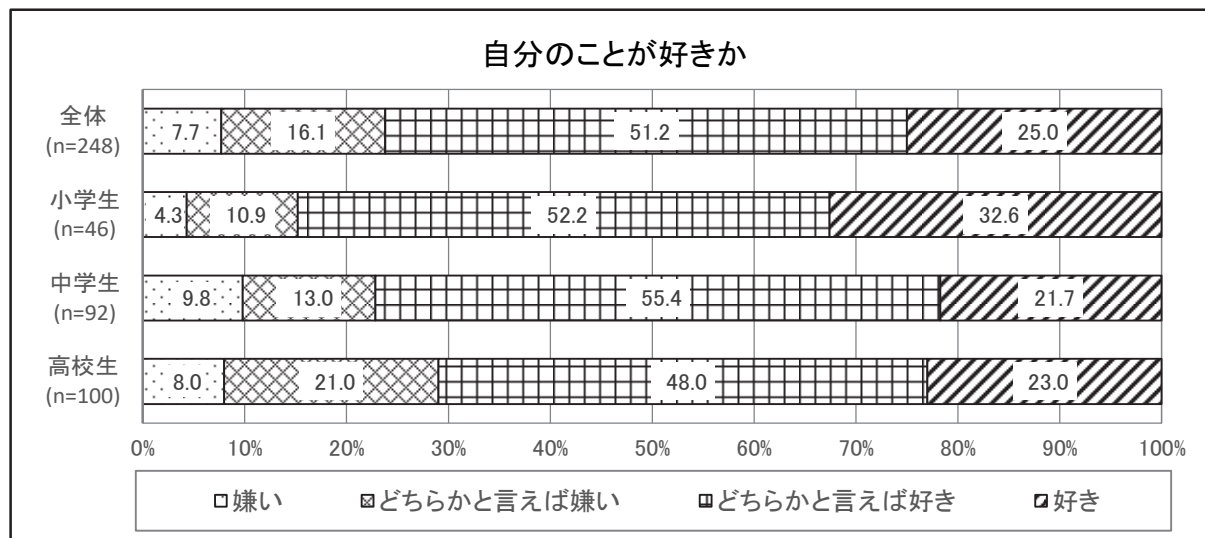


※市「令和5年度子ども・若者・子育て家庭意識・生活実態調査」の「無回答」の項目は掲載を省略

本市で行っている「令和5年度子ども・若者・子育て家庭意識・生活実態調査」と比べると、「お父さん」は 25.3 ポイント、「お母さん」は 9.8 ポイント、「きょうだい」は 5.1 ポイント、「友だち」は 5.6 ポイント、「担任の先生」は 8.0 ポイント低くなっている。

6 あなた自身のことをどのように思っているかについて

(1) 自分のことが好きか

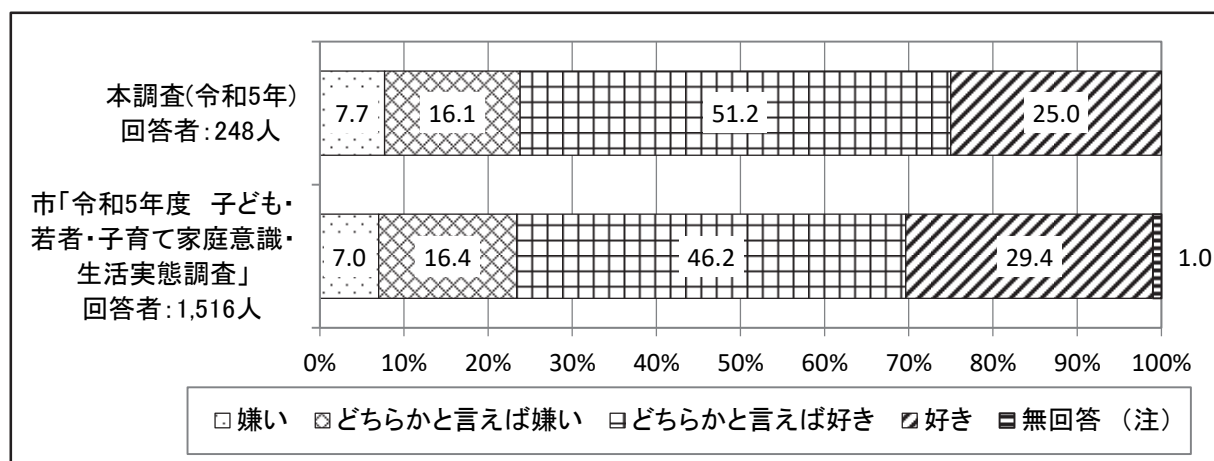


自分のことが好きかは、どちらかと言えば好きが約5割

全体では「どちらかと言えば好き」が51.2%と最も多く、次いで「好き」(25.0%)、「どちらかと言えば嫌い」(16.1%)の順となっている。

小学生、中学生、高校生を比較すると、小学生は他に比べて「好き」の割合が高く、高校生になるにつれ、「嫌い」と「どちらかと言えば嫌い」を合わせた割合が高くなる。

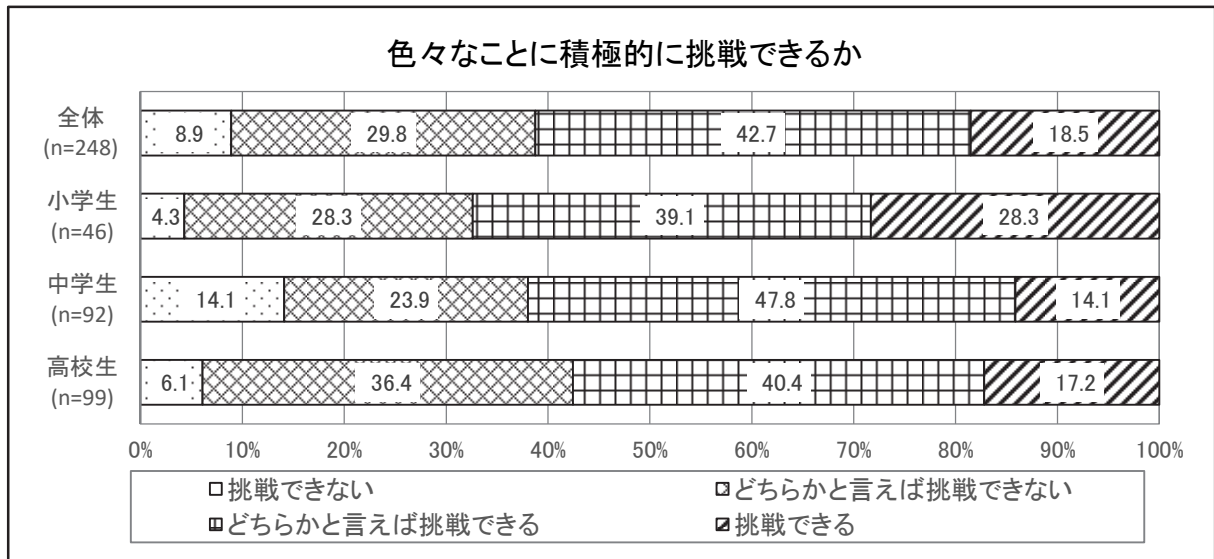
◆ 市「令和5年度 子ども・若者・子育て家庭意識・生活実態調査」との比較



(注) 「無回答」は市「令和5年度子ども・若者・子育て家庭意識・生活実態調査」のみ

本市で行っている「令和5年度子ども・若者・子育て家庭意識・生活実態調査」と比べると、「どちらかと言えば好き」は5.0ポイント高くなっている。

(2) 色々なことに積極的に挑戦できるかについて

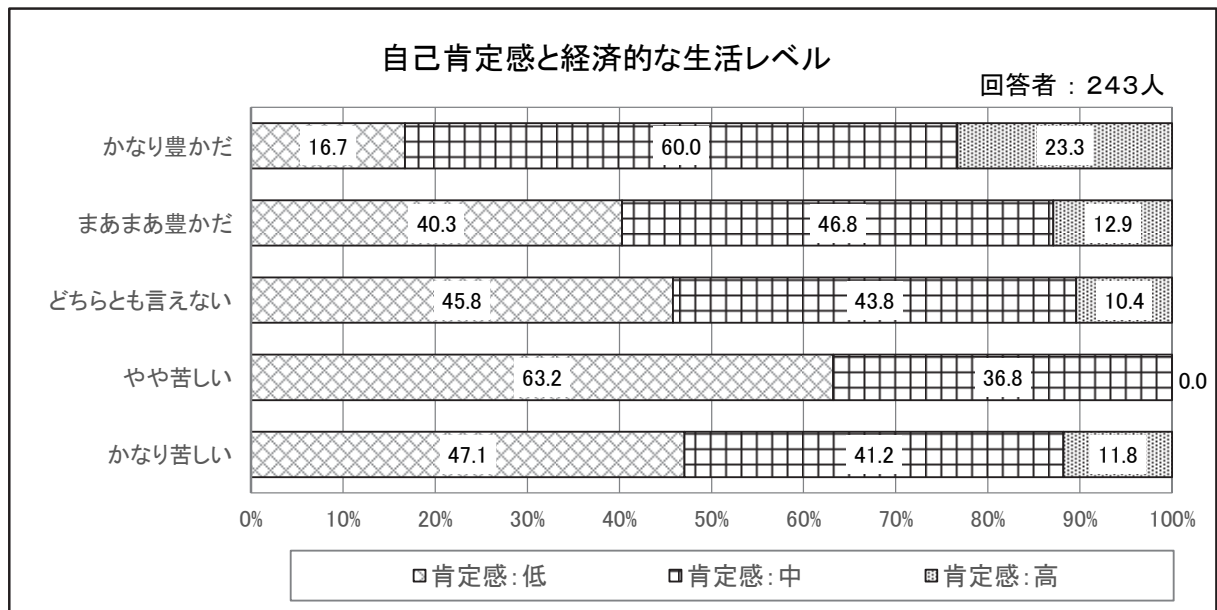


色々なことに積極的に挑戦できるかは、
どちらかと言えば挑戦できるが約4割

全体では「どちらかと言えばできる」が42.7%と最も多く、次いで「どちらかと言えば挑戦できない」(29.8%)、「挑戦できる」(18.5%)の順となっている。

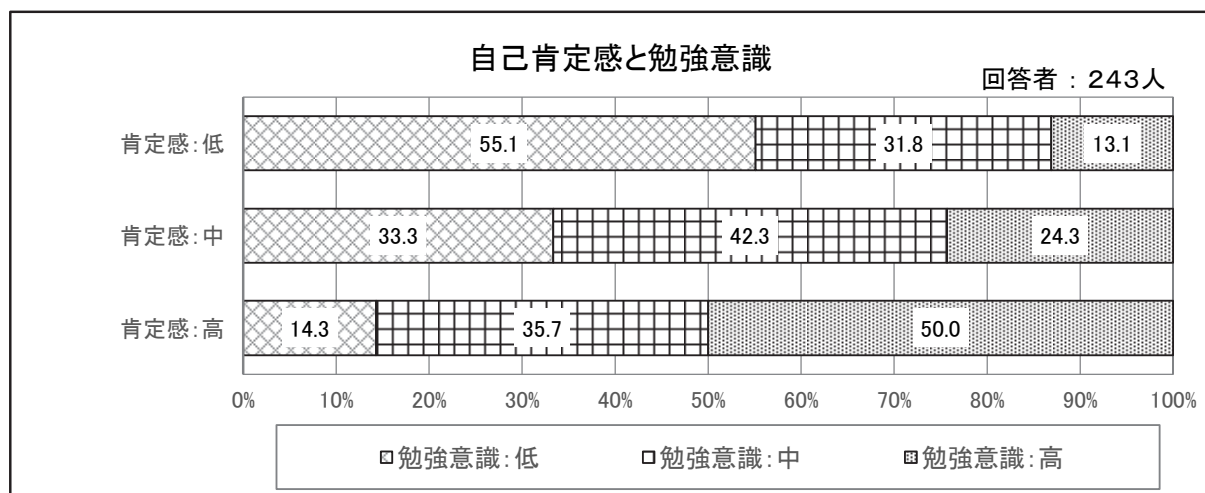
小学生、中学生、高校生を比較すると、小学生は「挑戦できる」の割合が高く、高校生になるにつれ、「挑戦できない」と「どちらかと言えば挑戦できない」を合わせた割合が高くなる。

◆「自己肯定感」と「経済的な生活レベル」



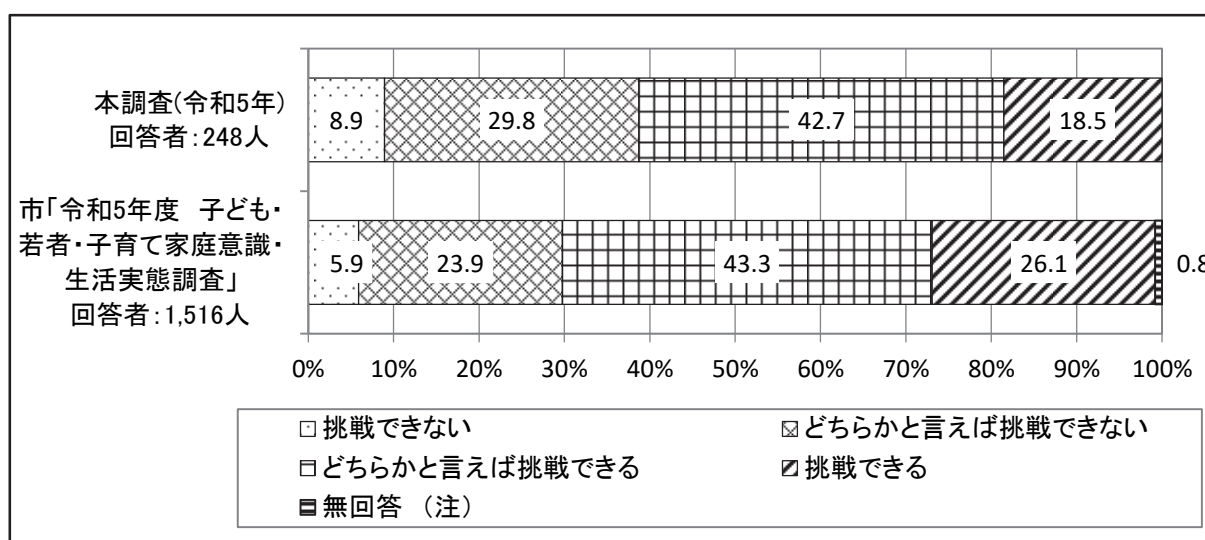
生活レベルが「かなり豊か」な子は他に比べて「肯定感：高」が23.3%と最も高くなっている。

◆「自己肯定感」と「勉強意識」



自己肯定感が高くなるにつれ、「勉強意識：高」が多くなっている。

◆ 市「令和5年度 子ども・若者・子育て家庭意識・生活実態調査」との比較

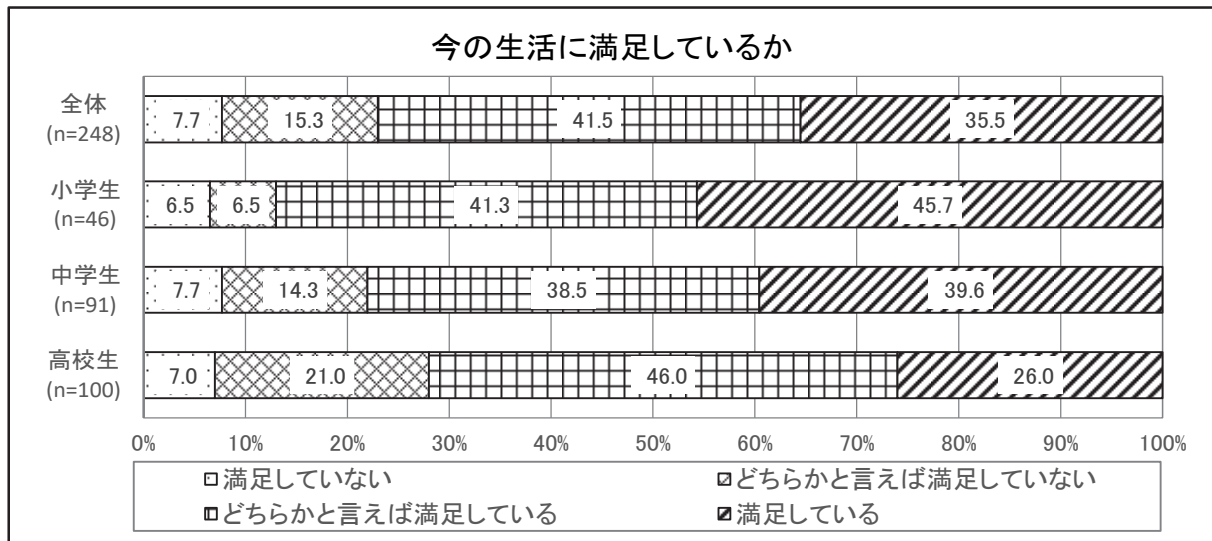


（注）「無回答」は市「令和5年度子ども・若者・子育て家庭意識・生活実態調査」のみ

本市で行っている「令和5年度子ども・若者・子育て家庭意識・生活実態調査」と比べると、「どちらかと言えば挑戦できない」は5.9ポイント高く、「挑戦できる」は7.6ポイント低くなっている。

7 今の生活をどのように感じているかについて

(1) 今の生活の満足感について

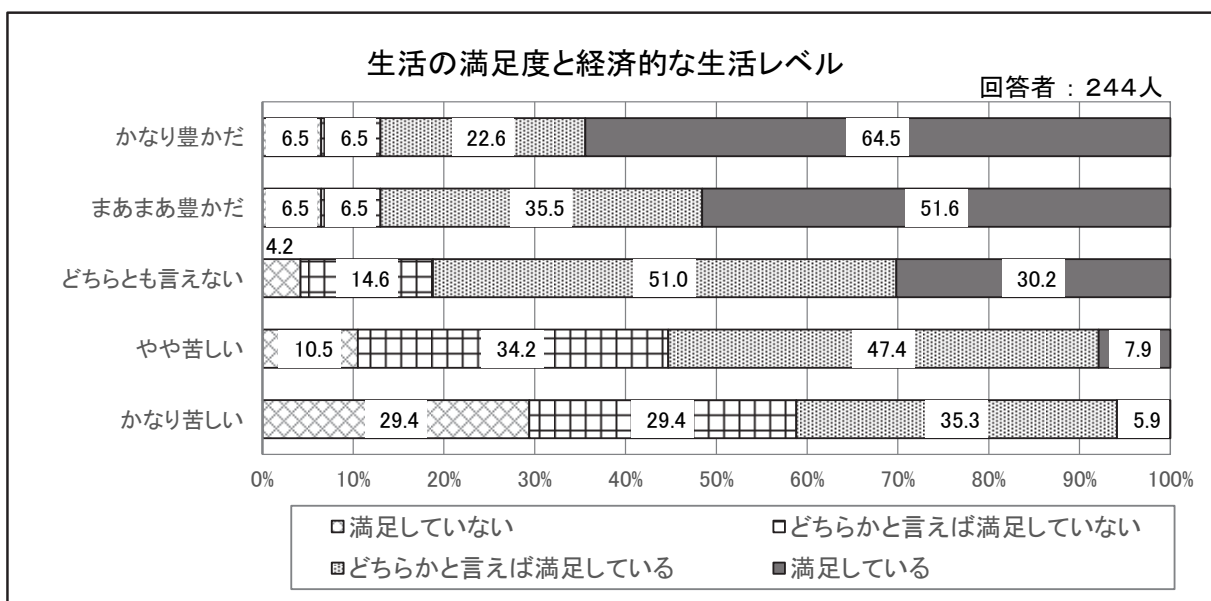


今の生活に満足しているかは、どちらかと言えば満足しているが約4割

全体では「どちらかと言えば満足している」が 41.5%と最も多く、次いで「満足している」が 35.5%と合わせて全体の約8割となっている。

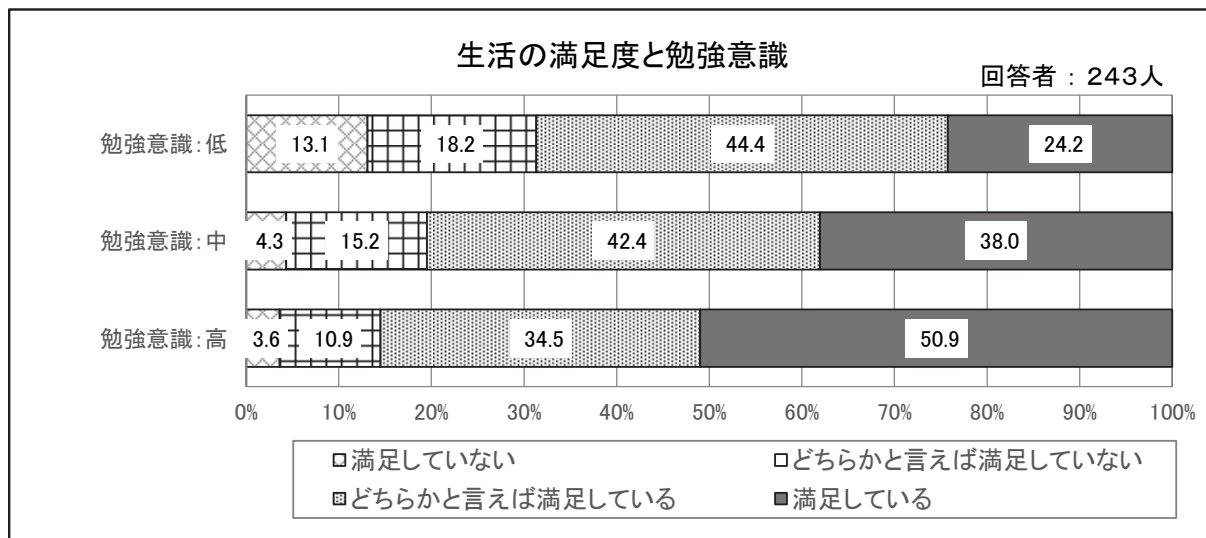
小学生、中学生、高校生を比較すると、小学生は他に比べて「満足している」の割合が高く、高校生になるにつれ、「満足していない」と「どちらかと言えば満足していない」を合わせた割合が高くなる。

◆「今の生活の満足度」と「経済的な生活レベル」



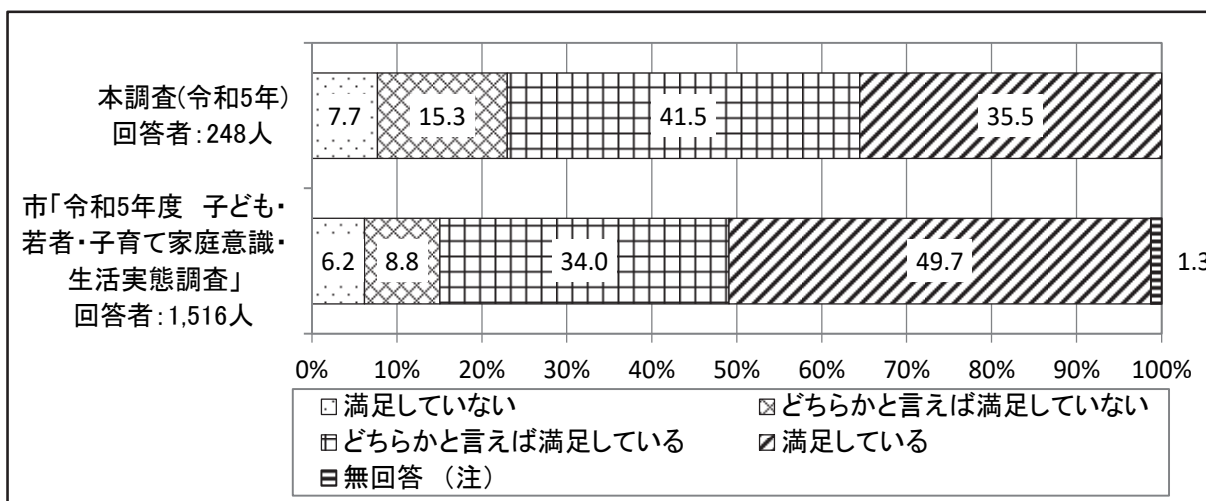
生活レベルが「かなり豊かな」子は、他に比べて生活に「満足している」子が 64.5%と最も高く、生活レベルが「かなり苦しい」子は、他に比べて生活に「満足していない」子が 29.4%と最も高くなっている。

◆「今の生活の満足度」と「勉強意識」



勉強意識が「低」の子は、他に比べて今の生活に「満足していない」子が 13.1%と最も高く、勉強意識が「高」の子は、他に比べて今の生活に「満足している」子が 50.9%と最も高くなっている。

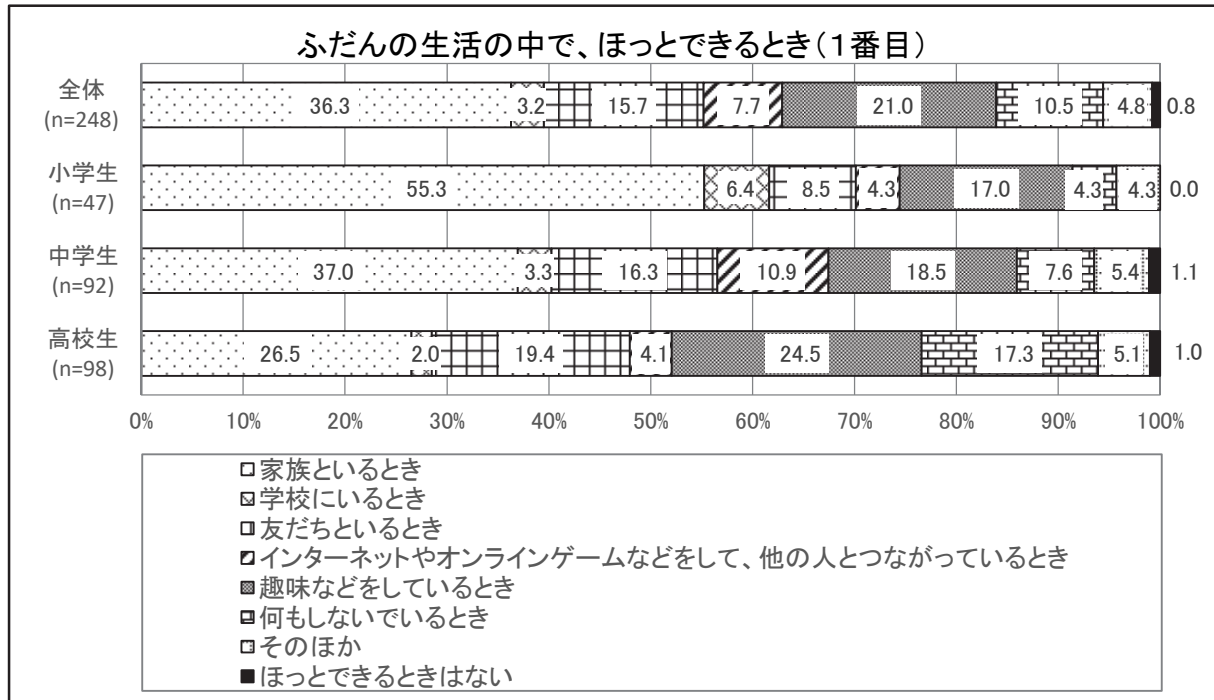
◆ 市「令和5年度 子ども・若者・子育て家庭意識・生活実態調査」との比較



（注）「無回答」は市「令和5年度子ども・若者・子育て家庭意識・生活実態調査」のみ

本市で行っている「令和5年度子ども・若者・子育て家庭意識・生活実態調査」と比べると、「どちらかと言えば満足していない」は 6.5 ポイント、「どちらかと言えば満足している」は 7.5 ポイント高く、「満足している」は 14.2 ポイント低くなっている。

(2) ふだんの生活の中で、ほっとできるとき (1 番目) について

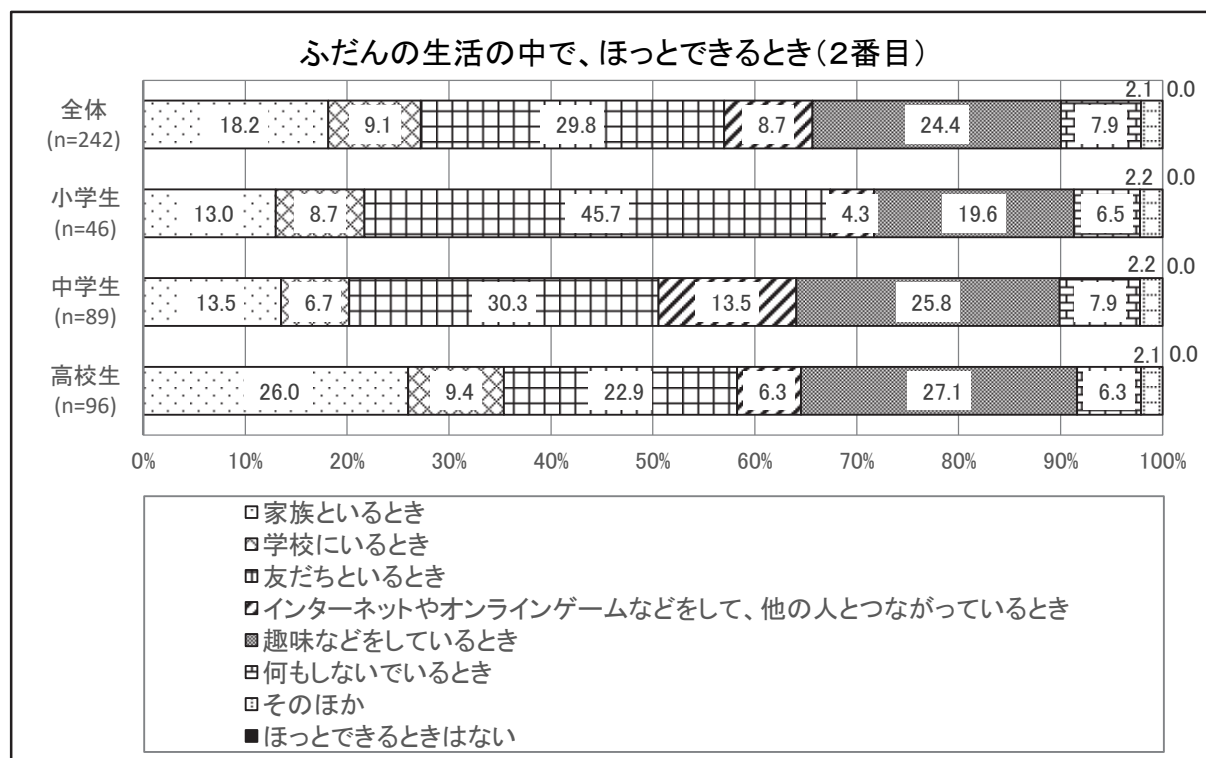
**ふだんの生活の中で、1 番目にほっとできるときは、家族といるときが約 4 割**

全体では「家族といるとき」が 36.3%と最も多く、次いで「趣味などをしているとき」(21.0%)、「友だちといるとき」(15.7%)、「何もしないでいるとき」(10.5%) の順となっている。

また、「ほっとできるときはない」が 0.8%となっている。

小学生、中学生、高校生を比較すると、小学生は他に比べて「家族といるとき」の割合が高く、中学生は「インターネットやオンラインゲームなどをして、他の人とつながっているとき」、高校生は「何もしないでいるとき」が高くなっている。

(3) ふだんの生活の中で、ほっとできるとき (2番目) について

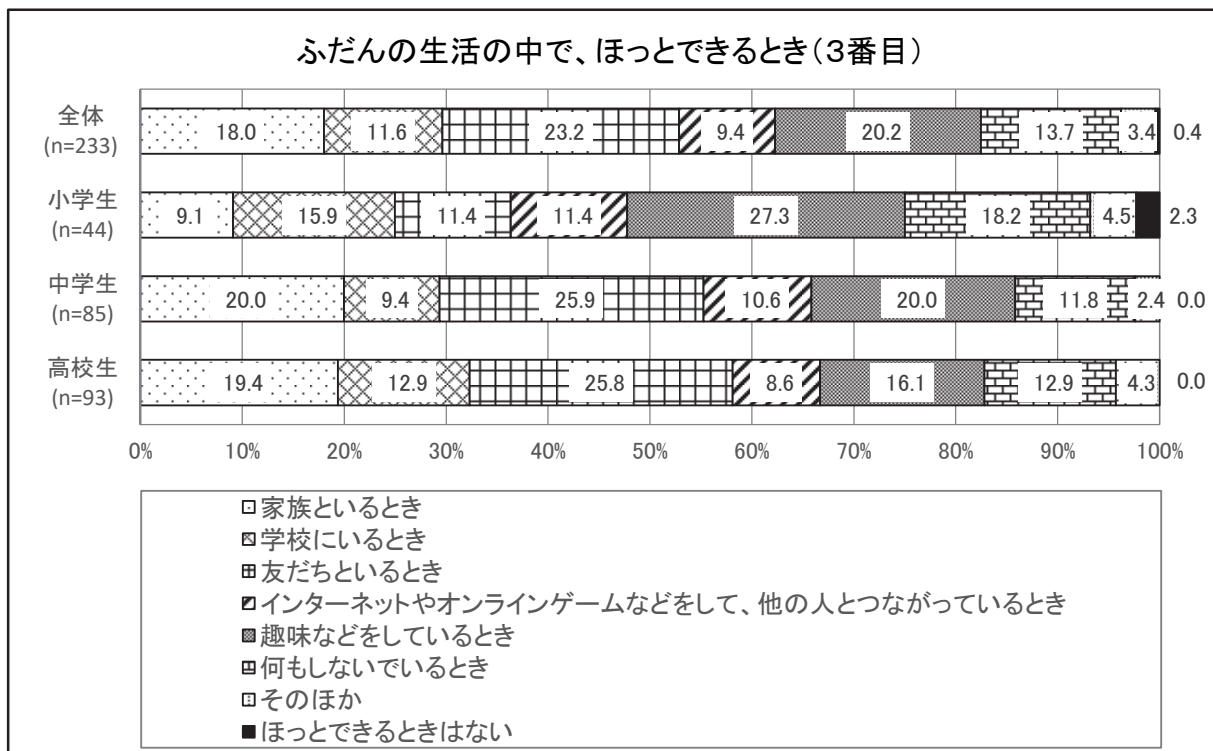


ふだんの生活の中で、2番目にほっとできるときは、友だちといるときが約3割

全体では「友だちといるとき」が 29.8%と最も多く、次いで「趣味などをしているとき」(24.4%)、「家族といるとき」(18.2%)の順となっている。

小学生、中学生、高校生を比較すると、小学生は他に比べて「友だちといるとき」の割合が高く、中学生は「インターネットやオンラインゲームなどをして、他の人とつながっているとき」、高校生は「家族といるとき」が高くなっている。

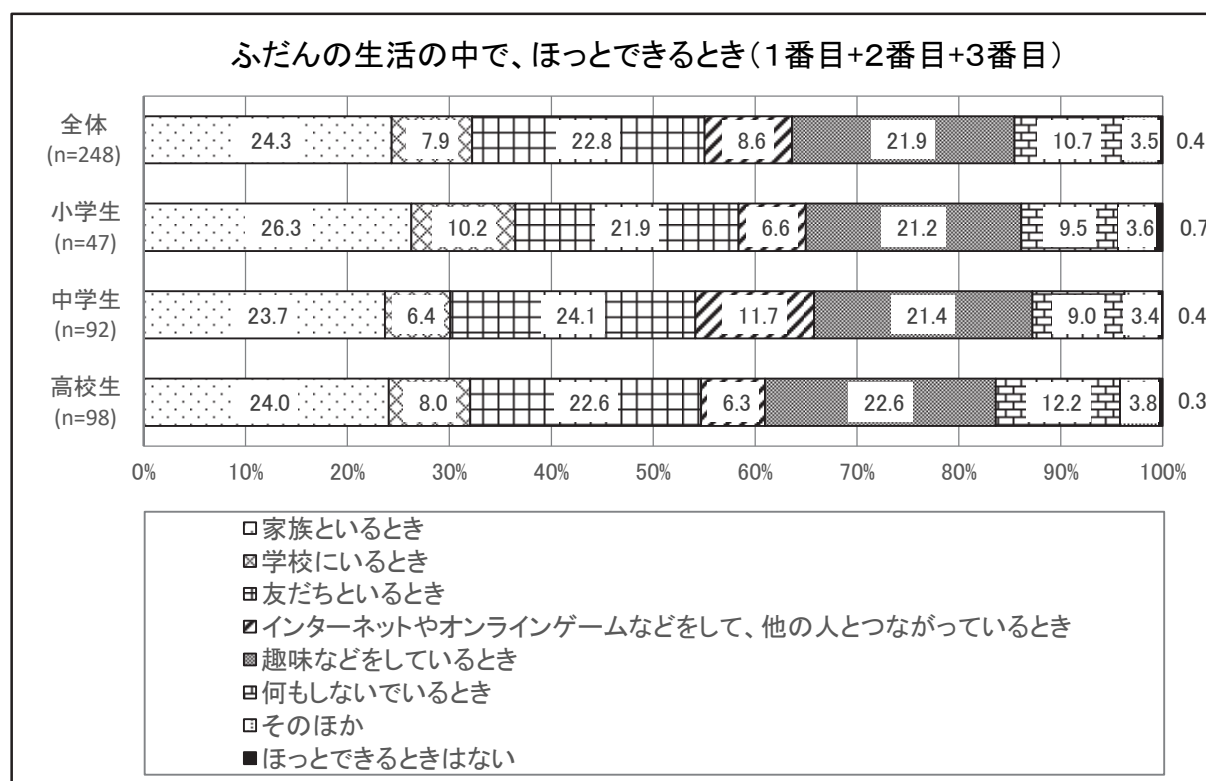
(4) ふだんの生活の中で、ほっとできるとき (3番目) について

**ふだんの生活の中で、3番目にほっとできるときは、友だちといるときが約2割**

全体では「友だちといるとき」が 23.2%と最も多く、次いで「趣味などをしているとき」(20.2%)、「家族といるとき」(18.0%)、「何もしないでいるとき」(13.7%)の順となっている。

小学生、中学生、高校生を比較すると、小学生は他に比べて「趣味などをしているとき」の割合が高い。

(5) ふだんの生活の中で、ほっとできるとき（1番目+2番目+3番目）について

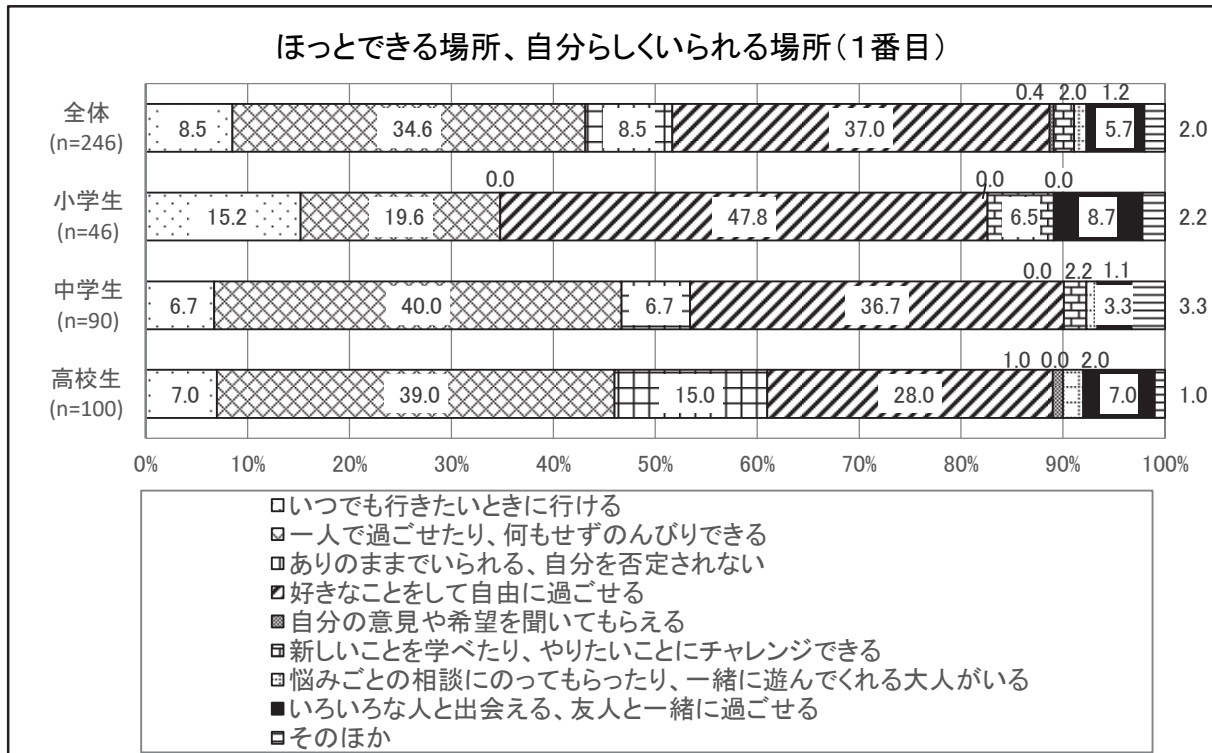


**ふだんの生活の中で、ほっとできるとき
(1番目+2番目+3番目)は、家族といるときが約2割**

全体では「家族といるとき」が 24.3%と最も多く、次いで「友だちといるとき」(22.8%)、「趣味などをしているとき」(21.9%)の順となっている。

小学生、中学生、高校生を比較すると、中学生は他に比べて「インターネットやオンラインゲームなどをして、他の人とつながっているとき」の割合が高い。

(6) ほっとできる場所、自分らしくいられる場所 (1 番目) について

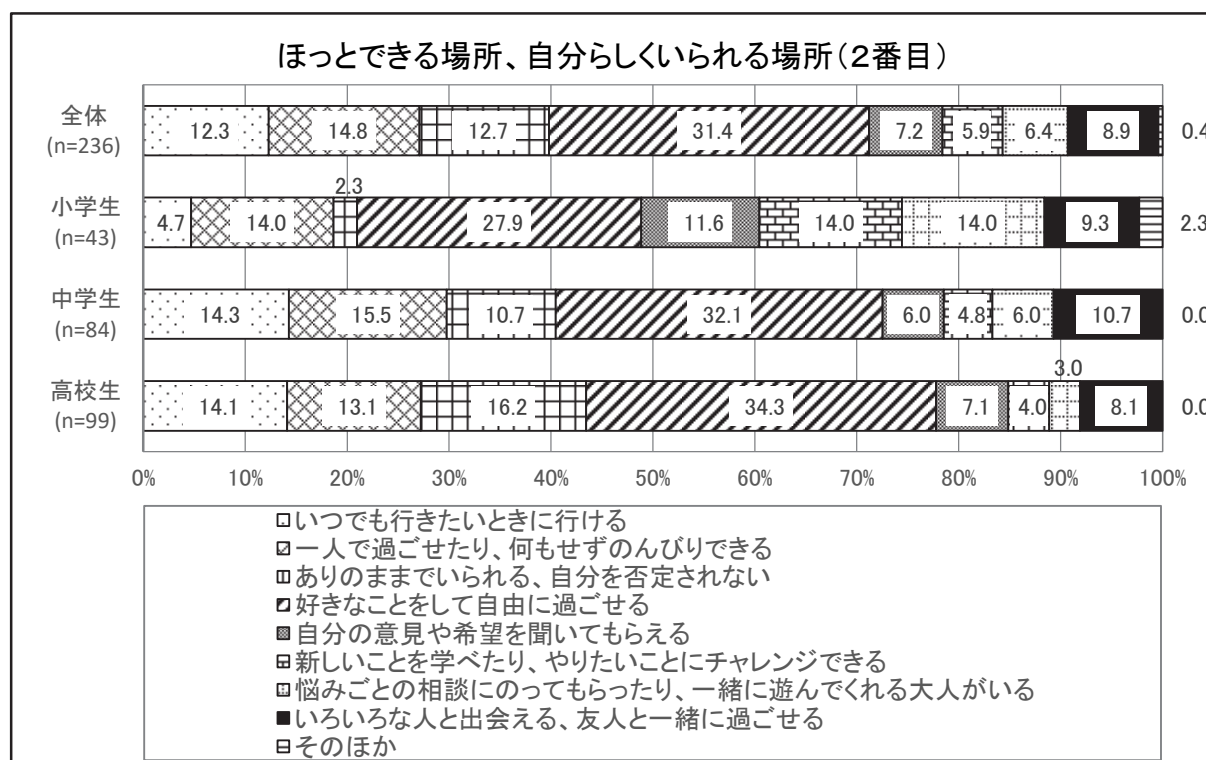


**1 番目にほっとできる場所、自分らしくいられる場所は、
好きなことをして自由に過ごせるが約4割**

全体では「好きなことをして自由に過ごせる」が 37.0% と最も多く、次いで「一人で過ごせたり、何もせずのんびりできる」(34.6%) となっている。

小学生、中学生、高校生を別に見ると、小学生は「好きなことをして自由に過ごせる」、中学生、高校生は「一人で過ごせたり、何もせずのんびりできる」が最も多くなっている。

(7) ほっとできる場所、自分らしくいられる場所 (2番目) について

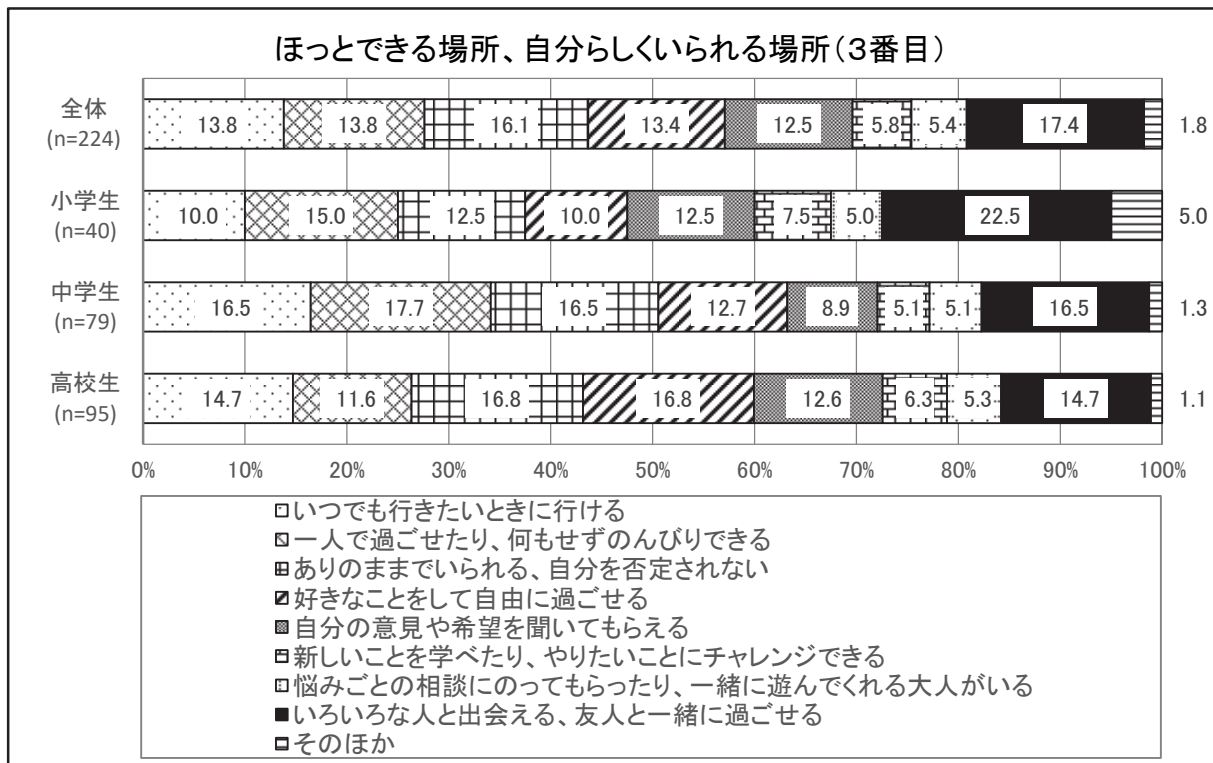


**2番目にほっとできる場所、自分らしくいられる場所は、
好きなことをして自由に過ごせるが約3割**

全体では「好きなことをして自由に過ごせる」が31.4%と最も多く、次いで「一人で過ごせたり、何もせずのんびりできる」(14.8%)、「ありのままでいられる、自分を否定されない」(12.7%)、「いつでも行きたいときに行ける」(12.3%)の順となっている。

小学生、中学生、高校生を比較すると、小学生は他に比べて「自分の意見や希望を聞いてもらえる」、「新しいことを学べたり、やりたいことにチャレンジできる」、「悩みごとの相談にのってもらったり、一緒に遊んでくれる大人がいる」の割合が高い。

(8) ほっとできる場所、自分らしくいられる場所 (3番目) について

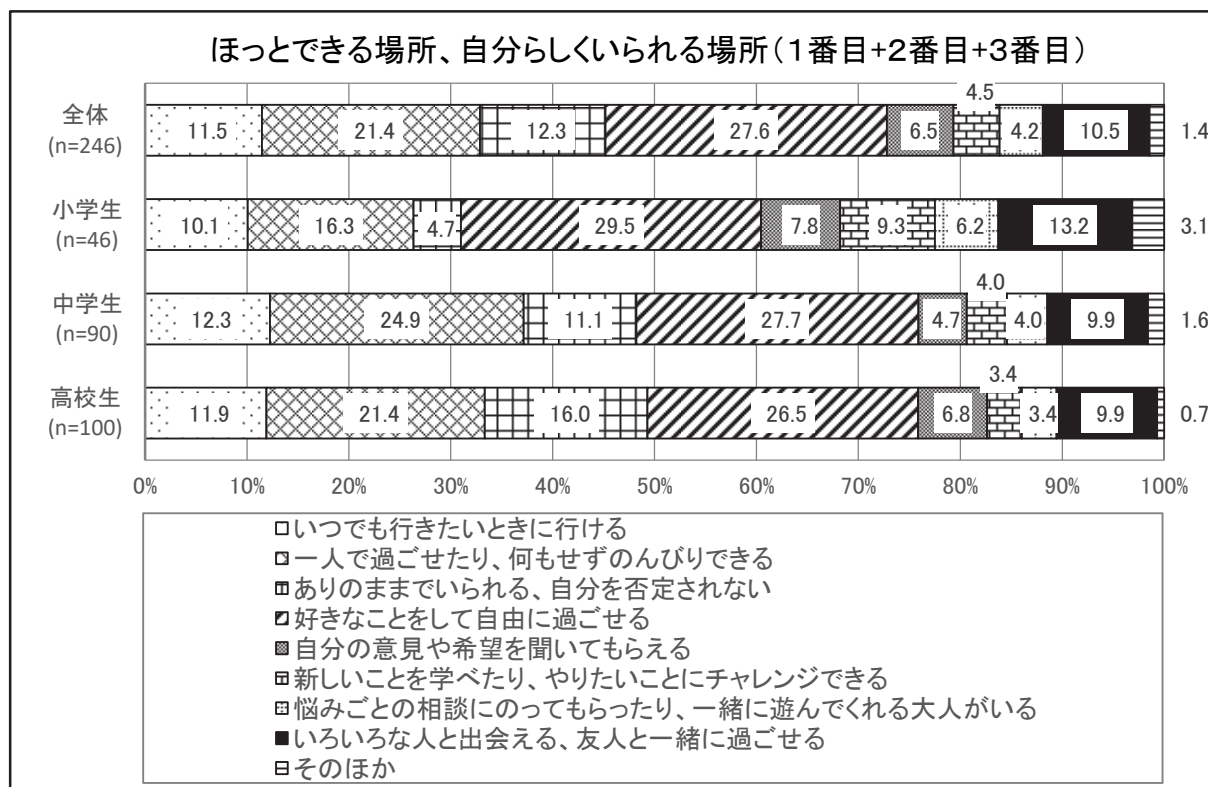


**3番目にほっとできる場所、自分らしくいられる場所は、
いろいろな人と出会える、友人と一緒に過ごせるが約2割**

全体では「いろいろな人と出会える、友人と一緒に過ごせる」が17.4%と最も多く、次いで「ありのままでいられる、自分を否定されない」(16.1%)、「いつでも行きたいときに行ける」(13.8%)、「一人で過ごせたり、何もせずのんびりできる」(13.4%)の順となっている。

小学生、中学生、高校生を別に見ると、小学生は「いろいろな人と出会える、友人と一緒に過ごせる」、中学生は「一人で過ごせたり、何もせずのんびりできる」、高校生は「ありのままでいられる、自分を否定されない」が最も多くなっている。

(9) ほっとできる場所、自分らしくいられる場所（1番目+2番目+3番目）について



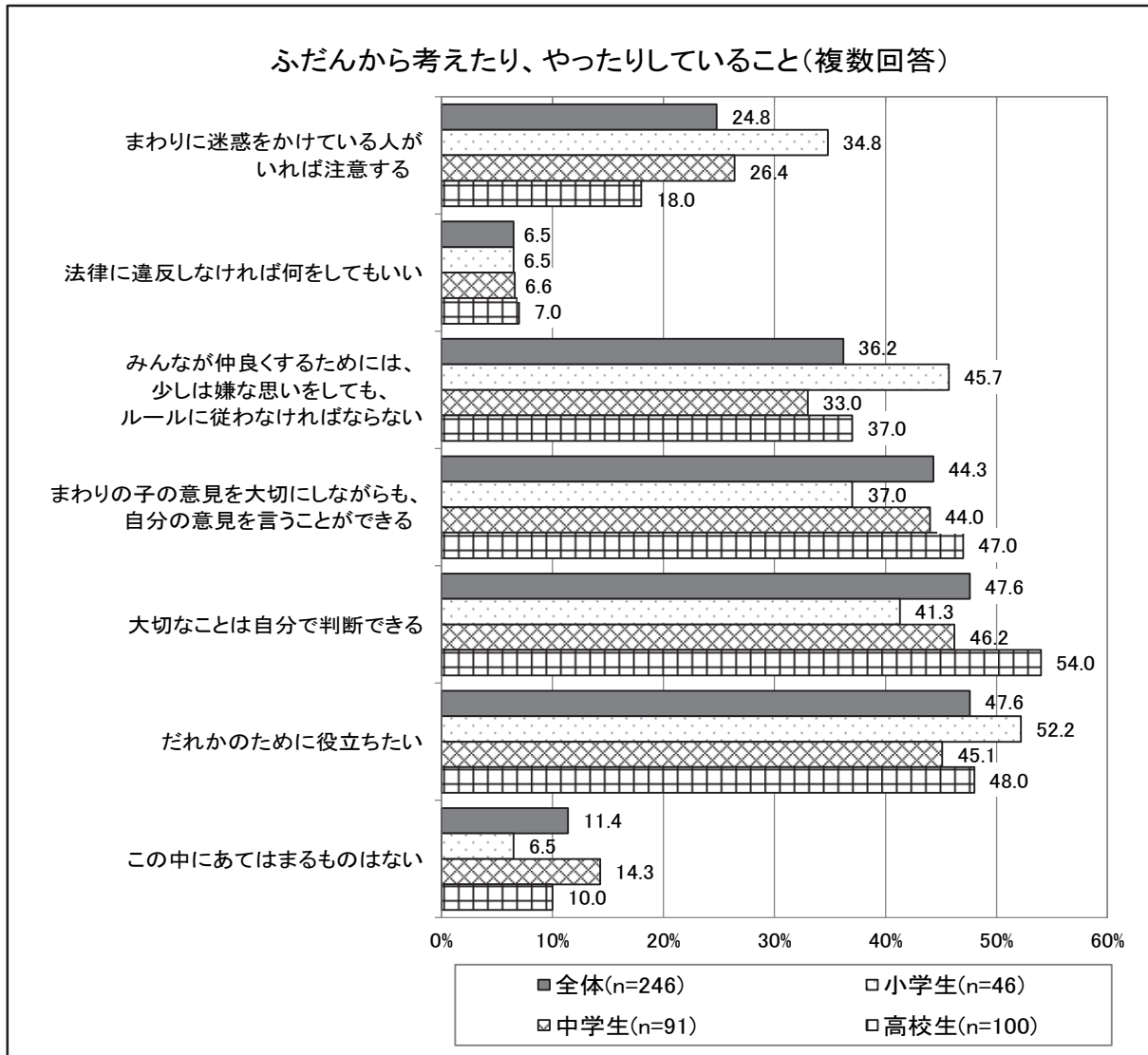
**ほっとできる場所、自分らしくいられる場所
（1番目+2番目+3番目）は、好きなことをして自由に過ごせるが約3割**

全体では「好きなことをして自由に過ごせる」が27.6%と最も多く、次いで「一人で過ごせたり、何もせずのんびりできる」(21.4%)、「ありのままでいられる、自分を否定されない」(12.3%)の順となっている。

小学生、中学生、高校生を比較すると、小学生は他に比べて「一人で過ごせたり、何もせずのんびりできる」、「ありのままでいられる、自分を否定されない」の割合が低く、「新しいことを学べたり、やりたいことにチャレンジできる」の割合が高い。

8 あなた自身のことについて

(1) ふだんから考えたり、やったりしていることについて

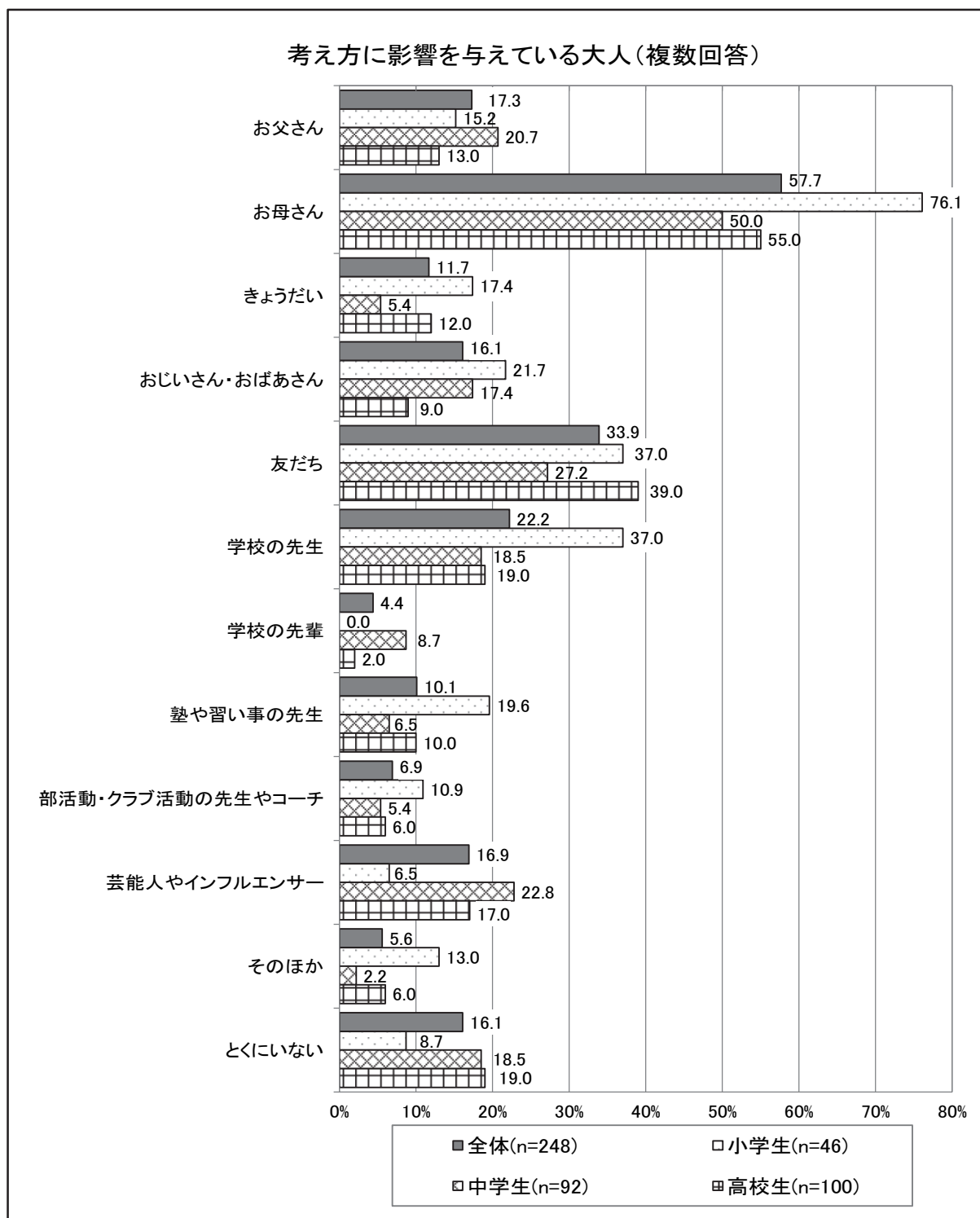


ふだんから考えたり、やったりしていることは、 大切なことは自分で判断できる、だれかのために役立ちたいがいずれも約5割

全体では「大切なことは自分で判断できる」と「だれかのために役立ちたい」がいずれも47.6%と最も多く、次いで「まわりの子の意見を大切にしながらも、自分の意見を言うことができる」(44.3%)、「みんなが仲良くするためには、少しは嫌な思いをしても、ルールに従わなければならない」(36.2%)、「まわりに迷惑をかけている人がいれば注意する」(24.8%)の順となっている。

小学生、中学生、高校生を比較すると、小学生は他に比べて「まわりに迷惑をかけている人がいれば注意する」、「みんなが仲良くするためには、少しは嫌な思いをしても、ルールに従わなければならない」の割合が高く、高校生は「大切なことは自分で判断できる」が高くなっている。

(2) 考え方に影響を与えている大人



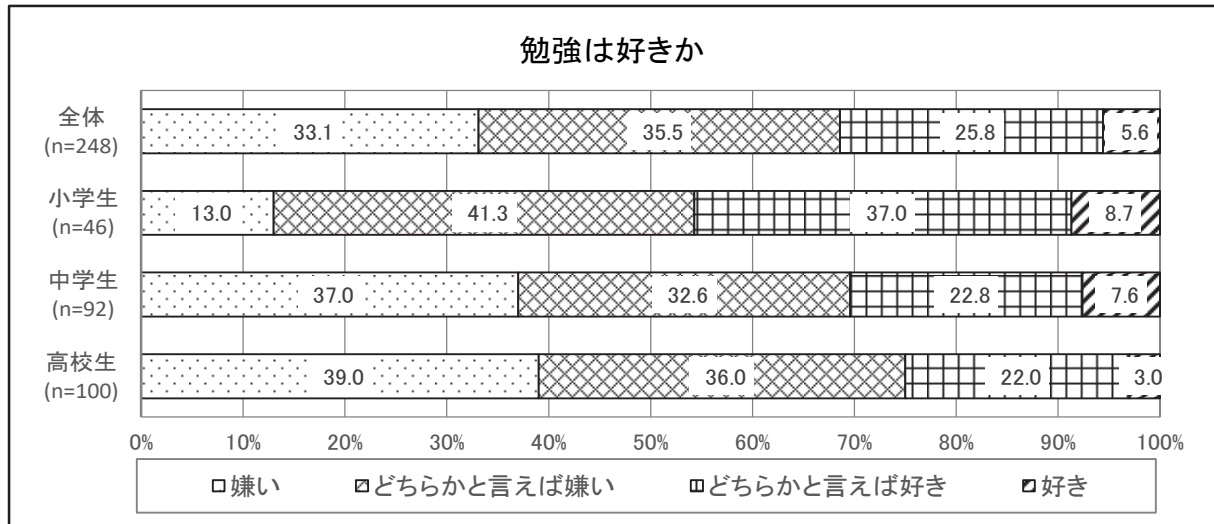
考え方に影響を与えている大人は、お母さんが約6割

全体では「お母さん」が 57.7% と最も多く、次いで「友だち」(33.9%)、「学校の先生」(22.2%)、「お父さん」(17.3%) の順となっている。

また、「とくにいない」は 16.1% となっている。

小学生、中学生、高校生を比較すると、小学生は他に比べて「お母さん」、「学校の先生」の割合が高く、中学生は「学校の先輩」、「芸能人やインフルエンサー」、高校生は「友だち」が高くなっている。

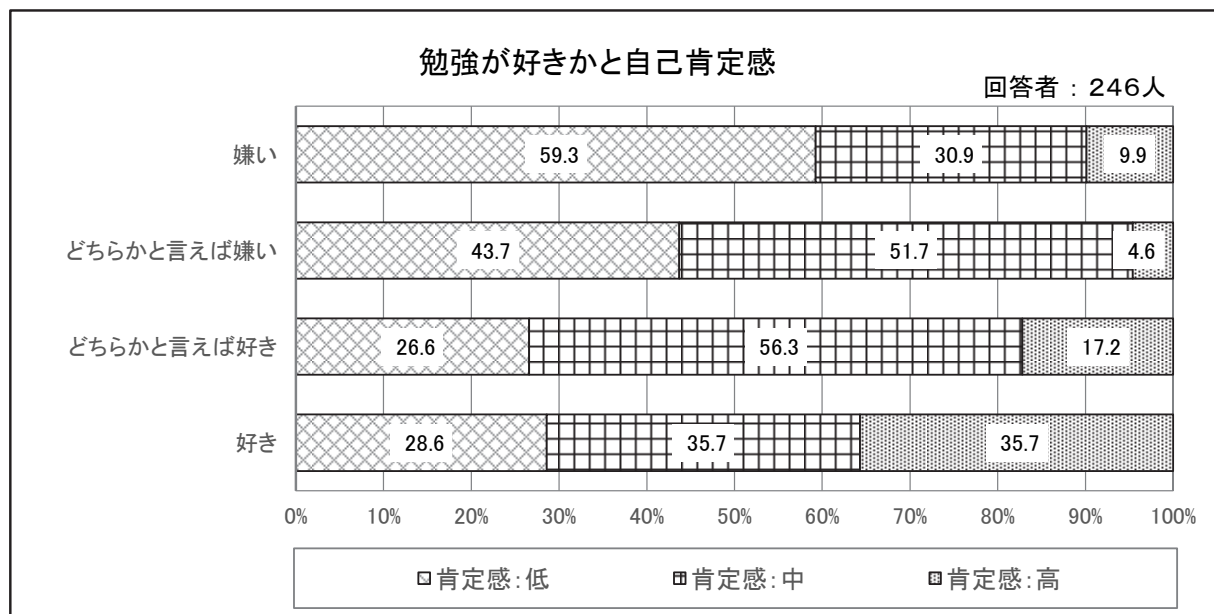
(3) 勉強は好きかについて

**勉強は好きかでは、どちらかと言えば嫌いが約4割**

全体では「どちらかと言えば嫌い」(35.5%)と「嫌い」(33.1%)を合わせると、全体の約7割(68.6%)となっている。

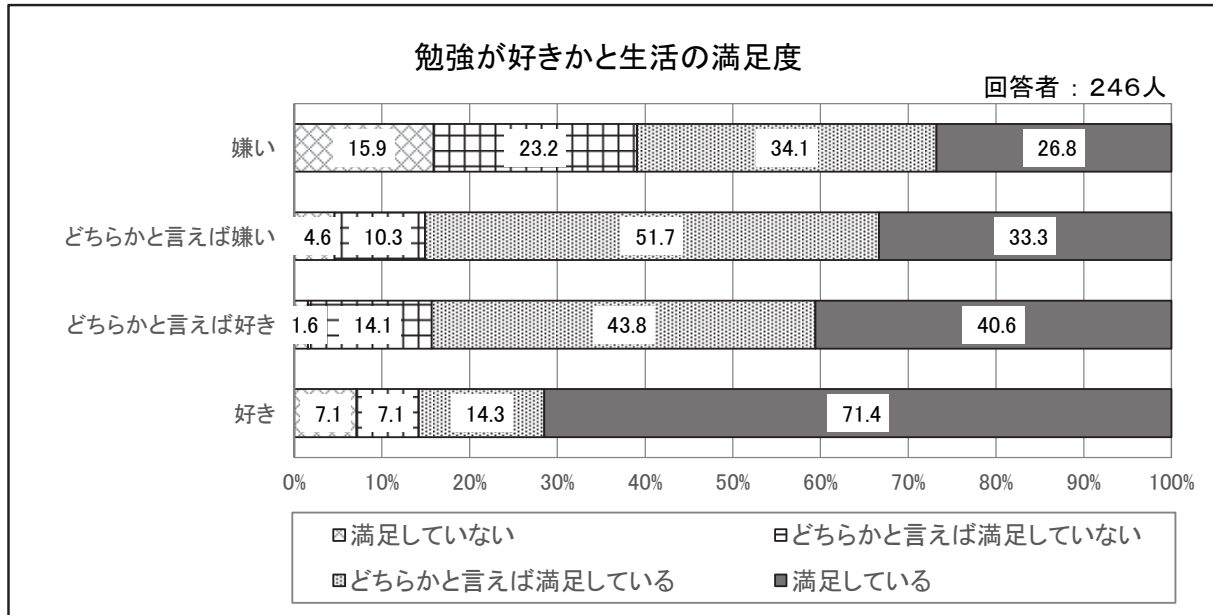
小学生、中学生、高校生を別に見ると、高校生になるにつれ、「嫌い」と「どちらかと言えば嫌い」を合わせた割合が高くなる。

◆「勉強は好きか」と「自己肯定感」



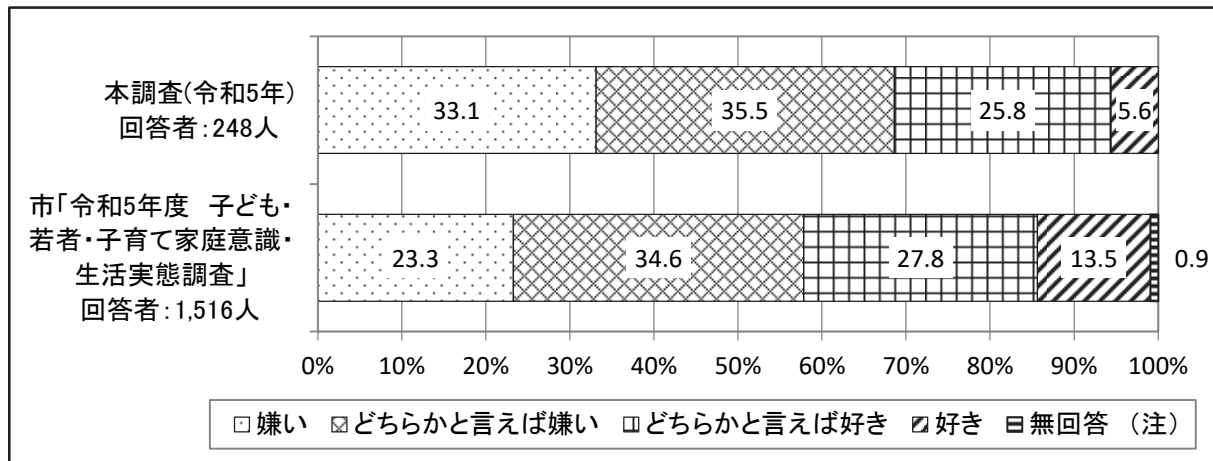
勉強が「嫌い」な子は、他に比べて「肯定感：低」が59.3%と最も高くなっており、勉強が「好き」な子は、他に比べて「肯定感：高」が35.7%と最も高くなっている。

◆「勉強は好きか」と「生活満足度」



勉強が「好き」になるにつれ、生活に「満足している」子が多くなる。

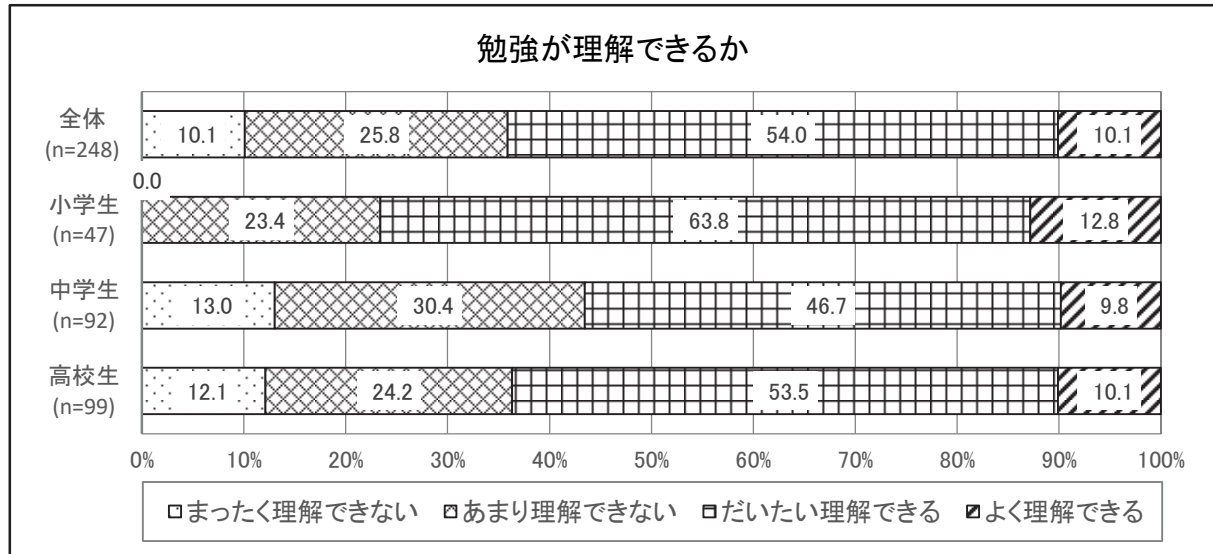
◆ 市「令和5年度 子ども・若者・子育て家庭意識・生活実態調査」との比較



(注) 「無回答」は市「令和5年度子ども・若者・子育て家庭意識・生活実態調査」のみ

本市で行っている「令和5年度子ども・若者・子育て家庭意識・生活実態調査」と比べると、「嫌い」は9.8ポイント高く、「好き」は7.9ポイント低くなっている。

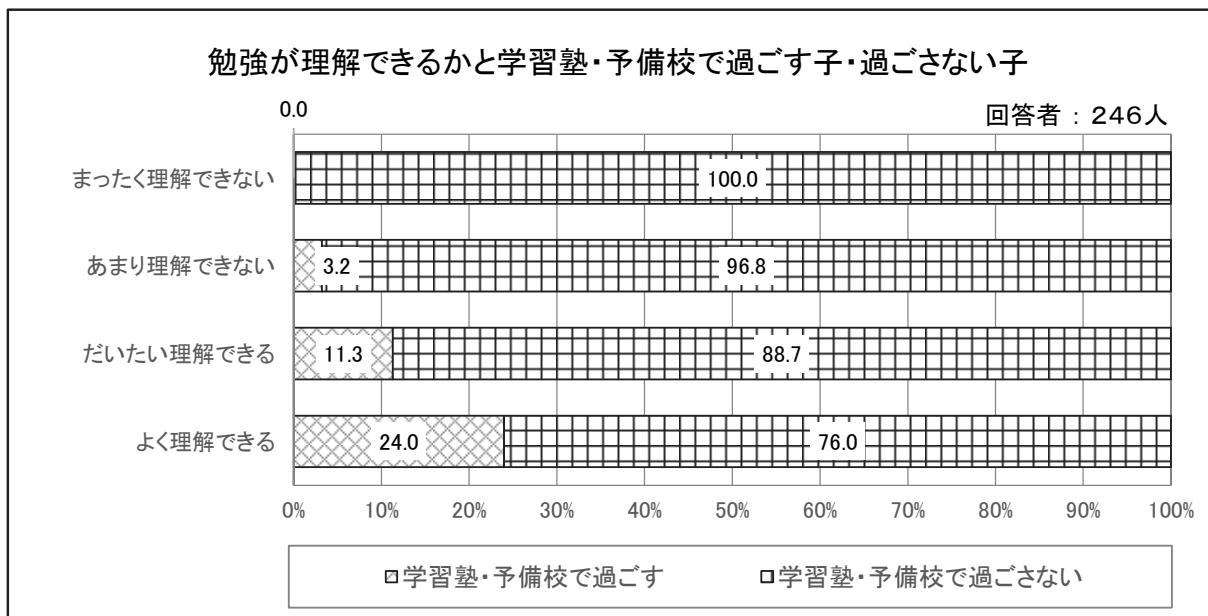
(4) 勉強が理解できるかについて

**勉強が理解できるかは、だいたい理解できるが約5割**

全体では「だいたい理解できる」が54.0%と最も多く、次いで「あまり理解できない」(25.8%)となっている。

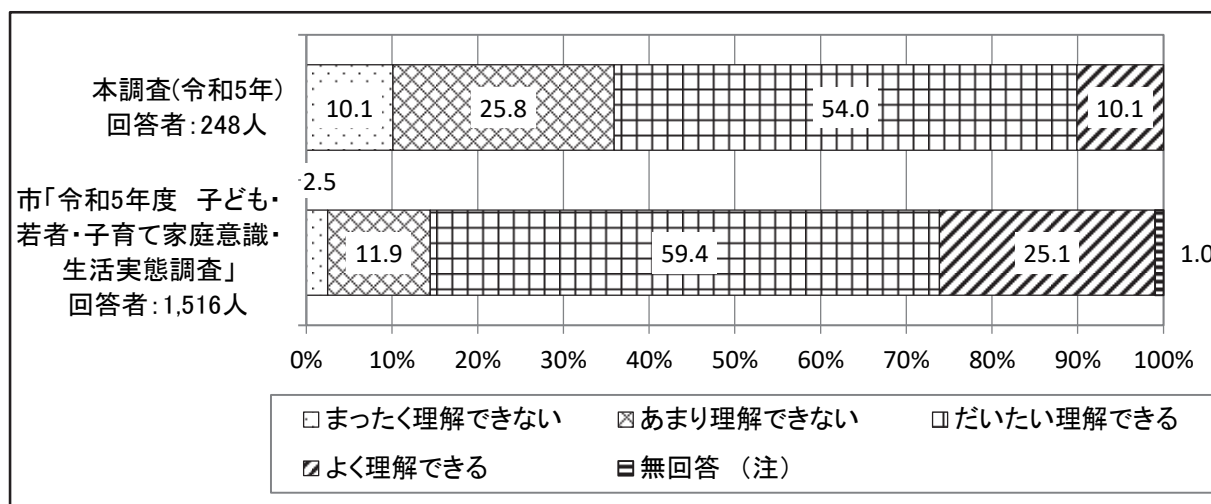
小学生、中学生、高校生を比較すると、小学生は他に比べて、「だいたい理解できる」の割合が高く、中学生は「あまり理解できない」が高くなっている。

◆「勉強の理解度」と「学習塾・予備校で過ごす子、過ごさない子」



勉強が「よく理解できる」につれ、「学習塾・予備校で過ごす」子が多くなる。

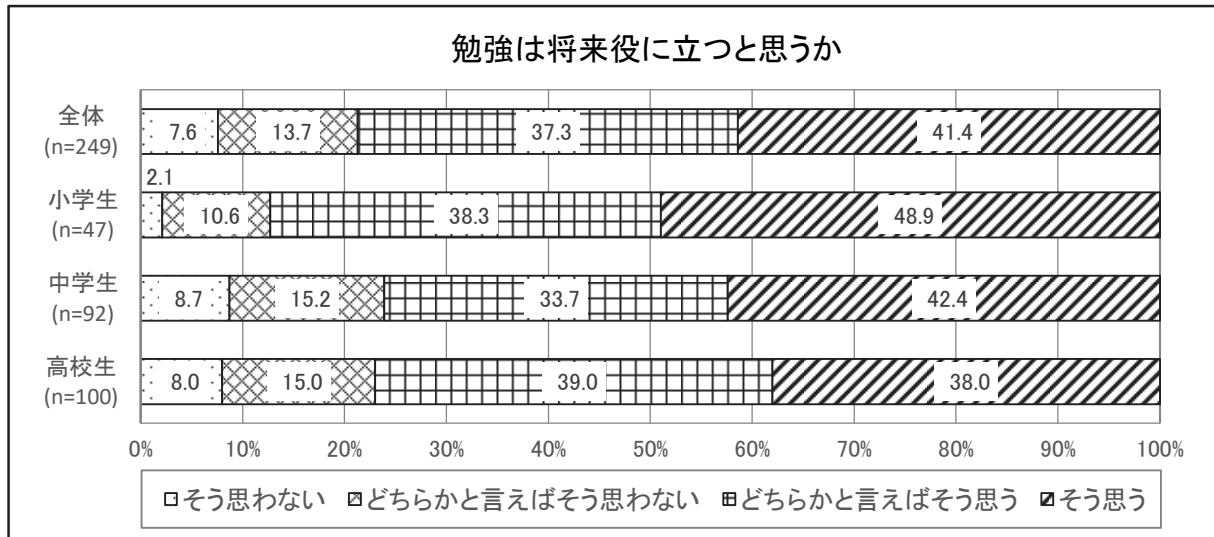
◆ 市「令和5年度 子ども・若者・子育て家庭意識・生活実態調査」との比較



(注) 「無回答」は市「令和5年度子ども・若者・子育て家庭意識・生活実態調査」のみ

本市で行っている「令和5年度子ども・若者・子育て家庭意識・生活実態調査」と比べると、「まったく理解できない」は7.6ポイント、「あまり理解できない」は13.9ポイント高く、「だいたい理解できる」は5.4ポイント、「よく理解できる」は15.0ポイント低くなっている。

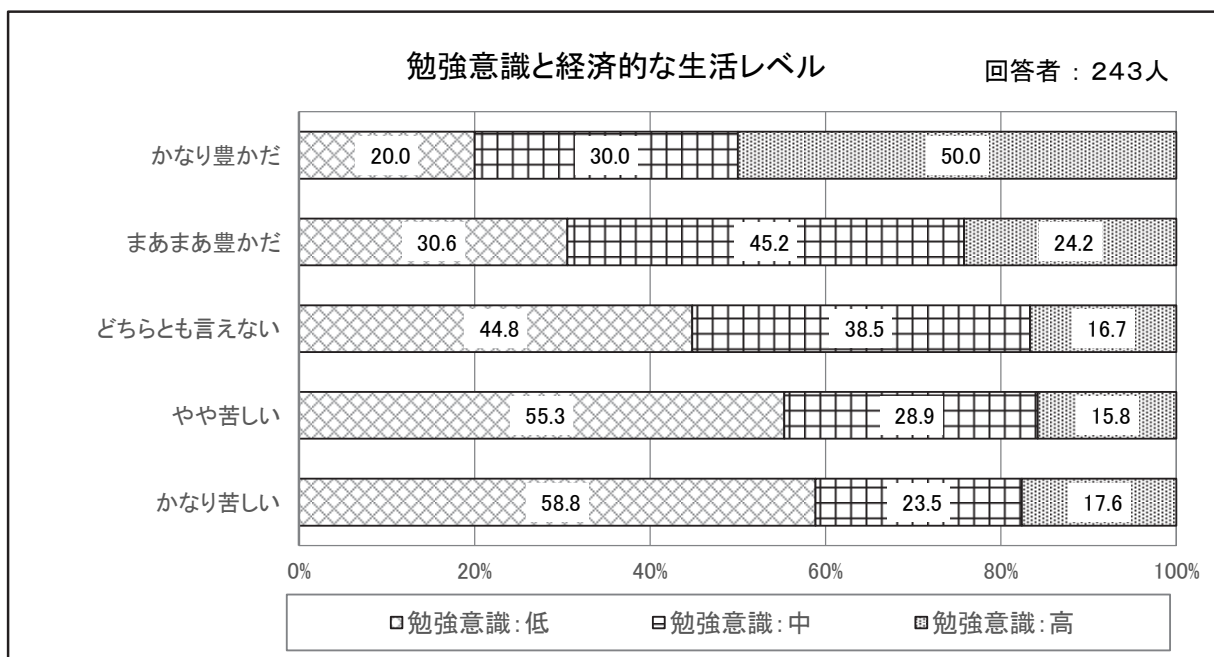
(5) 勉強は将来役に立つと思うかについて

**勉強は将来役に立つと思うかは、そう思うが約4割**

全体では「そう思う」が41.4%と最も高くなっている。

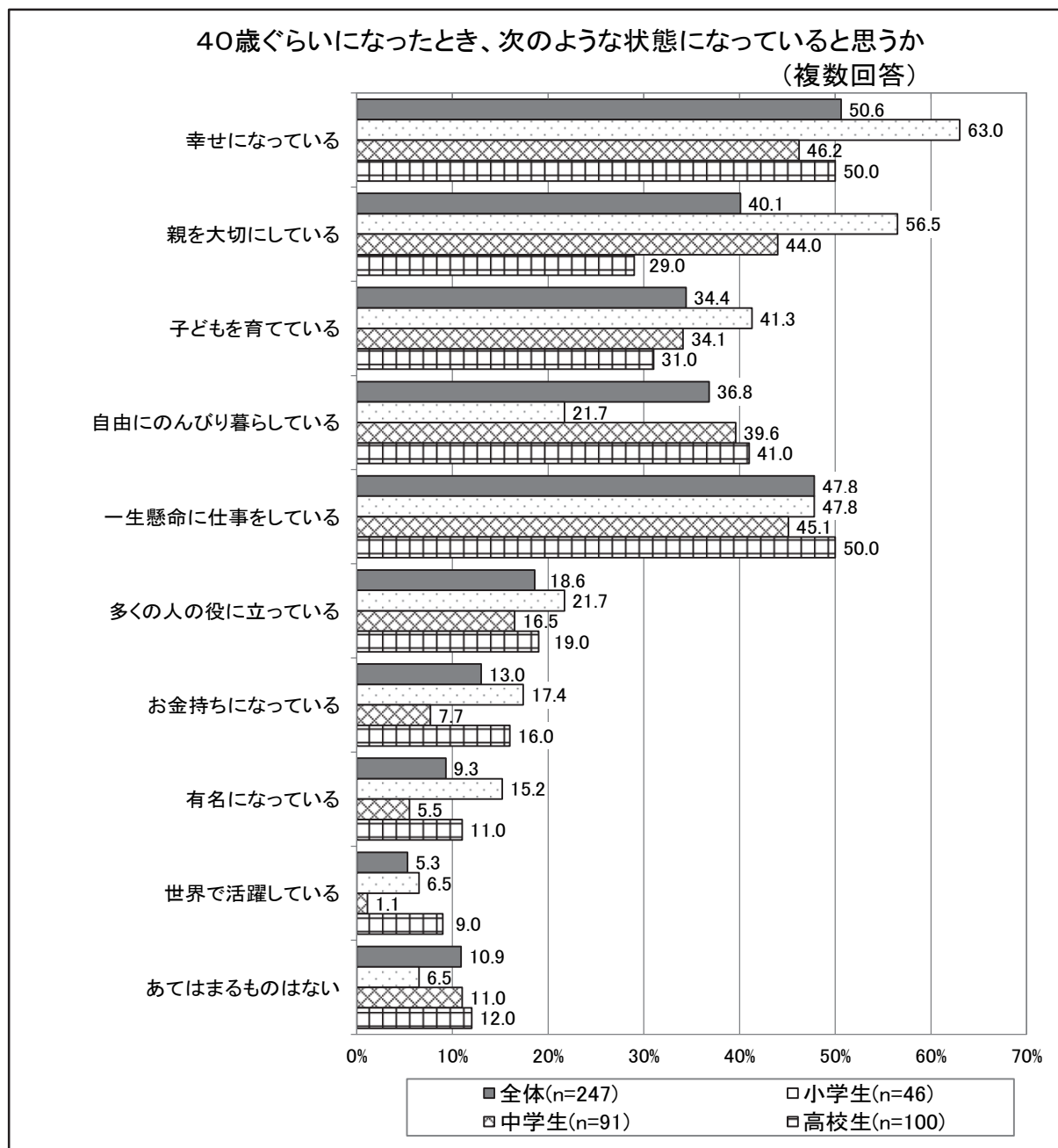
小学生、中学生、高校生を比較すると、高校生になるにつれ、「そう思う」の割合が低くなっている。

◆「勉強意識」と「経済的な生活レベル」



生活レベルが苦しくなるにつれ、「勉強意識：低」が多くなる。

(6) 40歳ぐらいになったときの状態について

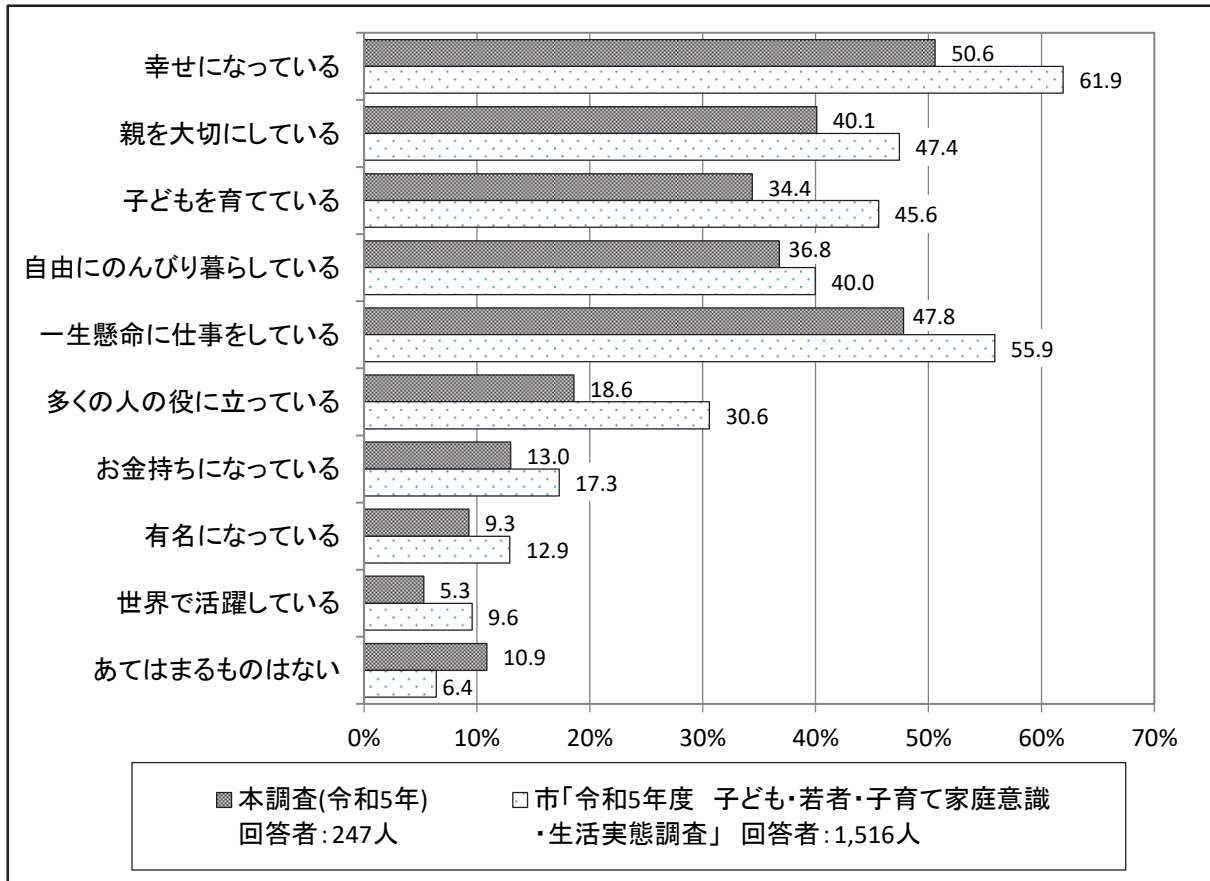


40歳ぐらいになったときの状態は、幸せになっているが約5割

全体では「幸せになっている」が50.6%と最も多く、次いで「一生懸命に仕事をしている」(47.8%)、「親を大切にしている」(40.1%)、「自由にのんびり暮らしている」(36.8%)の順となっている。

小学生、中学生、高校生を比較すると、小学生は他に比べて「幸せになっている」、「親を大切にしている」の割合が高い。

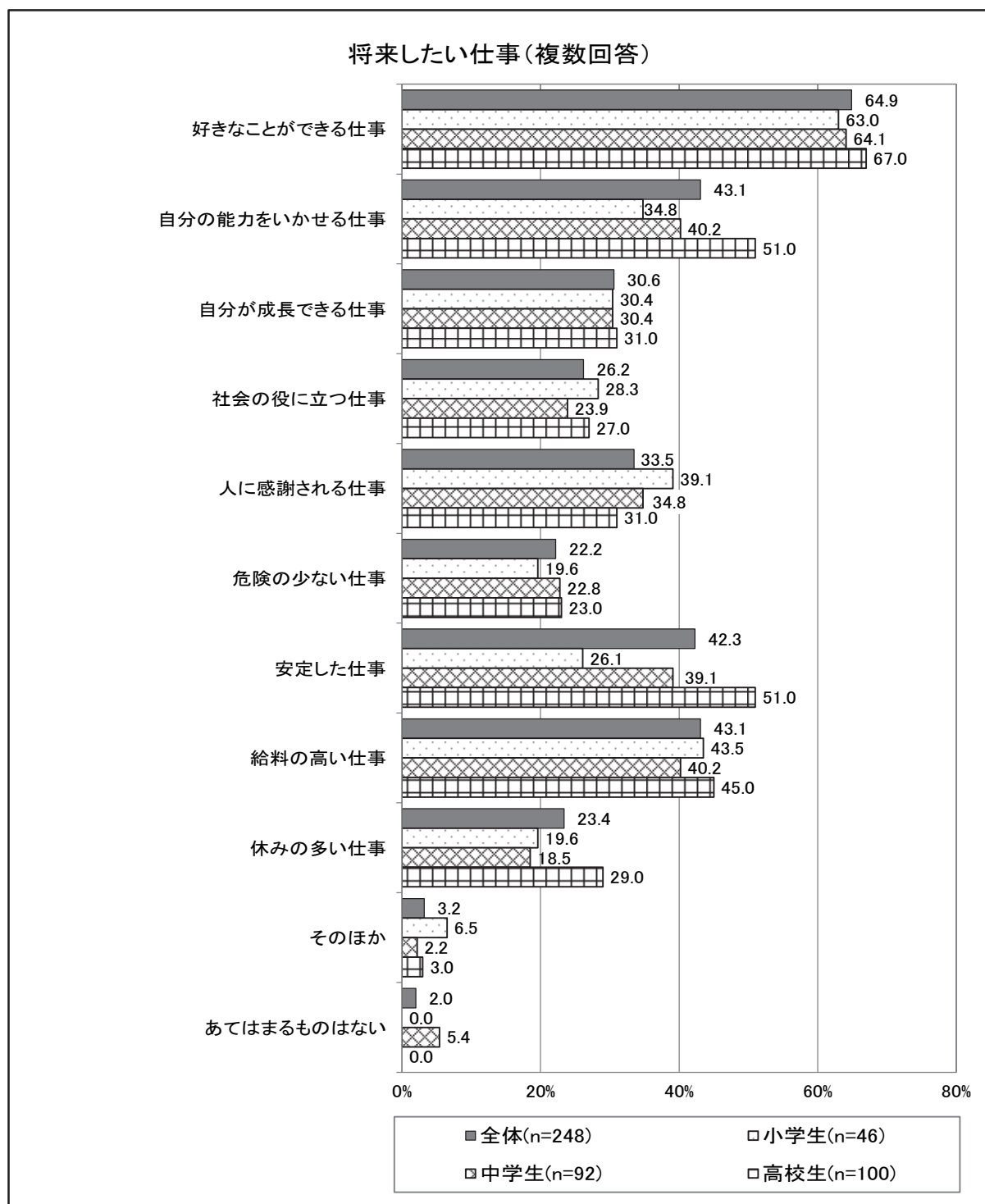
◆ 市「令和5年度 子ども・若者・子育て家庭意識・生活実態調査」との比較



※市「令和5年度子ども・若者・子育て家庭意識・生活実態調査」の「無回答」の項目は掲載を省略

本市で行っている「令和5年度子ども・若者・子育て家庭意識・生活実態調査」と比べると、「幸せになっている」は11.3ポイント、「親を大切にしている」は7.3ポイント、「子どもを育てている」は11.2ポイント、「一生懸命に仕事をしている」は8.1ポイント、「多くの人の役に立っている」は12.0ポイント低くなっている。

(7) 将来の仕事について

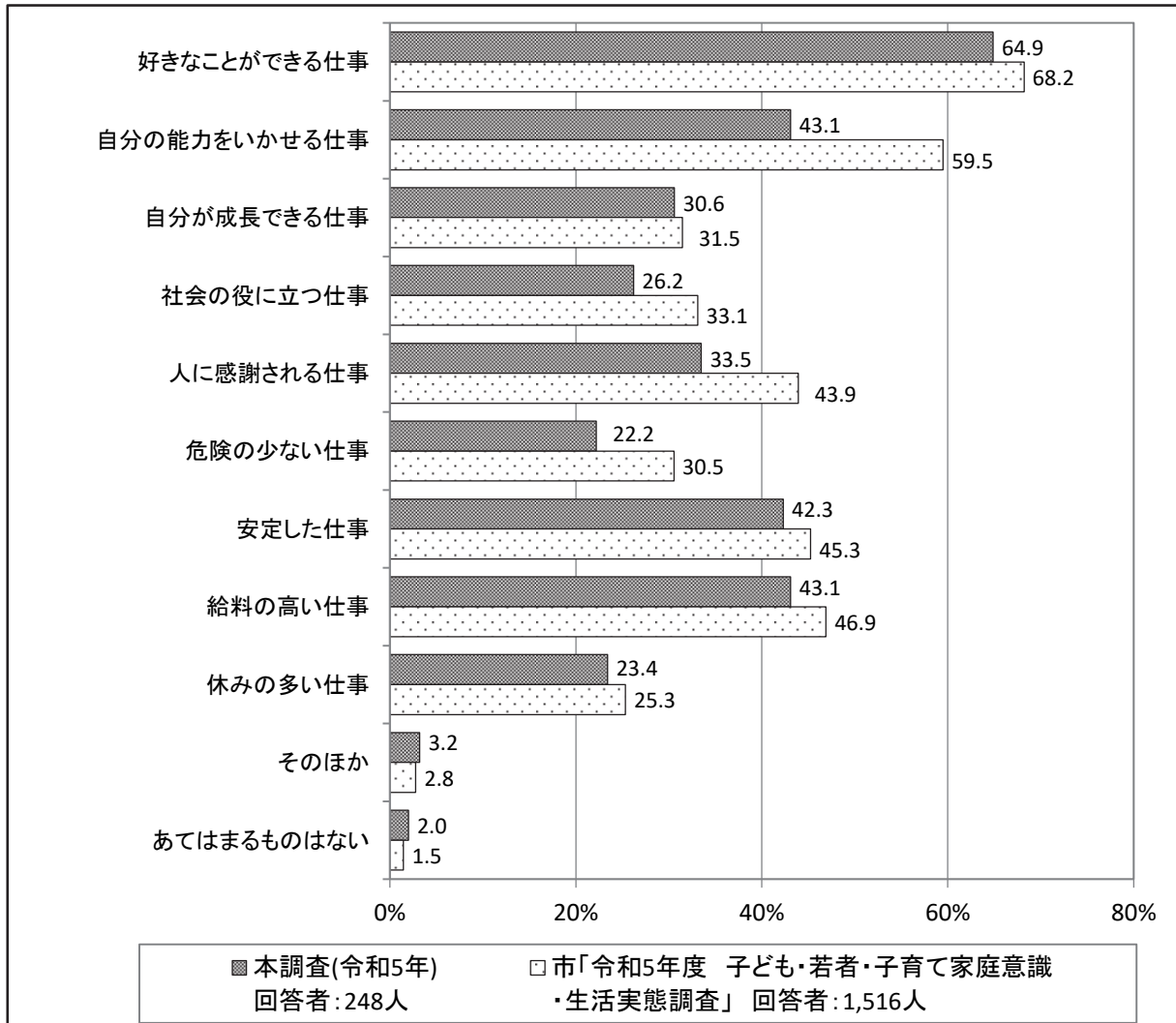


将来したい仕事は、好きなことができる仕事が約6割

全体では「好きなことができる仕事」が64.9%と最も多く、次いで「自分の能力をいかせる仕事」(43.1%)、「給料の高い仕事」(43.1%)、「安定した仕事」(42.3%)の順となっている。

小学生、中学生、高校生を比較すると、小学生は他に比べて「人に感謝される仕事」の割合が高く、高校生は「安定した仕事」、「自分の能力をいかせる仕事」が高くなっている。

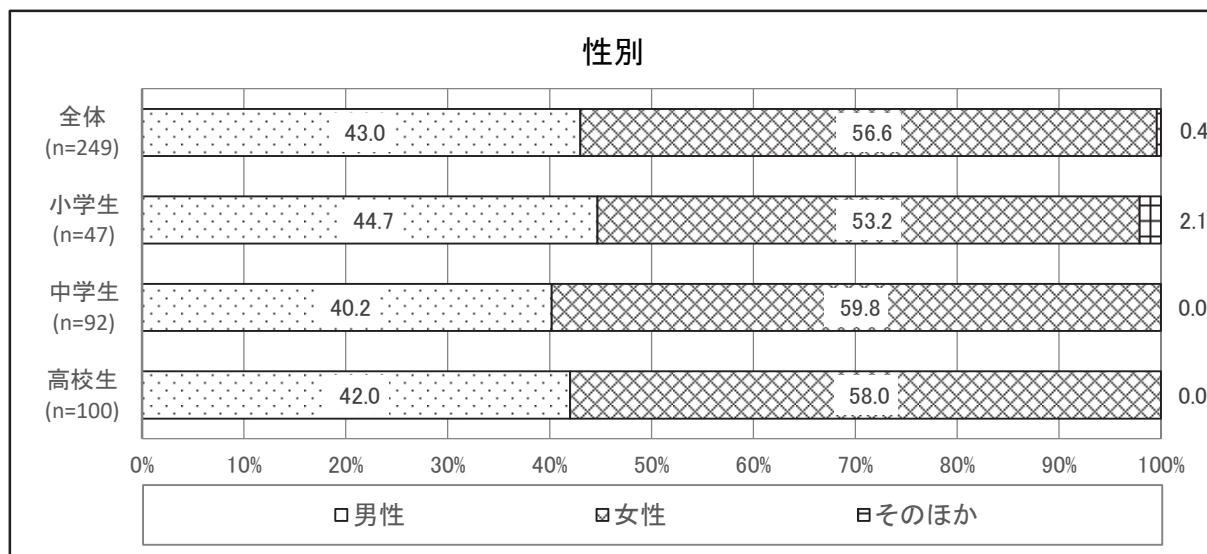
◆ 市「令和5年度 子ども・若者・子育て家庭意識・生活実態調査」との比較



※市「令和5年度子ども・若者・子育て家庭意識・生活実態調査」の「無回答」の項目は掲載を省略

本市で行っている「令和5年度子ども・若者・子育て家庭意識・生活実態調査」と比べると、「自分の能力をいかせる仕事」は16.4ポイント、「社会の役に立つ仕事」は6.9ポイント、「人に感謝される仕事」は10.4ポイント、「危険の少ない仕事」は8.3ポイント低くなっている。

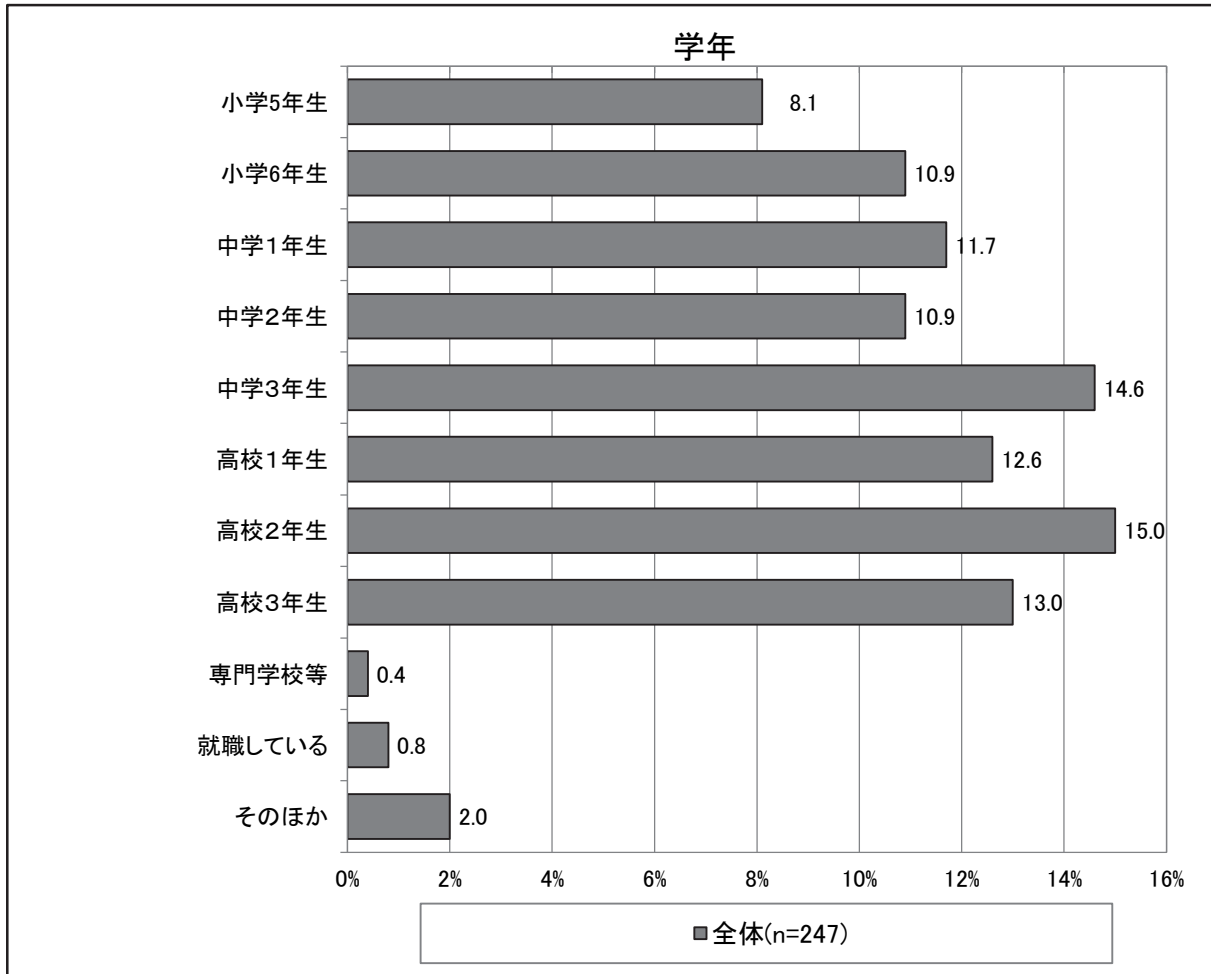
(8) 性別



性別は、女性が約6割、男性が約4割

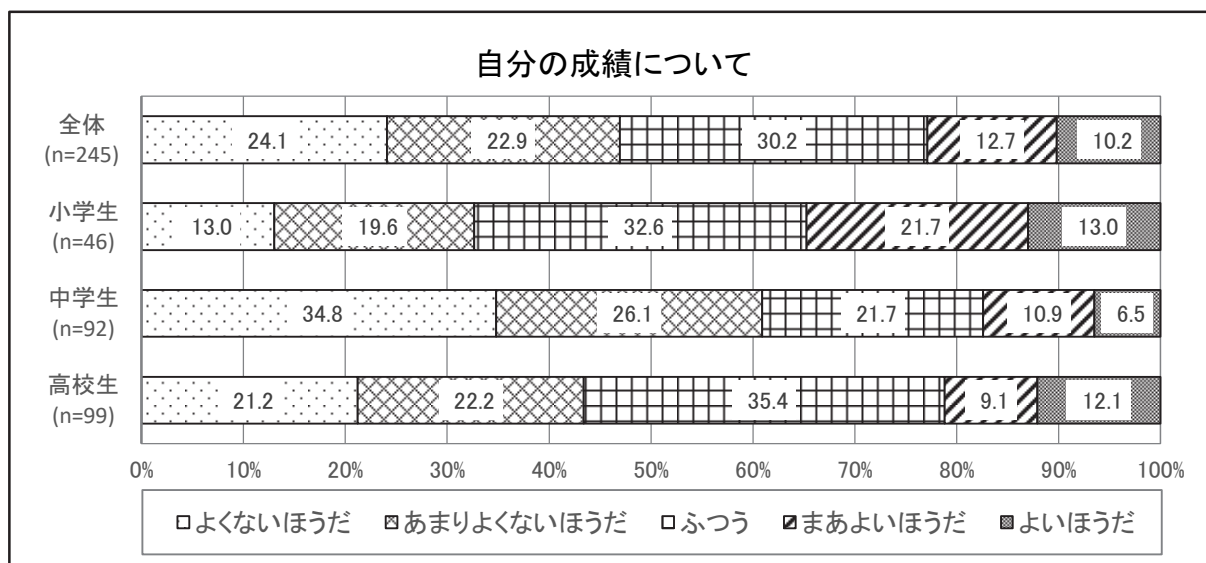
全体では「女性」が 56.6%、「男性」が 43.0%となっている。

(9) 学年

**学年は、高校2年生が約2割**

全体では「高校2年生」が15.0%と最も多く、次いで「中学3年生」(14.6%)、「高校3年生」(13.0%)となっている。

(10) 自分の成績について

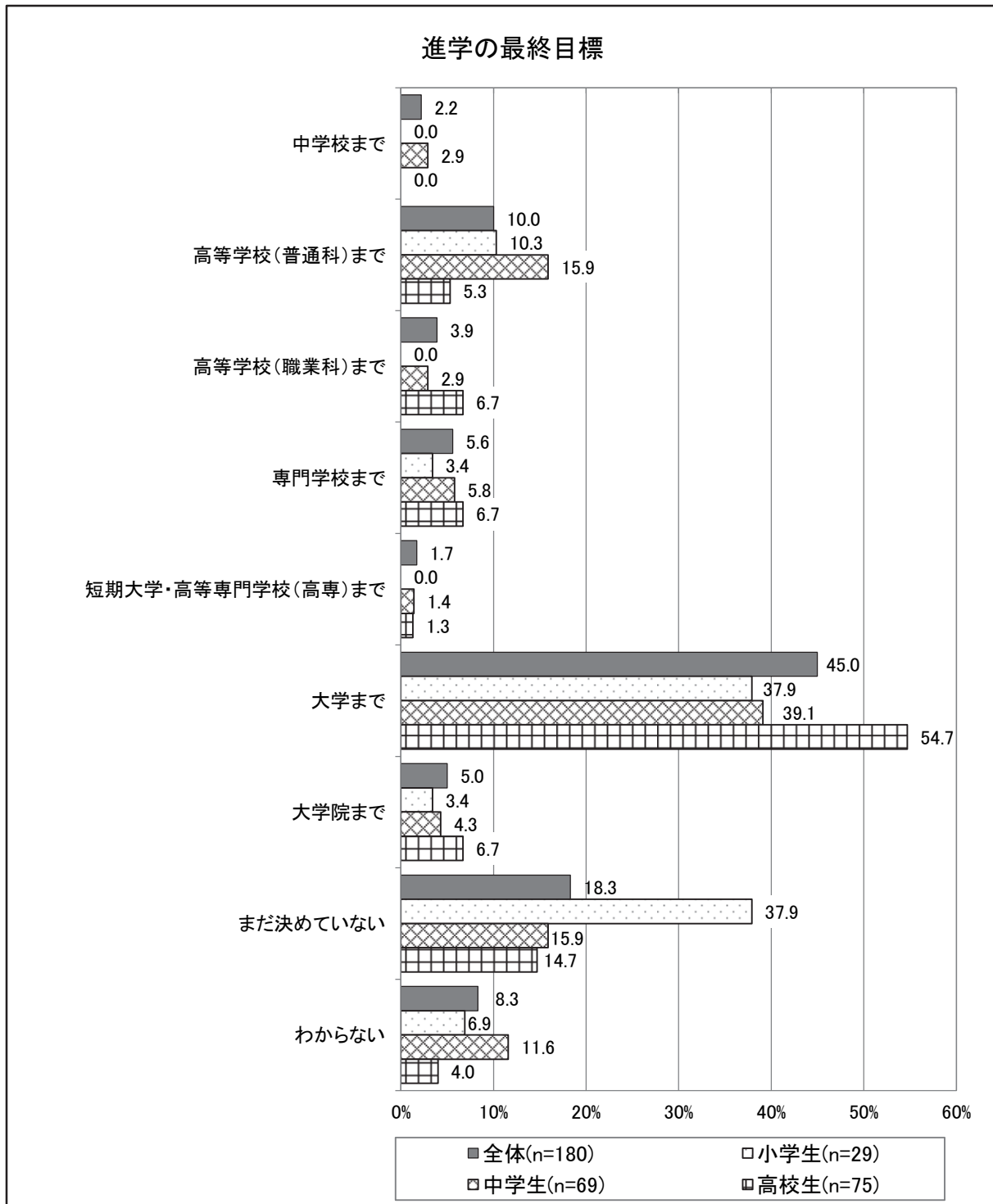


自分の成績については、ふつうが約3割

全体では「ふつう」が30.2%と最も多く、次いで「よくないほうだ」(24.1%)、「あまりよくないほうだ」(22.9%)、「まあよいほうだ」(12.7%)の順となっている。

小学生、中学生、高校生を比較すると、小学生は他に比べて「まあよいほうだ」の割合が高く、中学生は「よくないほうだ」、高校生は「ふつう」が高くなっている。

(11) 進学の実現目標について

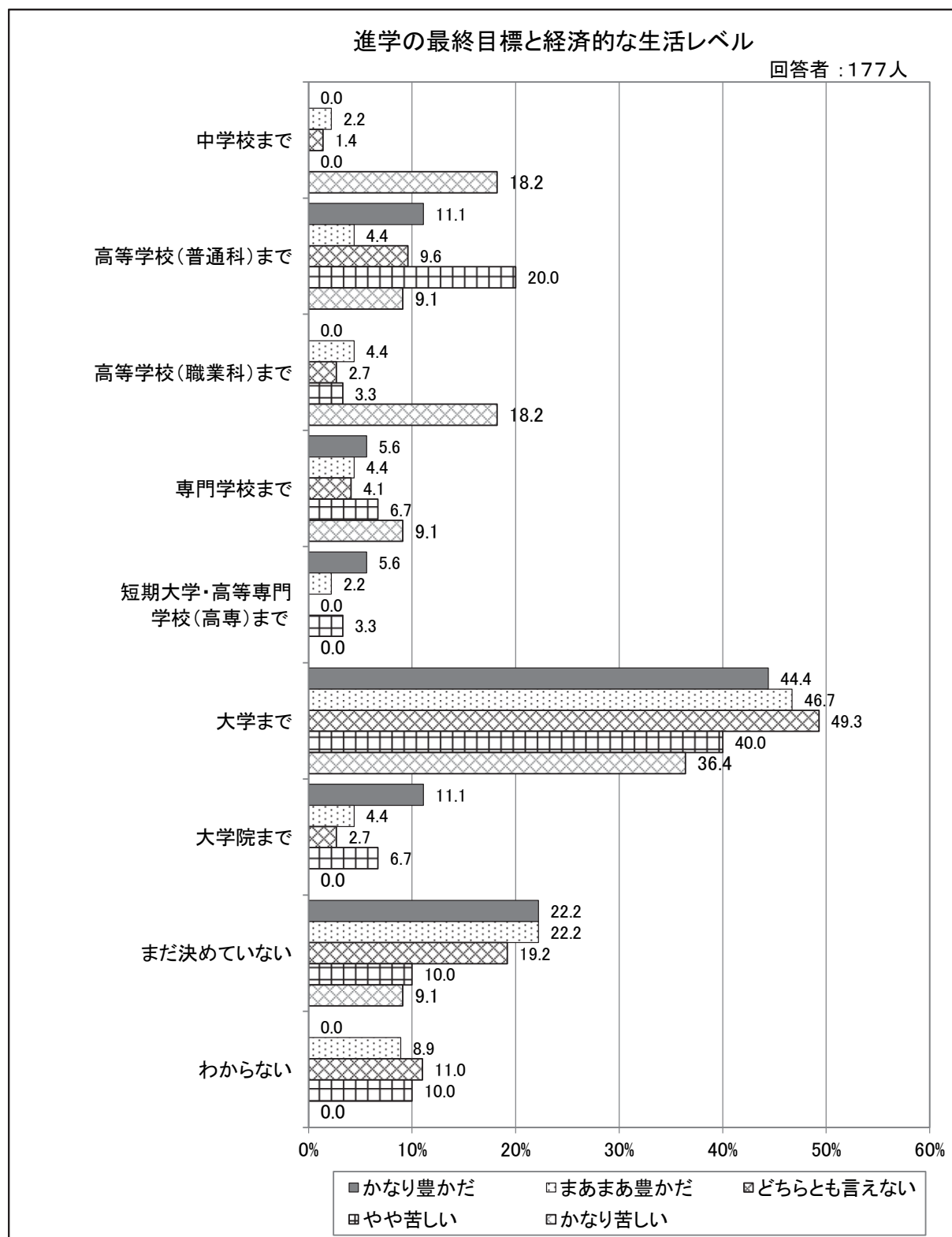
**進学の実現目標は、大学までが約5割**

全体では「大学まで」が 45.0%と最も多く、次いで「高等学校（普通科）まで」（10.0%）、
「専門学校まで」（5.6%）、「大学院まで」（5.0%）の順となっている。

また、「まだ決めていない」が 18.3%となっている。

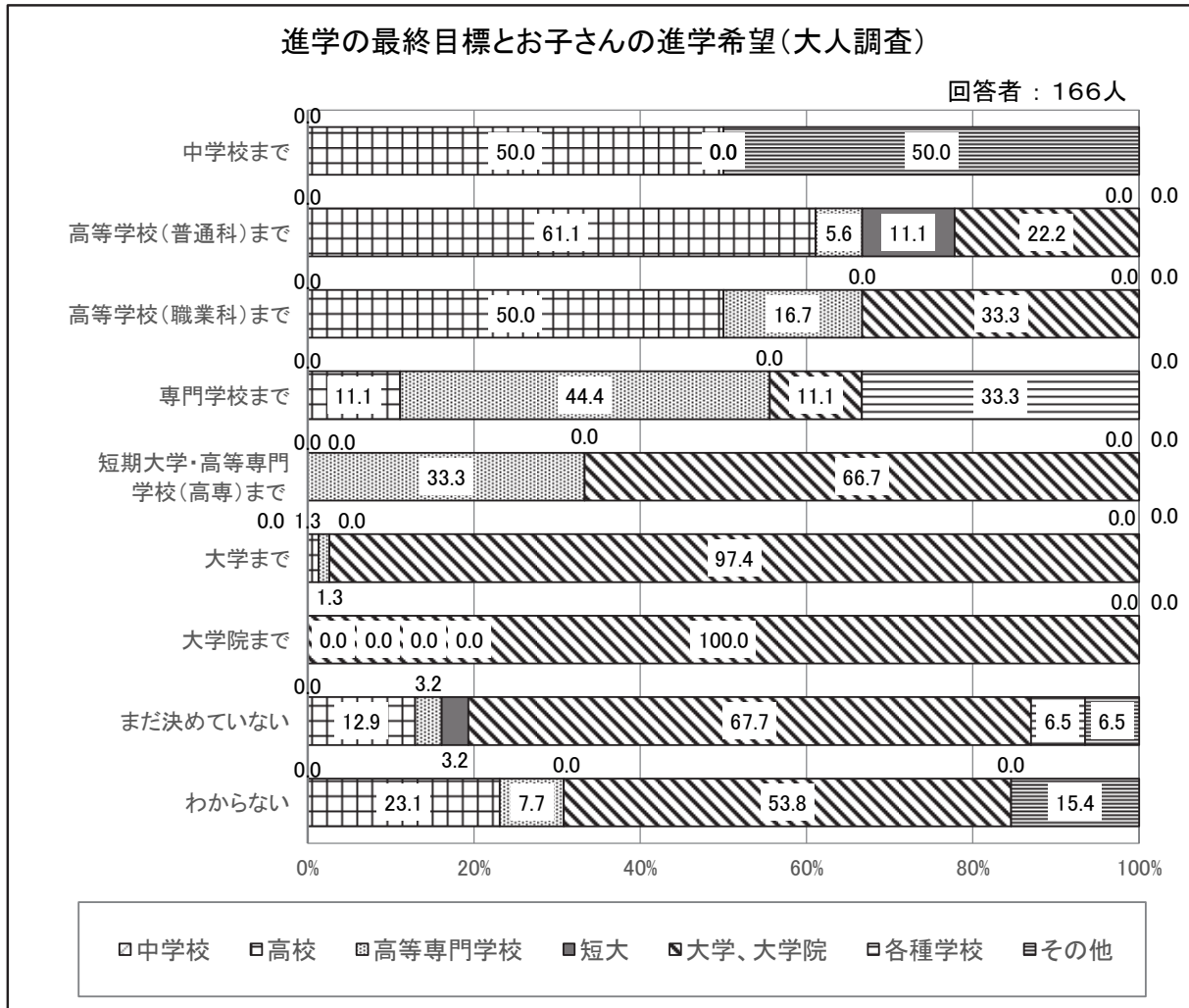
小学生、中学生、高校生を比較すると、小学生は他に比べて「まだ決めていない」の割合が
高く、高校生は「大学まで」が高くなっている。

◆「進学最終目標」と「経済的な生活レベル」



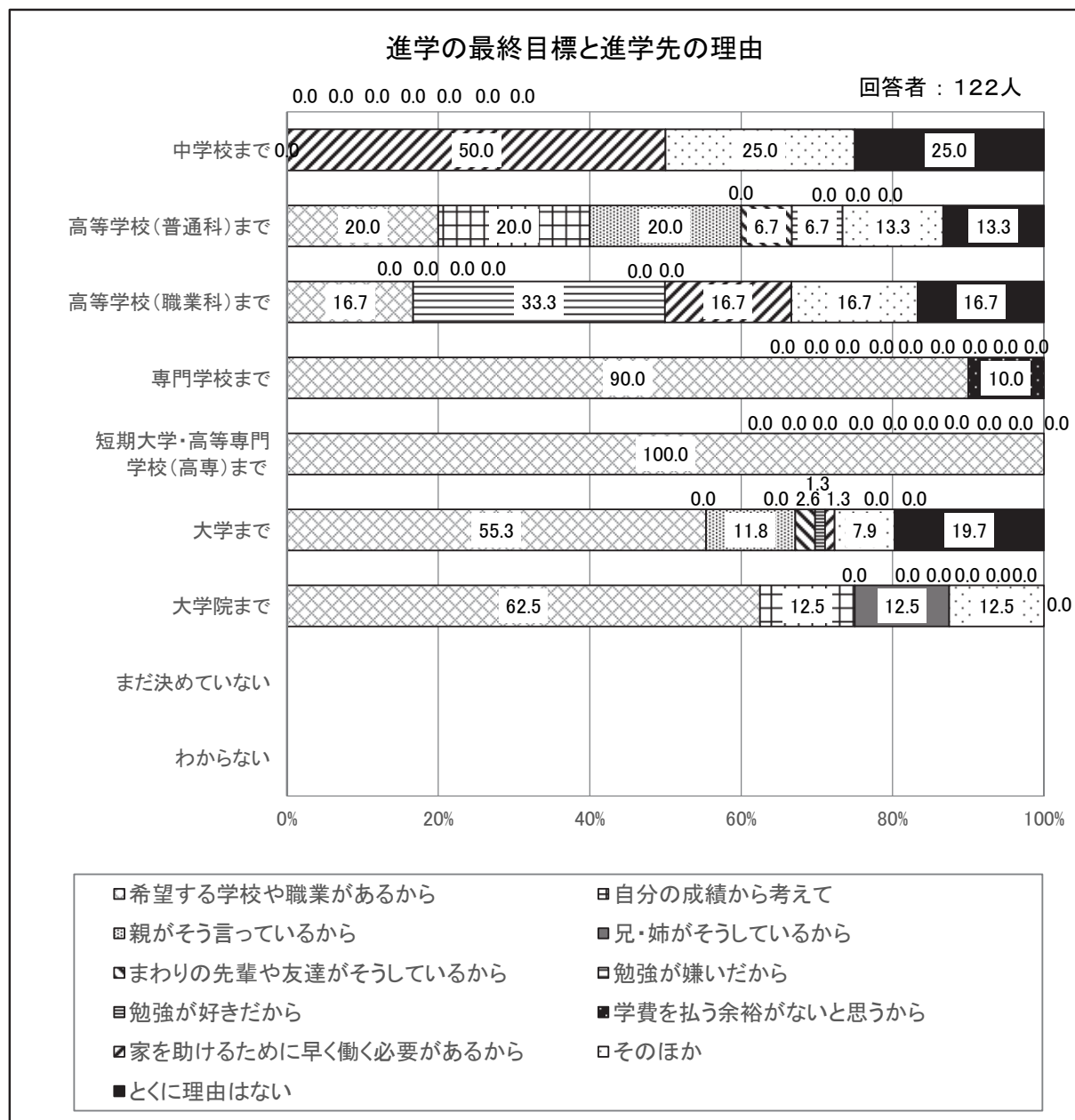
生活レベルが「やや苦しい」子は他に比べて進学最終目標が「高等学校(普通科)」が20.0%と高く、生活レベルが「かなり苦しい」子は他に比べて進学最終目標が「中学校まで」、「高等学校(職業科)まで」がいずれも18.2%と高くなっている。

◆「進学最終目標」と「大人調査：お子さんの進学希望」



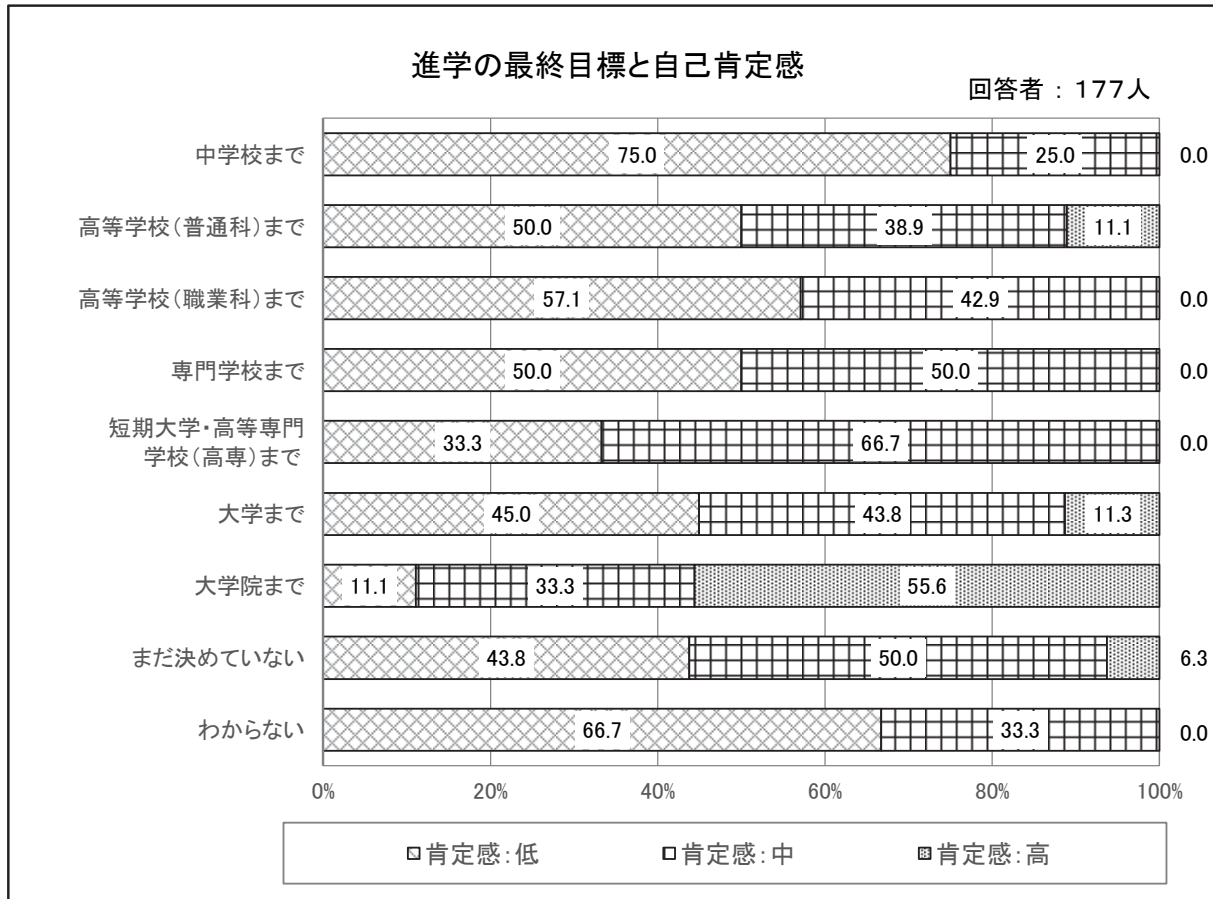
進学最終目標が「中学校まで」、「高等学校（普通科）まで」、「高等学校（職業科）まで」の子の親は、子の「高校」までの進学を希望している割合が多く、進学最終目標が「専門学校まで」の子の親は子の「高等専門学校」までの進学を希望している割合が多い。また、「短期大学・高等専門学校（高専）まで」、「大学まで」、「大学院まで」の進学を希望している子の親は、子の「大学・大学院」までの進学を希望している割合が多い。

◆「進学最終目標」と「進学先の理由」



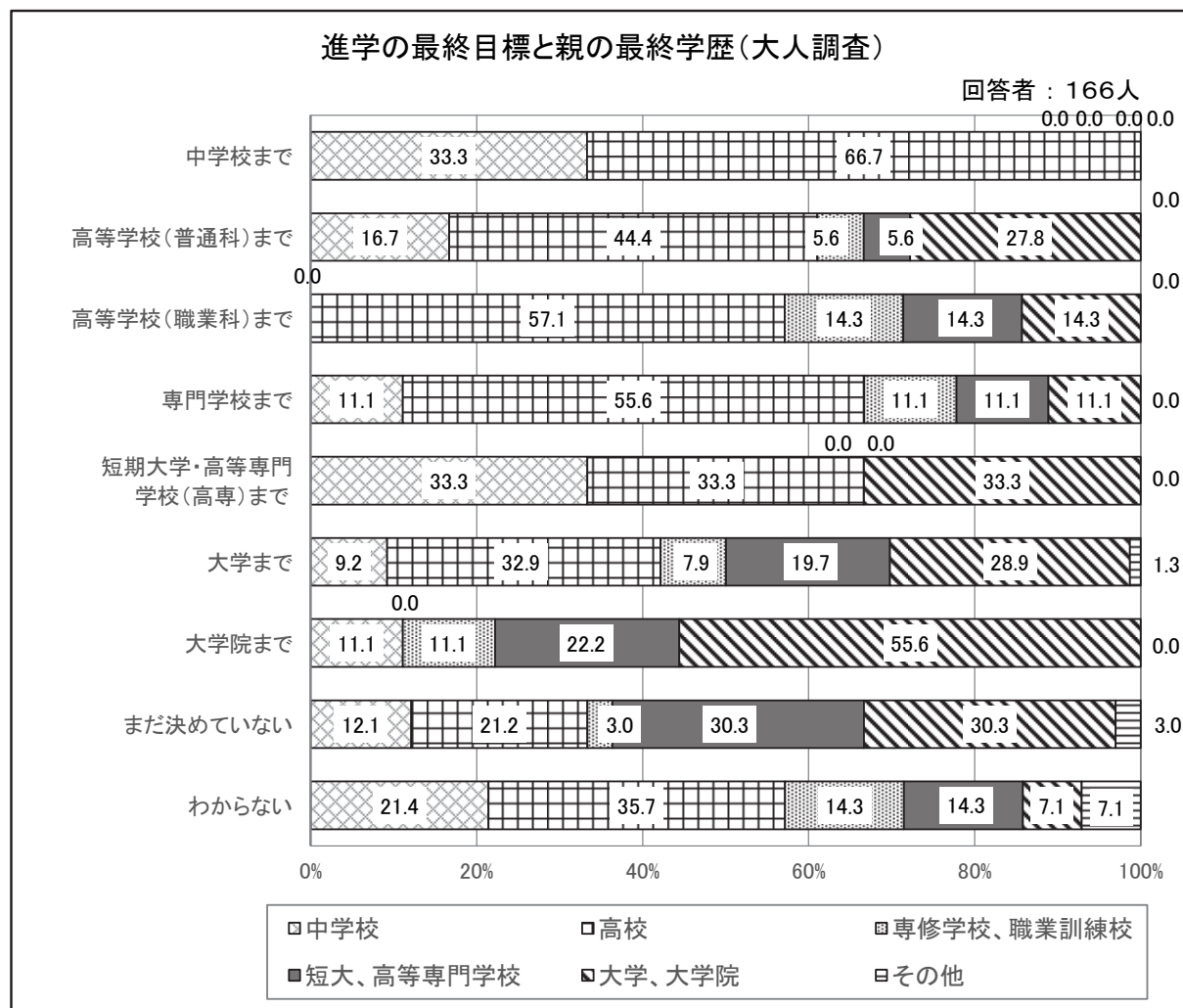
進学最終目標が「中学校まで」の子は、その進学先の理由が「学費を払う余裕がないと思うから」が最も多く、進学最終目標が「高等学校（普通科）まで」の子は、その進学先の理由が「希望する学校や職業があるから」、「自分の成績から考えて」「親がそう言っているから」が最も多い。また、進学最終目標が「高等学校（職業科）まで」の子は、その進学先の理由が「勉強が嫌いだから」が最も多く、進学最終目標が「専門学校まで」、「短期大学・高等専門学校（高専）まで」、「大学まで」、「大学院まで」の子は、その進学先の理由が、「希望する学校や職業があるから」が最も多くなっている。

◆「進学最終目標」と「自己肯定感」



進学最終目標が「大学院まで」の子は他に比べて自己肯定感が55.6%と最も高くなっている。

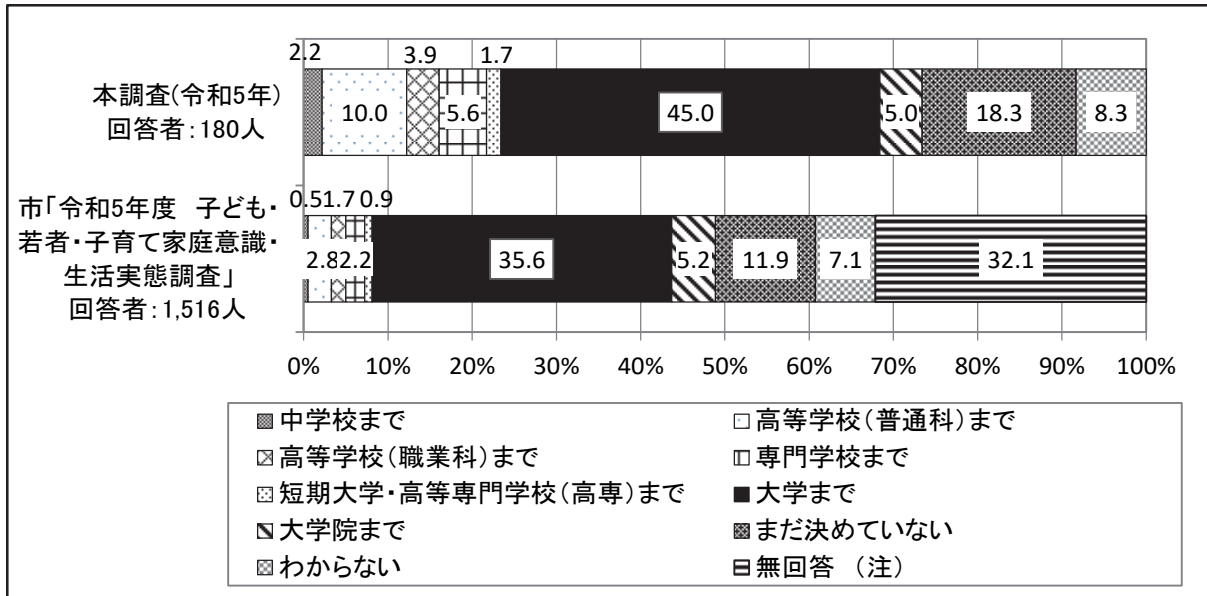
◆「進学最終目標」と「大人調査：親の最終学歴」



進学最終目標が「中学校まで」、「高等学校（普通科）まで」、「高等学校（職業科）まで」、「専門学校まで」、「大学まで」の子は、親の最終学歴が「高校」の子が最も多くなっており、進学最終目標が「短期大学・高等専門学校（高専）まで」の子は、親の最終学歴が「中学校」、「高校」、「大学、大学院」となっている。

また、進学最終目標が「大学院まで」の子は、親の最終学歴が「大学、大学院」が最も多くなっている。

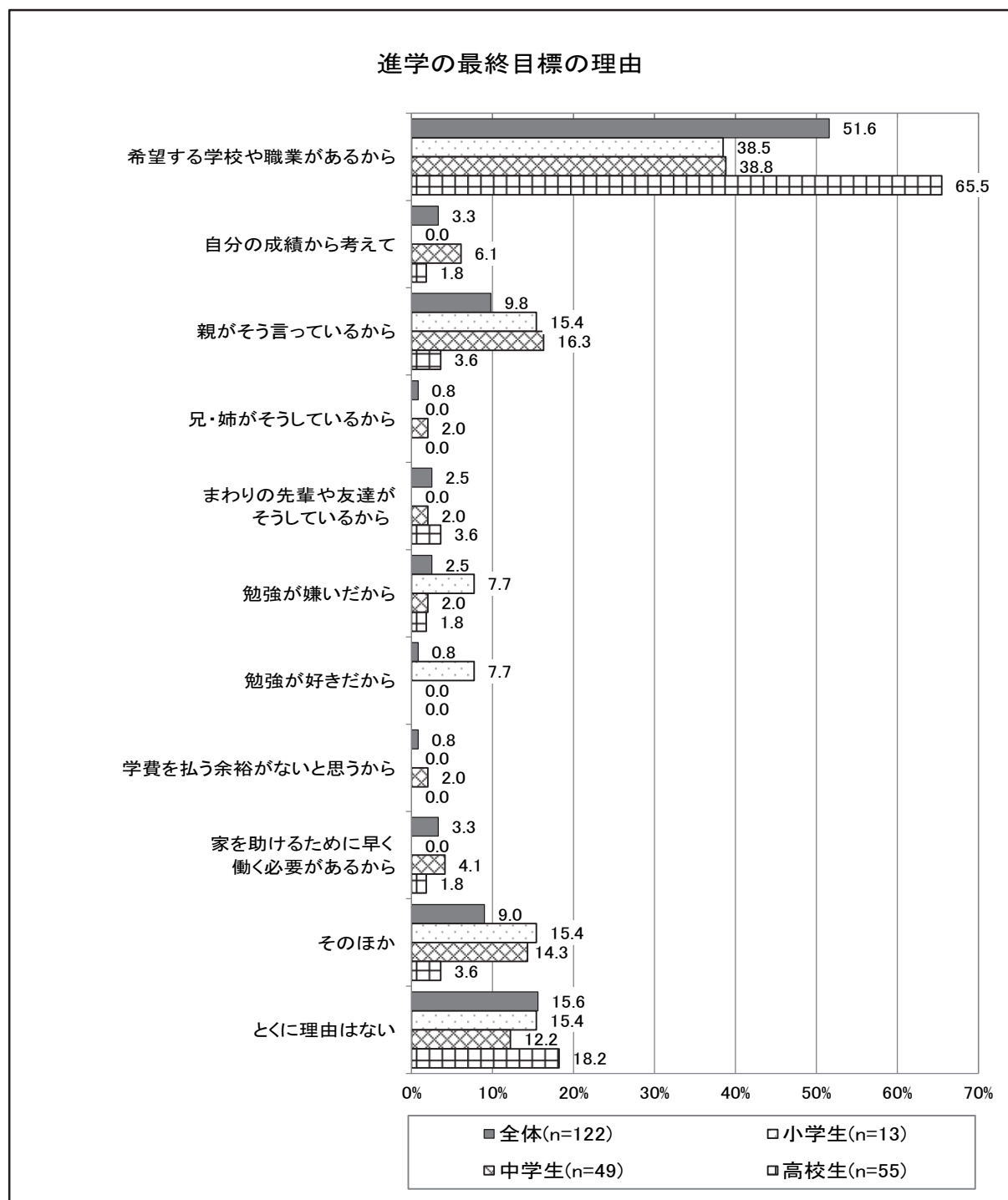
◆ 市「令和5年度 子ども・若者・子育て家庭意識・生活実態調査」との比較



(注) 「無回答」は市「令和5年度子ども・若者・子育て家庭意識・生活実態調査」のみ

本市で行っている「令和5年度子ども・若者・子育て家庭意識・生活実態調査」と比べると、「高等学校(普通科)まで」は7.2ポイント、「大学まで」は9.4ポイント高くなっている。

(12) 進学の見込目標の理由について



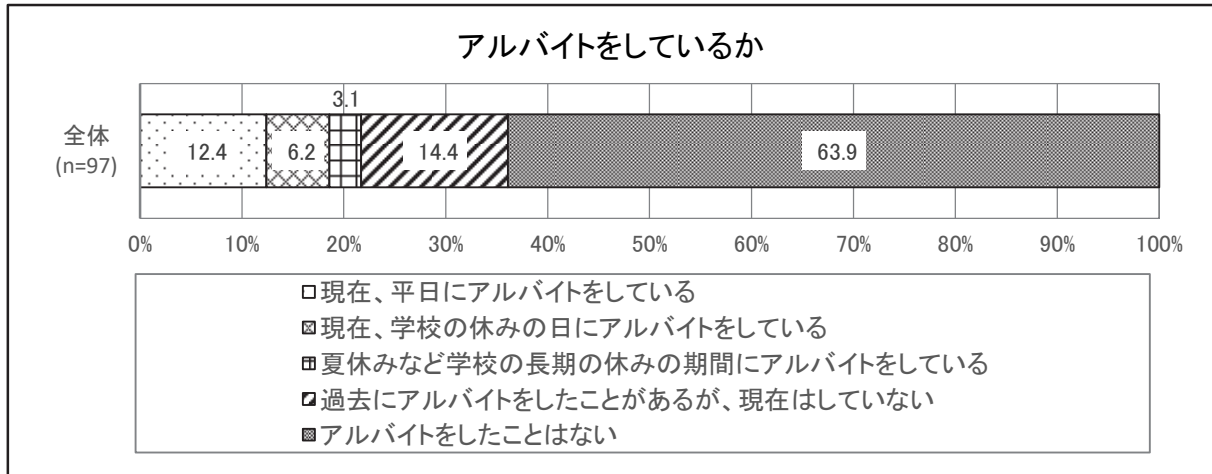
進学の見込目標の理由は、希望する学校や職業があるからが約5割

全体では「希望する学校や職業があるから」が51.6%と最も多く、次いで「親がそう言っているから」(9.8%)、「自分の成績から考えて」(3.3%)、「家を助けるために早く働く必要があるから」(3.3%)の順となっている。

また、「とくに理由はない」が15.6%となっている。

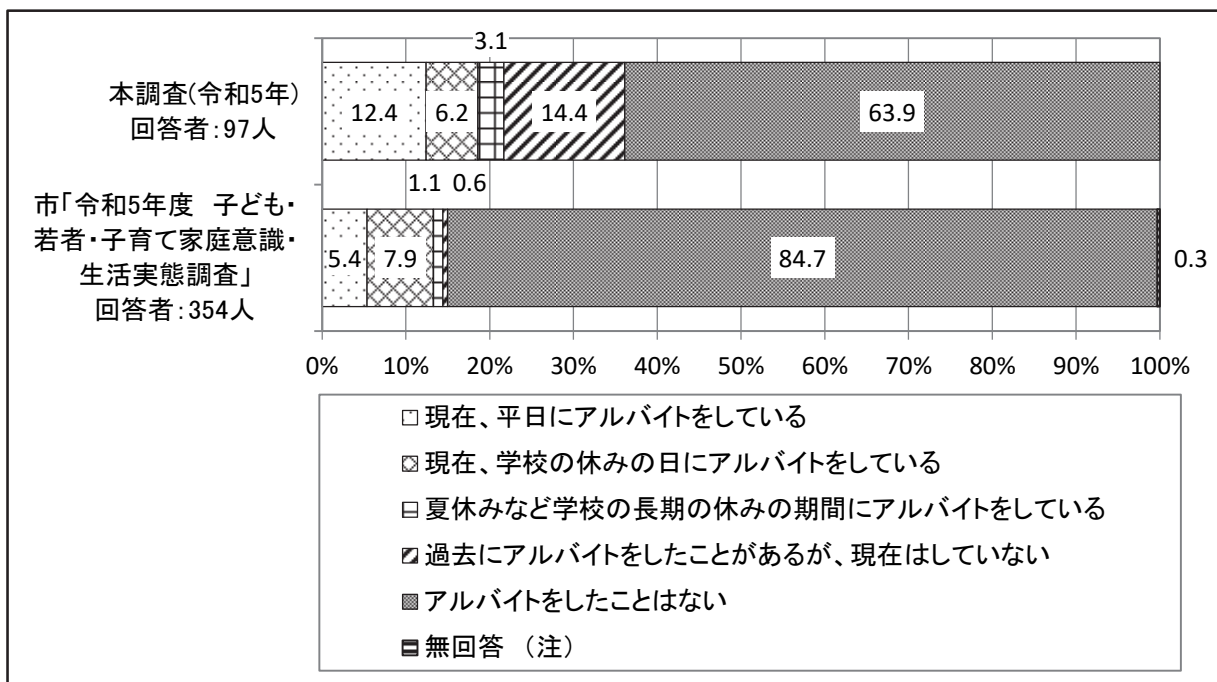
小学生、中学生、高校生を比較すると、小学生は他に比べて「勉強が好きだから」、「勉強が嫌いだから」の割合が高く、高校生は「希望する学校や職業があるから」が高くなっている。

(13) アルバイトをしているか（高校生のみ）について

**アルバイトをしているかは、したことはないが約6割**

アルバイトをしているかは「アルバイトをしたことはない」が 63.9%と最も多く、次いで「過去にアルバイトをしたことがあるが、現在はしていない」(14.4%)、「現在、平日にアルバイトをしている」(12.4%)の順となっている。

◆ 市「令和5年度 子ども・若者・子育て家庭意識・生活実態調査」との比較



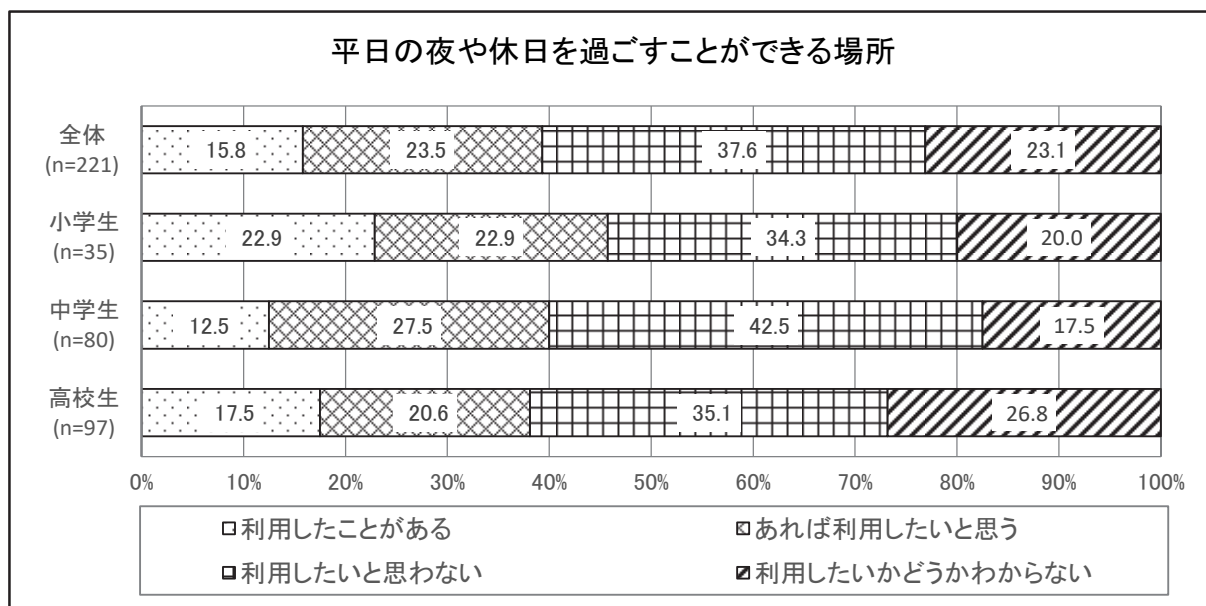
(注) 「無回答」は市「令和5年度子ども・若者・子育て家庭意識・生活実態調査」のみ

本市で行っている「令和5年度子ども・若者・子育て家庭意識・生活実態調査」と比べると、「現在、平日にアルバイトをしている」は 7.0 ポイント、「過去にアルバイトをしたことがあるが、現在はしていない」は 13.8 ポイント高く、「アルバイトをしたことはない」は 20.8 ポイント低くなっている。

9 福祉施策利用状況について

(1) 次のような場所を利用したことがあるかについて

①平日の夜や休日を過ごすことができる場所

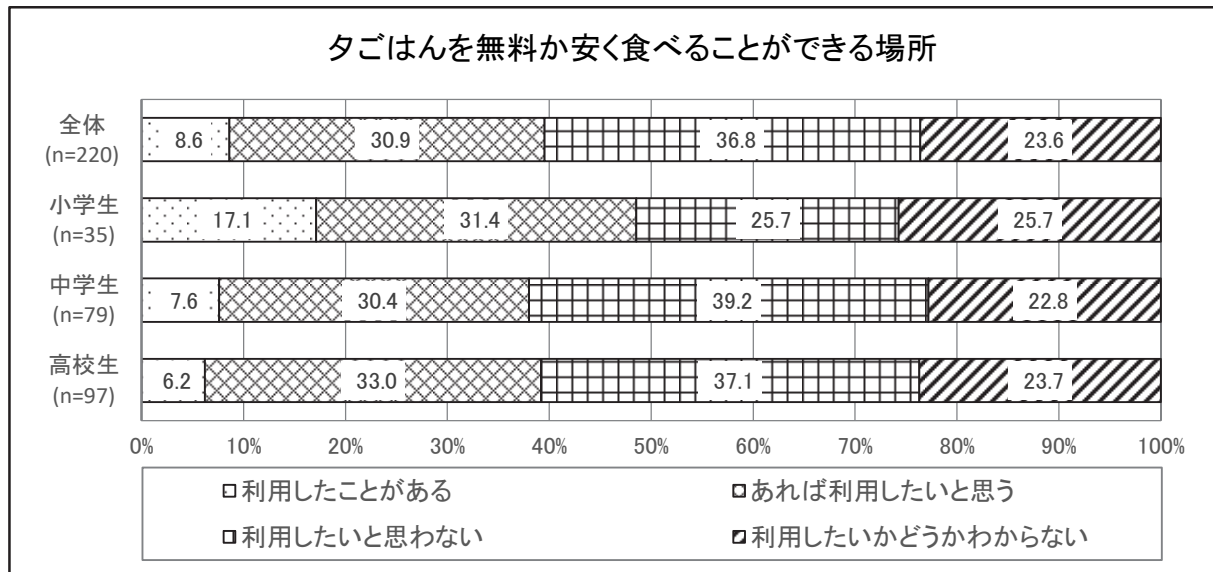


**平日の夜や休日を過ごすできる場所は、
利用したいと思わないが約4割**

全体では「利用したいと思わない」が37.6%と最も多く、次いで「あれば利用したいと思う」(23.5%)、の順となっている。

小学生、中学生、高校生を比較すると、小学生は他に比べて「利用したことがある」の割合が高く、中学生は「利用したいと思わない」が高くなっている。

②夕ごはんを無料か安く食べることができる場所

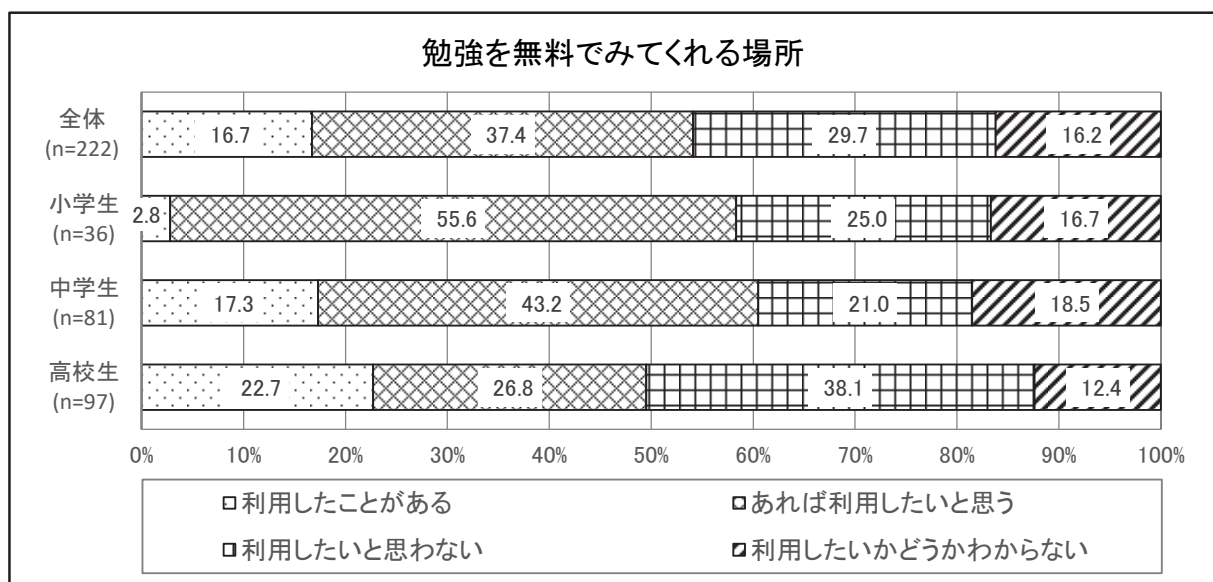


**夕ごはんを無料か安く食べることができる場所は、
利用したいと思わないが約4割**

全体では「利用したいと思わない」が36.8%と最も多く、次いで「あれば利用したい」(30.9%)、「利用したいかどうかわからない」(23.6%)の順となっている。

小学生、中学生、高校生を比較すると、高校生になるにつれ、「利用したことがある」の割合が低くなる。

③勉強を無料でみてくれる場所

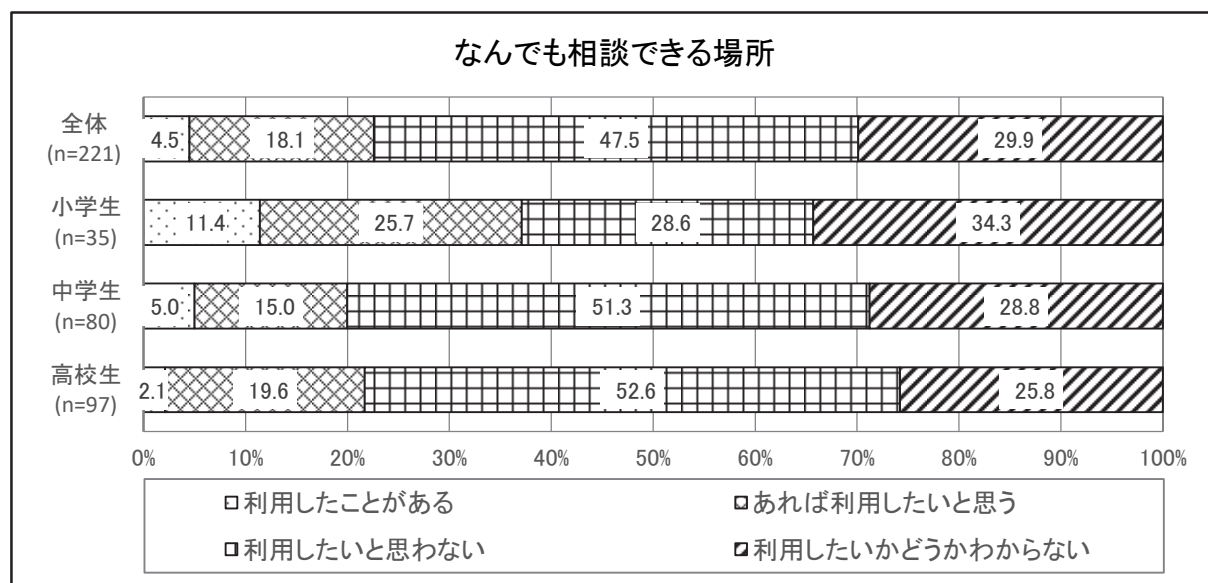


**勉強を無料でみてくれる場所は、
あれば利用したいと思うが約4割**

全体では「あれば利用したいと思う」が37.4%と最も多く、次いで「利用したいと思わない」(29.7%)、「利用したことがある」(16.7%)の順となっている。

小学生、中学生、高校生を比較すると、小学生は他に比べて「あれば利用したいと思う」の割合が高く、高校生は「利用したいと思わない」が高くなっている。

④何でも相談できる場所

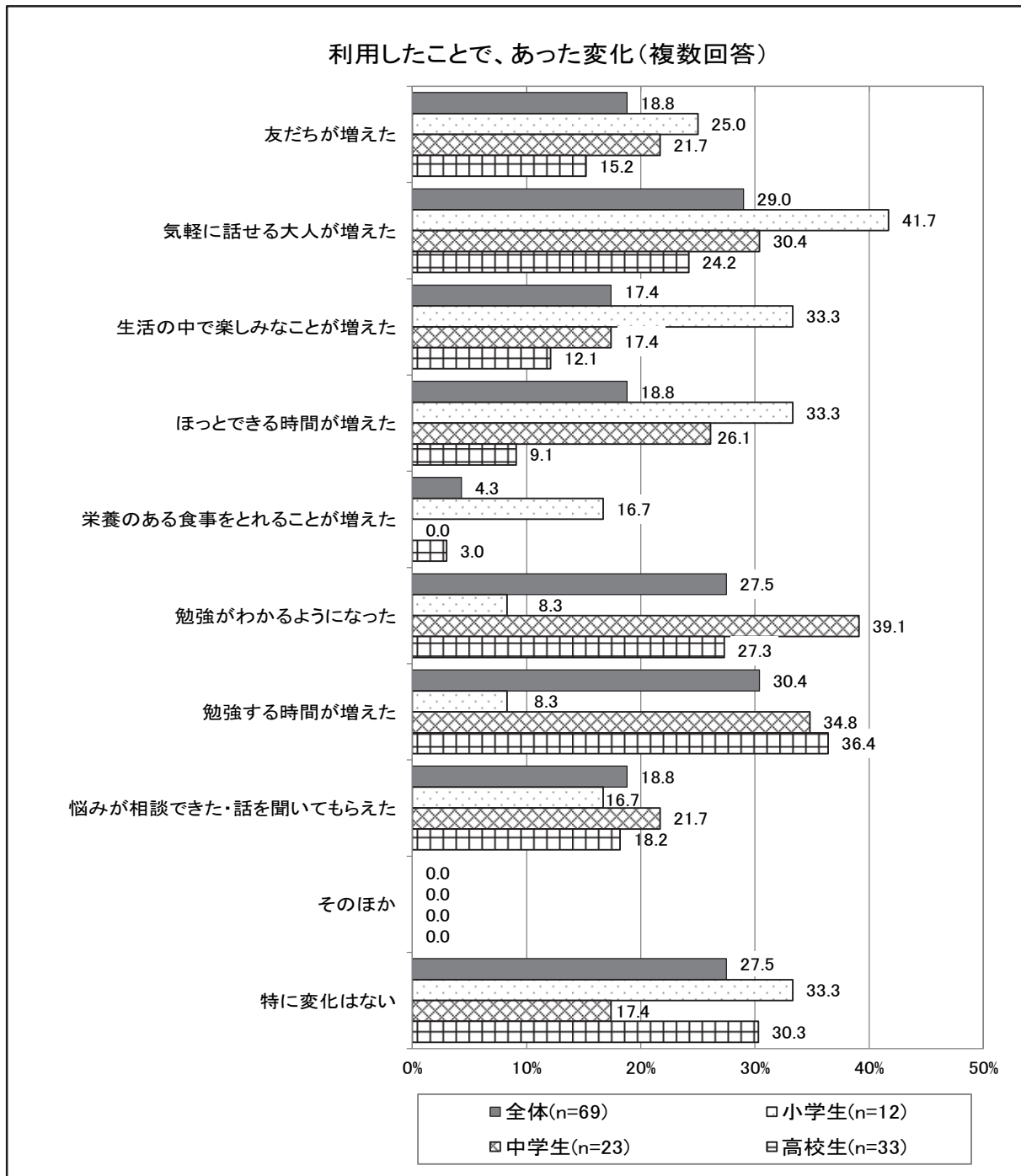


**何でも相談できる場所は、
利用したいと思わないが約5割**

全体では「利用したいと思わない」が47.5%と最も多く、次いで「利用したいかどうかわからない」(29.9%)、「あれば利用したいと思う」(18.1%)の順となっている。

小学生、中学生、高校生を比較すると、高校生になるにつれ、「利用したいことがある」の割合が低くなり、「利用したいと思わない」の割合が高くなる。

(2) 利用したことで、あった変化について



そこを利用したことで、あった変化は、
勉強する時間が増えたが約3割

全体では「勉強する時間が増えた」が30.4%と最も多く、次いで「気軽に話せる大人が増えた」(29.0%)、「勉強がわかるようになった」(27.5%)の順となっている。

また、「特に変化はない」が27.5%となっている。

小学生、中学生、高校生を比較すると、小学生は他に比べて「気軽に話せる大人が増えた」、「生活の中で楽しいことが増えた」、「ほっとできる時間が増えた」、「栄養のある食事をとれることが増えた」の割合が高く、中学生は「勉強がわかるようになった」、高校生は「勉強する時間が増えた」が高くなっている。

ひとり親世帯に属する児童

◆ コラム

※集計結果の構成割合に「無回答」となる回答（無記入や誤記入）を含めて算出した数値と子ども・若者・子育て家庭意識・生活実態調査の数値の比較の参考資料

【問1】平日の授業が終わった後、主にどこで過ごしますか。《全員》 【複数回答】	自分の家	学童保育所 (児童館の 学童保育所 を含む)	トワイライト スクール・ルー ム	学校で行わ れる部活動・ クラブ活動	学習塾、予 備校	習い事(ピア ノ教室、サッ カークラブな ど)	公園など屋 外の無料ス ペース	祖父母の家	友だちの家
ひとり親世帯等実態調査 (無回答含む)	91.0	1.2	2.7	35.9	17.6	8.6	10.9	4.3	8.2
子ども・若者・子育て家庭意識・ 生活実態調査調査(子ども調査)	92.1	1.7	2.2	35.9	23.2	27.7	15.2	3.0	9.9
	図書館、児 童館	コンビニや ショッピング センター	ファストフー ド店やファミ リレストラン	そのほか	無回答				
ひとり親世帯等実態調査 (無回答含む)	2.3	5.5	1.2	3.9	2.3				
子ども・若者・子育て家庭意識・ 生活実態調査調査(子ども調査)	1.3	3.8	1.4	3.7	0.3				

【問2】学校が休みのときは、主にど のように過ごしていますか。《全 員》 【複数回答】	家族と一緒 に過ごす	友だちと遊 ぶ	学童保育 所、トワイ トスクール・ ルームで過 ごす	学校で行わ れる部活動・ クラブ活動	学習塾、予 備校	習い事(ピア ノ教室、サッ カークラブな ど)	一人で過ご す	そのほか	無回答
ひとり親世帯等実態調査 (無回答含む)	63.3	41.4	1.2	20.3	9.0	7.0	31.3	3.5	2.7
子ども・若者・子育て家庭意識・ 生活実態調査調査(子ども調査)	71.2	38.9	1.0	19.4	9.4	16.5	19.7	5.1	0.4

【問3】平日、学校の授業のほかに、 どのくらい勉強をしますか。《全 員》	ほとんどない (30分以内)	30分～1時 間以内	1時間～2時 間以内	2時間～3時 間以内	3時間～4時 間以内	4時間～5時 間以内	5時間より多 い	わからない	無回答
ひとり親世帯等実態調査 (無回答含む)	32.8	26.2	21.5	7.0	4.7	2.3	0.8	1.6	3.1
子ども・若者・子育て家庭意識・ 生活実態調査調査(子ども調査)	21.4	25.7	24.3	13.3	7.1	1.9	1.5	4.6	0.3

【問4】平日は主にだれと食事をし ていますか。(1)朝食 《全員》	家族と食 べる	一人で食 べる	食べない	そのほか	無回答
ひとり親世帯等実態調査 (無回答含む)	51.6	32.4	12.9	1.2	2.0
子ども・若者・子育て家庭意識・ 生活実態調査調査(子ども調査)	68.1	26.5	3.5	1.3	0.7

【問4】平日は主にだれと食事をし ていますか。(2)夕食 《全員》	家族と食 べる	一人で食 べる	食べない	そのほか	無回答
ひとり親世帯等実態調査 (無回答含む)	83.2	11.3	0.4	1.2	3.9
子ども・若者・子育て家庭意識・ 生活実態調査調査(子ども調査)	91.1	5.9	0.1	1.5	1.4

【問5】家の手伝いをしますか。 《全員》	しない	あまりしない	ときどきする	よくする	無回答
ひとり親世帯等実態調査 (無回答含む)	10.2	28.5	42.6	16.0	2.7
子ども・若者・子育て家庭意識・ 生活実態調査調査(子ども調査)	11.1	24.5	47.5	16.5	0.4

【問6】平日の起きる時間と寝る時間は何時頃ですか。(1) 起きる時間《全員》	午前5時前	午前5時～5時59分までの間	午前6時～6時59分までの間	午前7時～7時59分までの間	午前8時以降	無回答
ひとり親世帯等実態調査(無回答含む)	0.4	8.2	47.3	33.2	7.8	3.1
子ども・若者・子育て家庭意識・生活実態調査調査(子ども調査)	0.9	10.0	53.4	32.8	2.1	0.7

【問6】平日の起きる時間と寝る時間は何時頃ですか。(2) 寝る時間《全員》	午後10時前	午後10時～10時59分までの間	午後11時～11時59分までの間	午前0時～0時59分までの間	午前1時以降	無回答
ひとり親世帯等実態調査(無回答含む)	10.2	25.0	23.8	23.0	10.5	7.4
子ども・若者・子育て家庭意識・生活実態調査調査(子ども調査)	22.4	30.5	25.9	13.2	4.6	3.5

【問12】あなた「専用」のものを持っていますか。《全員》 【複数回答】	個室(アパート・下宿を含みます)	テレビ	タブレット、パソコン	音楽プレーヤー	ゲーム機	スマートフォン、携帯電話	スポーツ用品(グローブ、ボールなど)	自転車	勉強に必要な道具・参考書
ひとり親世帯等実態調査(無回答含む)	44.9	9.4	38.3	12.1	57.4	83.2	44.9	72.3	84.4
子ども・若者・子育て家庭意識・生活実態調査調査(子ども調査)	40.0	5.2	36.5	13.7	44.1	68.1	51.0	76.7	83.7
	この中にあるものはまるものはない	わからない	無回答						
ひとり親世帯等実態調査(無回答含む)	0.0	0.4	2.7						
子ども・若者・子育て家庭意識・生活実態調査調査(子ども調査)	0.4	0.5	5.3						

【問13】あなたの家庭の「経済的な生活レベル」について、あなたはどのように思いますか。《全員》	かなり豊かだ	まあまあ豊かだ	どちらとも言えない	やや苦しい	かなり苦しい	無回答
ひとり親世帯等実態調査(無回答含む)	12.1	24.2	37.9	15.2	6.6	3.9
子ども・若者・子育て家庭意識・生活実態調査調査(子ども調査)	25.5	41.1	24.7	5.1	1.1	2.4

【問14】いま通っている学校での生活は楽しいですか。ア 学校の授業《現在、学校に通っている方》	楽しくない	あまり楽しくない	まあ楽しい	楽しい	無回答
ひとり親世帯等実態調査(無回答含む)	10.9	13.0	47.3	27.2	1.7
子ども・若者・子育て家庭意識・生活実態調査調査(子ども調査)	5.6	11.8	41.7	39.8	1.1

【問14】いま通っている学校での生活は楽しいですか。イ 部活動・クラブ活動《現在、学校に通っている方》	楽しくない	あまり楽しくない	まあ楽しい	楽しい	無回答
ひとり親世帯等実態調査(無回答含む)	9.2	7.9	31.0	42.7	9.2
子ども・若者・子育て家庭意識・生活実態調査調査(子ども調査)	4.9	5.8	27.1	56.1	6.1

【問14】いま通っている学校での生活は楽しいですか。ウ 友だちとの関係《現在、学校に通っている方》	楽しくない	あまり楽しくない	まあ楽しい	楽しい	無回答
ひとり親世帯等実態調査(無回答含む)	3.3	6.7	28.5	59.8	1.7
子ども・若者・子育て家庭意識・生活実態調査調査(子ども調査)	1.8	2.7	24.3	69.9	1.4

ひとり親世帯に属する児童

【問14】いま通っている学校での生活は楽しいですか。エ. 先生との関係《現在、学校に通っている方》	楽しくない	あまり楽しくない	まあ楽しい	楽しい	無回答
ひとり親世帯等実態調査(無回答含む)	7.5	9.2	51.9	29.3	2.1
子ども・若者・子育て家庭意識・生活実態調査調査(子ども調査)	4.7	12.3	41.1	40.3	1.6

【問14】いま通っている学校での生活は楽しいですか。オ. 学校生活全体《現在、学校に通っている方》	楽しくない	あまり楽しくない	まあ楽しい	楽しい	無回答
ひとり親世帯等実態調査(無回答含む)	5.0	8.8	40.2	38.1	7.9
子ども・若者・子育て家庭意識・生活実態調査調査(子ども調査)	3.5	6.5	37.3	47.9	4.8

【問16】あなたがしたことのある活動。《地域の活動や、授業以外の学校の活動に参加している、または参加したことがある方》 【複数回答】	お年寄りや体の不自由な人の手伝い	公園の掃除など、住みやすいまちにするための活動	学級委員や児童会、生徒会役員など、学校全体のための活動	学校の部活動・クラブ活動	お祭りなど、地域の行事への参加	イベントなどの企画や運営	名古屋市全体でやるような大きなイベントへの参加	募金をする、または募金の呼びかけ	自分に関係することや、地域のこと、名古屋市のことを考えたり、企画したり、意見を言ったりする活動への参加
ひとり親世帯等実態調査(無回答含む)	7.2	25.9	38.1	82.7	51.8	7.9	7.9	23.0	4.3
子ども・若者・子育て家庭意識・生活実態調査調査(子ども調査)	19.9	43.1	51.8	-	60.9	15.4	11.5	42.2	6.8
	上記にあてはまるものはないが、地域での活動に参加している	無回答							
ひとり親世帯等実態調査(無回答含む)	3.6	0.0							
子ども・若者・子育て家庭意識・生活実態調査調査(子ども調査)	2.7	10.4							

【問19】あなたはいま、どんなことに悩んだり困ったりしていますか。《全員》 【複数回答】	親のこと	きょうだいのこと	友だちのこと	勉強のこと	先生のこと	クラブ活動や習い事のこと	将来のこと	自分の性格のこと	自分の容姿のこと
ひとり親世帯等実態調査(無回答含む)	11.3	7.4	12.5	47.7	4.3	7.0	43.0	21.5	16.0
子ども・若者・子育て家庭意識・生活実態調査調査(子ども調査)	7.3	6.7	18.1	41.2	6.5	10.7	37.5	20.2	16.5
	自分の健康のこと	自分がからだの性や心の性を感じていること	異性のこと	いじめられたりからかわれたりすること	地域や社会のこと	そのほか	悩んだり困っていることはない	無回答	
ひとり親世帯等実態調査(無回答含む)	12.5	1.6	3.9	2.7	5.9	3.1	28.9	3.1	
子ども・若者・子育て家庭意識・生活実態調査調査(子ども調査)	11.4	1.6	5.7	3.6	3.6	2.3	29.9	2.2	

ひとり親世帯に属する児童

【問20】悩みや困ったことがあるときに相談する人はだれですか。《全員》 【複数回答】	お父さん	お母さん	きょうだい	おじいさん・おばあさん	学校の先輩	友だち	担任の先生	担任以外の学校の先生	学校のカウンセラーやソーシャルワーカー
ひとり親世帯等実態調査 (無回答含む)	12.5	57.4	12.9	14.5	3.5	50.8	18.0	7.8	8.6
子ども・若者・子育て家庭意識・生活実態調査調査(子ども調査)	38.5	70.3	18.7	12.0	6.6	59.1	26.9	10.2	11.1
	部活動・クラブ活動の先生やコーチ	習い事や塾の先生	電話相談	インターネットやソーシャルネットワークサービスでの相談	そのほか	わからない	誰にも相談しない	無回答	
ひとり親世帯等実態調査 (無回答含む)	1.6	5.1	0.4	2.3	4.7	3.1	7.0	5.1	
子ども・若者・子育て家庭意識・生活実態調査調査(子ども調査)	5.0	7.1	1.3	2.6	1.9	4.2	8.0	0.9	

【問21】自分のことが好きですか。《全員》	嫌い	どちらかと言えば嫌い	どちらかと言えば好き	好き	無回答
ひとり親世帯等実態調査 (無回答含む)	7.4	15.6	49.6	24.2	3.1
子ども・若者・子育て家庭意識・生活実態調査調査(子ども調査)	7.0	16.4	46.2	29.4	1.0

【問22】いろいろなことに積極的に挑戦できますか。《全員》	挑戦できない	どちらかと言えば挑戦できない	どちらかと言えば挑戦できる	挑戦できる	無回答
ひとり親世帯等実態調査 (無回答含む)	8.6	28.9	41.4	18.0	3.1
子ども・若者・子育て家庭意識・生活実態調査調査(子ども調査)	5.9	23.9	43.3	26.1	0.8

【問23】今の生活に満足していますか。《全員》	満足していない	どちらかと言えば満足していない	どちらかと言えば満足している	満足している	無回答
ひとり親世帯等実態調査 (無回答含む)	7.4	14.8	40.2	34.4	3.1
子ども・若者・子育て家庭意識・生活実態調査調査(子ども調査)	6.2	8.8	34.0	49.7	1.3

【問28】勉強は好きですか。《全員》	嫌い	どちらかと言えば嫌い	どちらかと言えば好き	好き	無回答
ひとり親世帯等実態調査 (無回答含む)	32.0	34.4	25.0	5.5	3.1
子ども・若者・子育て家庭意識・生活実態調査調査(子ども調査)	23.3	34.6	27.8	13.5	0.9

【問29】勉強が理解できますか。《全員》	まったく理解できない	あまり理解できない	だいたい理解できる	よく理解できる	無回答
ひとり親世帯等実態調査 (無回答含む)	9.8	25.0	52.3	9.8	3.1
子ども・若者・子育て家庭意識・生活実態調査調査(子ども調査)	2.5	11.9	59.4	25.1	1.0

ひとり親世帯に属する児童

【問31】あなたが40歳ぐらいになったとき、次のような状態になっていると思いますか。《全員》【複数回答】	幸せになっている	親を大切にしている	子どもを育てている	自由にのんびり暮らしている	一生懸命に仕事をしている	多くの人の役に立っている	お金持ちになっている	有名になっている	世界で活躍している
ひとり親世帯等実態調査(無回答含む)	48.8	38.7	33.2	35.5	46.1	18.0	12.5	9.0	5.1
子ども・若者・子育て家庭意識・生活実態調査調査(子ども調査)	61.9	47.4	45.6	40.0	55.9	30.6	17.3	12.9	9.6
	あてはまるものはない	無回答							
ひとり親世帯等実態調査(無回答含む)	10.5	3.5							
子ども・若者・子育て家庭意識・生活実態調査調査(子ども調査)	6.4	1.1							

【問32】あなたは将来どんな仕事をしたいですか。《全員》【複数回答】	好きなことができる仕事	自分の能力をいかせる仕事	自分が成長できる仕事	社会の役に立つ仕事	人に感謝される仕事	危険の少ない仕事	安定した仕事	給料の高い仕事	休みの多い仕事
ひとり親世帯等実態調査(無回答含む)	62.9	41.8	29.7	25.4	32.4	21.5	41.0	41.8	22.7
子ども・若者・子育て家庭意識・生活実態調査調査(子ども調査)	68.2	59.5	31.5	33.1	43.9	30.5	45.3	46.9	25.3
	そのほか	あてはまるものはない	無回答						
ひとり親世帯等実態調査(無回答含む)	3.1	2.0	3.1						
子ども・若者・子育て家庭意識・生活実態調査調査(子ども調査)	2.8	1.5	1.1						

【問36】進学の最終目標はどこですか。	中学校まで	高等学校(普通科)まで	高等学校(職業科)まで	専門学校まで	短期大学・高等専門学校(高専)まで	大学まで	大学院まで	まだ決めていない	わからない
ひとり親世帯等実態調査(無回答含む)	1.6	7.0	2.7	3.9	1.2	31.6	3.5	12.9	5.9
子ども・若者・子育て家庭意識・生活実態調査調査(子ども調査)	0.5	2.8	1.7	2.2	0.9	35.6	5.2	11.9	7.1
	無回答								
ひとり親世帯等実態調査(無回答含む)	29.7								
子ども・若者・子育て家庭意識・生活実態調査調査(子ども調査)	32.1								

【問38】アルバイトをしていますか。《高校生の方》	現在、平日にアルバイトをしている	現在、学校の休みの日にアルバイトをしている	夏休みなど学校の長期の休みの期間にアルバイトをしている	過去にアルバイトをしたことがあるが、現在はしていない	アルバイトをしたことはない	無回答
ひとり親世帯等実態調査(無回答含む)	12.0	6.0	3.0	14.0	62.0	3.0
子ども・若者・子育て家庭意識・生活実態調査調査(子ども調査)	5.4	7.9	1.1	0.6	84.7	0.3